





土岐津分署	多治見警察署	御嵩警察署	八百津分署	太田警察署
土岐津町郡	多治見町郡	御嵩町郡	八百津町郡	太田町郡
除河小土妻土可 戶合田岐木岐兒 村村村津村郡一 村村村村郡圓	日泉山稻下駄 吉吉內津石知 村村村村町村	土肥戶寺鶴多 岐田狩河里治 村村村村見 村村村村町	佐和福潮加 見知地見茂 村村村村郡	齋太木鷹黑酒追羽伊川加 物田野ノ巢岩倉間生深浦茂 師屋村村村村村村村村村 屋村
東白川村	飯地見村	久田見村	下米田村	肥田瀨村
市平賀村	古井野村	加茂野村	今深大 泉荳杉	大追間村
市平賀村	古井野村	加茂野村	今深大 泉荳杉	大追間村
市平賀村	古井野村	加茂野村	今深大 泉荳杉	大追間村

中津川警察署	付知分署	大井分署	岩村分署	下呂警察署	小坂分署	高山警察署 高山安川派出所	船津警察署
中津川町郡	付知町郡	大井町郡	岩村町郡	下呂町郡	益田村郡	飛騨國大野郡	吉城町郡
福苗惠 岡木郡	惠那郡	東野郡	惠那郡	益田郡	益田郡	大野郡	吉城郡
中津川町	付知村	三郷村	藤呂窪村	下手向村	川西村	一圓	袖川村
駒場村	加子母村	大井町	大井町	大井町	宮田村	阿曾布村	船津町
坂下村	長島村	水屋村	水屋村	水屋村	朝日村		



古川分署	吉城郡	河合村	坂上村	坂下村
	古川町	國府村	小膳利村	細江村
	古川町			

○縣令第七十二號 二十六年十一月三十日  
 本年勅令第九十九號第二條ニ依リ縣令公布方法左ノ通之ヲ定ム

縣令及郡令公布方法

第一條 縣令ハ之ヲ登載シタル印刷物若クハ謄本ヲ各郡市役所ニ揭示シ町村役場ニ配付スルモノトス(廿八年縣令七號參照)

但告示諭達モ本文準ス

第二條 郡令ハ之ヲ登載シタル印刷物若クハ謄本ヲ其郡役所ニ揭示シ部内各町村役場ニ配付スルモノトス

第三條 本令ハ明治廿六年十二月一日ヨリ施行ス明治十九年岐阜縣令第三十九號明治二十年岐阜縣令第二十三號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

○縣令第七十三號 二十六年十二月十四日

明治二十二年七月縣令第五十號渡船業取締規則第一條中第一號書式ニ據リノ下ニ所轄警察官署ヲ經由シノ十字ヲ加ヘ第三條中郡役所トアルヲ警察官署ト改ム(改訂)

○明治廿七年岐阜縣令之部

○縣令第一號 二十七年一月十二日

明治二十三年(十一月)本縣令第五十三號郡書記定員ノ件廢止ス(原達訂正)

○縣令第二號 二十七年一月二十三日

岐阜縣尋常中學校規則中改正ス(改訂)

○縣令第三號 二十七年一月二十三日

一 師ヲ尊ヒ長ヲ敬フハ德育ノ一大要義ニシテ此ノ點ニ於テ闕クコトアラハ驕傲不順ノ習ヲ養ヒ學校ノ目的ニ背ク者ナリ校長及教員タル者ハ此ノ意ヲ体シテ生徒ヲ薰陶スルコトニ注意スヘシ

二 生徒ハ三名以上合同シテ意見ヲ申立テ又ハ校長教員ニ對シ強テ百陳若ハ答辨ヲ求ムルコトヲ得サルヘシ

三 生徒ニシテ党ヲ結ビ教員又ハ校長ニ對シ抵抗又ハ強迫ノ舉動ヲ爲シ或ハ課業ヲ妨害シ又ハ合同關課シ教員又ハ校長ノ戒諭ニ順ハサル者アルトキハ各學校ハ其ノ情重キ者ヲ一週間以上一學年間に内ノ停學又ハ放校ニ處スヘシ  
 放校ニ處セラレタル者ハ文部大臣ニ於テ情狀ヲ酌量シテ特免ヲ予フルノ外復校ヲ許サス



四 本令ニ牒觸スル從前ノ令達ハ之ヲ廢止ス

◎縣令第三號 二十七年二月十日

明治廿六年度地方稅追加地租割及戶數割左ノ通來ル三月廿日限徵收ス

郡市連帶ノ部

地租割 地租壹圓ニ付參錢四厘

戶數割 戶數壹戶ニ付拾七錢八厘

郡部ノ部

戶數割 壹戶ニ付八厘

○縣令第三號 二十七年二月十五日

明治十九年甲第二號種牡牛馬取締規則左ノ通改正ス

種牡牛馬取締規則

第一條 種牡牛馬ヲ飼養セントスル者ハ第一號書式ニ準シ毎年二月十五日限リ其檢査ヲ願出ツヘシ

第二條 種牡牛馬ハ左ノ各項ニ該當スルモノニ限ルヘシ

一 牛ハ滿二歲以上十歲未滿ノモノニシテ丈ケ四尺以上ノモノ

但洋種ハ十歲以上ニ至ルモ妨ケナシ

一 馬ハ三歲以上十六歲未滿ノモノニシテ丈ケ四尺三寸以上ノモノ

但洋種ハ十六歲以上ニ至ルモ妨ケナシ

一 遺傳病及惡癖ナキモノ

一 強壯ニシテ骨格善良ナルモノ

一 牛馬トモ和洋雜種ハ其年齡寸尺トモ和種同様タルヘシ

第三條 種牡牛馬ハ毎年檢査ノ上合格ノモノニハ第二號書式ノ合格證書ヲ附與スヘシ

但檢査場所及期日ハ前以テ告示スヘシ

第四條 合格證書ナキ牛馬ハ種牡牛馬トナスコトヲ得ス

第五條 種牡牛(馬)合格證書ハ其効一期(其年檢査期日ヨリ翌年檢査期日マテ)限リトシ滿期ニ至レハ直チニ返納スヘシ

ニ返納スヘシ

第六條 左ノ場合ニ於テハ直チニ其旨届出テ同時種牡牛(馬)合格證書ヲ返納スヘシ

一 種牡牛馬疾病又ハ惡癖ヲ發シ使用シ難キトキ

一 種牡牛馬斃死又ハ屠殺撲殺シタルトキ

一 種牡牛馬ヲ他府縣ノ者へ賣却又ハ讓與セントキ

第七條 左ノ場合ニ於テハ速ニ證書ノ書換ヲ願出ツヘシ

一 種牡牛馬ヲ本縣下ノ者へ賣買讓與セントキ

一 轉居又ハ改姓名ノトキ

第八條 種牡牛(馬)合格證書ヲ毀損又ハ紛失シタルトキハ其事由ヲ詳記シ紛失ノ分ハ証



人連署毀損ノ分ハ之ヲ添付シ再渡方ヲ願出ツヘシ

第九條 種牡牛馬交尾ノ數ハ一日二回ヲ超過スヘカラス

第十條 種牡牛馬ヲ他ニ牽キ行キ交尾セシムル節ハ必ス種牡牛(馬)合格證書ヲ携帶スヘシ

第十一條 種牡牛馬飼養主ハ適宜簿冊ヲ製シ交尾セシ年月日回数牝牛馬ノ種類及其所有者ノ住所氏名ヲ記載シ置クヘシ

第十二條 本則第四條第九條ニ違背シタルモノハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

附則

第十三條 本則第一條出願期日ハ明治二十七年ニ限リ二月廿五日トス

(第一號書式)

種牡牛(馬)檢査願

一種牡牛(馬)

種類 (和種洋種又ハ和洋雜種)

出生 明治何年何月

丈々 何尺何寸

毛色 何毛

產地 何府何國何市何町又ハ何牧場

右種牡牛(馬)ニ使用致度候間御檢査ノ上證書御下附相成度此段願上候也

何國何郡(市)何町何番戶

族職業

飼養主 何 某印

知事 宛

前書ノ通願出ニ付與印仕リ候也

市町村長 何 某印

(第二號樣式)

第 號

種牡牛馬合格證

何國何市何郡何町何番戶

族職業 飼養主 何 某

一何種牡牛(馬) 出生 年月

丈々 尺寸

毛色 毛



右檢査合格ニ付種牡牛(馬)トナスヲ認許ス

年月日

岐 阜 縣 印

◎縣令第四號 二十七年二月二十日

明治二十七年二月二十日 營業稅雜種稅課目課額通常縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通之ヲ定ム

明治二十七年營業稅雜種稅課目課額

營業稅	一 等 地	一戶ニ付	年稅金四圓
	二 等 地	同	同 金三圓六拾錢
	三 等 地	同	同 金三圓拾錢
	四 等 地	同	同 金貳圓六拾錢
	五 等 地	同	同 金貳圓貳拾錢
	六 等 地	同	同 金壹圓六拾錢
	七 等 地	同	同 金壹圓貳拾錢
	八 等 地	同	同 金九拾錢
	九 等 地	同	同 金六拾錢

工 業

職 工	一 等 業	一人ニ付	年稅金 壹圓
	二 等 業	同	同 金五拾錢
	三 等 業	同	同 金貳拾五錢
	同	同	同 金拾五錢
染 物 屋	瓶 桶 鉢ノ類	一個ニ付	年稅金拾錢
印 刷 所	印 刷 器 械	大一臺ニ付	年稅金三圓
	同	小同	同 金壹圓五拾錢
製 系 場	同	一人取ニ付	同 金貳拾錢
會 社	同	同	年稅資本金千分ノ三
雜 種 稅	理 屋	一戶ニ付	年稅金拾圓
	一 等 地	同	同 金九圓
	二 等 地	同	同 金八圓
	三 等 地	同	同 金八圓











一營業地位及職工種目築漁場所等級ハ別表ノ如シ  
 但營業地位及築漁場所ハ市町村廢置分合アルモ仍ホ本表定ムル所ノ區域ニ依ル

夜川網漁	同	同	金五圓
張切網漁	同	同	金四圓
瀬流網漁	同	同	金三圓
火振網漁	同	同	金貳圓
雜漁	同	同	金三拾錢
特別課稅	同	同	金六拾錢
自轉車	一輛ニ付	年稅	金五拾錢

營業地位等級表

等級	地	位
一等地	岐阜市大字小熊	
二等地	岐阜市大字今泉	
三等地	岐阜市元岐阜 同大字上加納 安八郡大垣町元大垣	

四等地	五等地	六等地	七等地
岐阜市大字富茂登 安八郡大垣町大字久瀬川 武儀郡上有知町 惠那郡中津川町 土岐郡多治見町 大野郡高山町大字高山 武儀郡關町 安八郡大垣町大字高屋	郡上郡八幡町元八幡 大野郡揖斐町大字三輪 吉城郡船津町大字船津 可兒郡御嵩町 同郡兼山町 羽栗郡笠松町 惠那郡岩村町 吉城郡古川町大字古川 土岐郡土岐津町大字高山	下石津郡高須町 多藝郡高田町 不破郡垂井町 羽栗郡竹ノ鼻町 不破郡赤坂村 加茂郡八百津町 安八郡今尾町 本巢郡北方町 武儀郡菅田村大字桐洞 同郡金山町 惠那郡明知町 同郡長嶋村大字中野 大野郡高山町大字大名田 同郡大名田村大字花里 同郡同村大字七日町 益田郡三郷村大字萩原 同郡下呂村大字湯ノ嶋 吉城郡船津町大字朝浦 同郡同町大字東町	岐阜市大字稻束 厚見郡東加納町 方縣郡長良村 同郡福光村 同郡黒野村 羽栗郡田代村 多藝郡養老村大字白石 同郡同村押越 同郡船着村大字船付 池田郡池野村 山縣郡高富村大字高富 不破郡關ヶ原村 加茂郡太田町 同郡下麻生村 同郡川邊村大字中川邊 可兒郡今渡村大字今渡 同郡豊岡村大字長瀬 同郡中村大字中 同郡池田村大字池田町屋 惠那郡大井町 益田郡下原村



大字下原町 同郡下呂村大字森 同郡小坂村大字小坂町 不破郡靜里村 武儀郡吉田村 安八郡大垣町大字若森 同郡墨俣村 郡同大垣町大字林本郷 同郡神戶町大字神戶 同郡御壽村大字大藪
厚見郡細畑村 同郡切通村 同郡藏前村 同郡領下村 各務郡鵜沼村 同郡芥見村 方縣郡栗野村 同郡岩崎村 中島郡江吉良村 下石津郡太田町 上石津郡澤田村 安八郡大垣町大字藤江 同郡大垣町大字南寺内 同郡同町大字室郡上郡白鳥村 同郡同町大字南顔 大野郡北方村 同郡黒野村 同郡徳積村 同郡清水村大字清水 同郡房嶋村 池田郡市場村 同郡八幡村 同郡六ノ井村 同郡青柳村 本巢郡本田村 同郡美江寺村 席田郡加茂村 山縣郡谷合村 武儀郡長瀬村 同郡菅田村大字笹洞 加茂郡西白川村大字和泉 同郡加治田村 同郡東白川村大字神土 同郡取組村 同郡勝山村 可兒郡伏見村大字伏見 土岐郡笠原村 同郡駄知村 同郡妻木村 同郡下石村 同郡土岐村 同郡餘戶村大字釜戸 惠那郡猿爪村 同郡上村 同郡坂下村大字坂下 同郡付知村 同郡落合村 同郡苗木町大字苗木 大野郡久々野村大字無數河 吉城郡國府村大字上廣瀬 同郡同村大字廣瀬町 同郡同村大字八日町 同郡船津町大字鹿間 同郡同町大字東茂住 同郡細江村大字杉崎

九等地 以上掲載スル外各町村各大字

築漁場所等級表

等級	地名
一等	揖斐川筋大野郡房島村
二等	長良川筋郡上郡稻成村内中野組
三等	揖斐川筋大野郡北方村 揖斐川筋池田郡三倉村 根尾川筋大野郡岐禮村 根尾川筋大野郡長瀬村ヨリ本巢郡山口村マテ
四等	長良川筋郡上郡稻成村 <small>中野組ヨリ武儀郡小金田村大字マテ</small> 上之保川筋郡上郡有坂村坪佐組 <small>ノ内下梁島</small> 飛驒川筋武儀郡金山村ヨリ同郡上麻生村マテ 宮川筋吉城郡河合村ヨリ國界マテ







鏡	木	剃	提	研	齒	藍	蒞	黑	板	白	纒	真	帶	團	扇	茶
挽	製	燈	燈	形	玉	蕩	蕩	批	批	立	掛	綿	造	削	骨	師
小	一	扇	扇	笠	線	湯	井	檜	檜	掛	打	摺	箕	麥	亮	細
白	開	子	子	線	香	波	掘	皮	皮	掛	紐	物	造	工	工	工
木	張	圓	圓	製	素	麸	石	棋	棋	燒	機	帳	籠	陶	器	摺
鍛	錄	扇	扇	系	麵	麵	割	肌	肌	纒	織	綴	造	繪	繪	繪
冶	立	刷	刷	漆	溫	油	油	繩	繩	綿	足	疊	籬	簞	簞	簞
茸	印	毛	毛	印	飽	摺	摺	杉	杉	打	袋	表	表	表	表	表
師	材	庭	庭	木	糶	炭	炭	粉	粉	糸	莫	疊	傘	傘	傘	傘
左	筆	造	造	地	蠟	燒	燒	土	土	大	小	系	骨	骨	骨	骨
官	筆	料	料	挽	蠟	燒	燒	白	白	造	造	造	削	削	削	削
荷	瓦	會	會	會	製	砂	砂	附	附	白	白	白	紙	紙	紙	紙
造	造	敷	敷	敷	糖	糖	糖	附	附	造	造	造	工	工	工	工

◎縣令第五號 二十七年二月三十日

明治二十七年地方稅賦課徵收規則通常縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通之ヲ定ム

明治二十七年地方稅賦課徵收規則

第一章 地租割

第一條 地租割ハ二期ニ區分シ上半年期四月ヨリハ四月一日下半年期十月ヨリハ十月一日

日ノ現地租額ニ據リ賦課ス

第二條 地租割ハ別ニ定ムル納期ニ據リ其課額ノ半數ヲ每期徵收ス

第三條 地租割ハ賦課期日后當初ノ租額ニ異動ヲ生スルモ賦課額ヲ増減セス

第二章 戶數割

第四條 戶數割ハ二期ニ區分シ上半年期四月ヨリハ四月一日下半年期十月ヨリハ十月一日

日ノ現戶數ニ據リ左ノ如ク賦課ス

一 本籍寄留ト戸主非戸主ヲ問ハス一戸ナスモノ

一 甲乙同居ノ名アリト雖モ炊爨ヲ異ニシ一戸ノ体裁ヲナスモノ

第五條 戶數ハ別ニ定ムル納期ニ據リ其課額ノ半數ヲ每期徵收ス

第六條 各戶ノ課額ハ市町村會ニ於テ等差ヲ設ケ賦課スルヲ得

但等差ヲ設ケルカ爲メ其市町村ニ係リ納額ヲ増減スルヲ得ス

第七條 町村ノ狀況ニ依リ二町村以上ノ納額ヲ併セ前條ノ方法ニ據リ町村組合會ニ於テ



議定スルコトヲ得

第八條 每徵收期納稅前ニ於テ轉住スルモノハ舊市町村ニ於テ徵收ス

第三章 營業稅雜種稅

第九條 年稅ヲ賦課スル營業稅雜種稅ハ二期ニ區分シ上半年期四月ヨリ九月マテハ四月一日下半年期十月ヨリ翌ハ十月一日ノ現在ニ據リ賦課ス

第十條 營業稅雜種稅ハ別ニ定ムル納期ニ據リ年稅ハ其課額ノ半數ヲ每期徵收ス

第十一條 地位ニ據リ賦課スル年稅ハ每期營業ノ戶數ニ據リ每業店ノ區別ヲ云フ其地ノ納額ヲ定ム

第十二條 各戶ノ課額ハ市町村會ニ於テ等差ヲ設ケ前條ノ納額ニ據リ之ヲ賦課スヘシ

但等差ヲ設クルカ爲メ納額ヲ増減スルヲ得ス

第十三條 町村ノ狀況ニ依リ二稅區以上ノ納額ヲ併セ前條ノ方法ニ據リ其市町村會若クハ町村組合ニ於テ議定スルコトヲ得

第十四條 一人若クハ一會社ニシテ二課目以上ノ營業ヲ爲シ又ハ支店若クハ出張所ノ類ヲ設クルモノハ各別ニ課稅ス

但第十五條及第十七條ニ掲グルモノハ各其本條ニ據ル

第十五條 職工ヲ使役シテ物品ヲ製造シ之ヲ販賣スルモノ及職工ニシテ自製ノ物品ヲ開店販賣シ若クハ行商スルモノハ單ニ商業稅ヲ賦課ス

但染物屋印刷所製絲場及工業會社ニシテ其物品ヲ販賣スルハ別ニ商業稅ヲ賦課セス

第十六條 他ヨリ料理ヲ取寄セ來客ノ需ニ應スル待合ノ類ハ料理屋稅ヲ課ス

第十七條 職工中各種ヲ兼テ又ハ料理屋飲食店ヲ交互兼業スルモノハ其稅額ノ重キ一方ニ就キ課稅ス

第十八條 自家收得ノ農產物ト雖トモ開店販賣スルモノハ課稅ス其開店販賣セサルモ買入物品ニ混淆販賣スルモノハ課稅ス

第十九條 市場ハ毎月六日以上豫メ期日ヲ定メ開設スルモノハ定開市場稅ヲ賦課シ六日ニ滿タサルモノハ臨時市場稅ヲ賦課ス

第二十條 古物商等數人一所ニ集合シ俗ニ「カサフセ」ト唱ヘ一種ノ入札法ヲ以テ物品ノ賣買ヲナスモノハ市場稅ヲ課稅セス

第二十一條 會社ニシテ資本金ヲ定メ難キモノハ收益金ヲ十倍シタル額ヲ資本金ト見做シ課稅ス

第二十二條 演劇及興行ニシテ一人毎ニ場代方言ヨリ又ハ中木戸ト稱フルモノヲ受クルモノハ三人分ヲ以テ上場一枚ト見做シ課稅ス

第二十三條 演劇及興行ニシテ晝夜ヲ區別シ觀客ヲ容レ易ヘ恰モ二日間等シキ事實アルモノハ晝夜各別ニ課稅ス

第二十四條 漁業中獵、夜川、張切、瀨流、火振網漁ハ長良川通郡上武儀ノ郡界ヨリ中島



郡小敷村迄ノ間ニ於テスルモノニ限リ本稅ヲ課シ其他ノ場所ニ於テスルモノハ雜漁トシテ課稅ス

第二十五條 雜漁者中俸給月額十二圓以上ヲ受ルモノ地價千圓以上ヲ有スルモノ所得稅納稅者及其家族ハ遊漁稅ヲ課スルモノトス

第二十六條 年稅ハ開業九月以前ハ全額十月以後ハ半額廢業九月以前ハ半額十月以後ハ全額ヲ課ス

但製系場鉛數染物屋瓶桶鉢ノ類印刷所器械湯屋湯坪水車(口數等)乘馬自轉車ノ増減モ亦同シ

第二十七條 月稅ハ開業十五日以前ハ全額十六日以後ハ半額廢業十五日以前ハ半額十六日以後ハ全額ヲ課ス

第二十八條 年度中他ノ課目ニ轉業スルモノハ新規開業ニ準シ課稅ス

第二十九條 地位ニヨリ賦課スルモノ、新規開業ハ該半期中ハ其地ノ普通課額ヲ課ス但徵々タル營業者ハ其稅額ヲ輕減スルコトアルヘシ又普通額以上ノ納稅者ニシテ前期ニ於テ一旦廢業シ再ヒ同店ニ於テ同種ノ業ヲ開キ若クハ他人之ヲ受ケ其業ヲ繼續スルモノハ前期ノ負擔額ニ據リ課稅ス

第三十條 脫稅者アリテ他日發覺スルトキハ其通脫ニ係ル前金(普通額アルモノ)ハ其普通額收ス

第三十一條 左ニ掲クルモノハ其稅ヲ免除ス

- 一 飲食店ニテ僅ニ菓物草鞋ノ類ヲ小賣スルモノ
- 二 自家所産ノ菓物及自家製造ノ草鞋ノ類ヲ開店販賣小賣スルモノ
- 三 水饅煎餅煎豆飴等ヲ行商小賣スルモノ
- 四 自家所有ノ山林ニ於テ自ラ炭燒ヲナシ販賣スルモノ
- 五 自用ヲ辨スル能ハサル不具ノ遊藝師匠及遊藝稼人
- 六 叔挽臼及自用ニ供スル一曰立ノ水車
- 七 職工中十四年未滿六十年以上ノモノ及婦女ニシテ戶主ノ業ヲ助クルモノ
- 八 俗ニなをしト稱スル履物職渡世ノモノ
- 九 農間僅ニ草屋根ヲ葺キ又ハ土曰ヲ造ルモノ
- 十 雜漁中十四年未滿六十年以上ノモノ及漁具ヲ携ヘサルモノ
- 十一 理髮人中十四年未滿六十年以上ノモノ

第三十二條 前條中年齡ニ據ルヘキモノハ賦課期日ヲ以テ起算ス

第三十三條 第八條ハ本章ニモ適用ス

○縣令第六號 二十七年三月八日

一 小學校ノ校舍狹隘ナルカ爲ニ學齡兒童就學ノ便ヲ缺クモ市町村ニ於テ更ニ設備ヲ爲スノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ於テハ明治二十四年文部省令第十二號學級編制等ニ關スル



規則第九條ノ旨趣ヲ適用シ全校又ハ某級ノ兒童ヲ二部ニ區分シテ教授スルコトヲ得  
 前項ノ場合ニ於テハ町村立小學校ニ就キテハ町村長ニ於テ郡長ノ許可ヲ受クヘク市立  
 小學校ニ就テハ市長ニ於テ知事ノ許可ヲ受クヘシ  
 二 貧窮又ハ其ノ他ノ事情ノ爲ニ小學校令規定ニ依リ就學ノ免除ヲ得タル兒童ニシテ夜  
 間日曜日又ハ便宜ノ日時ニ於テ近易ナル方法ニ依リ相當ノ教育ヲ受ケタル者ニハ其ノ  
 望ニ依リ尋常小學校ニ於テ試験ノ上其ノ課程ニ照シ相當ノ證明書又ハ卒業證書ヲ與フ  
 ヘシ其書式ハ明治二十五年岐阜縣令第六十六號小學校教則第三十二條ニ示セル修業證  
 書又ハ卒業證書ノ例ニ依ルヘシ

○縣令第七號 二十七年三月八日

岐阜縣尋常師範學校長學事視察規程左ノ通之ヲ定ム

岐阜縣尋常師範學校長學事視察規程

- 第一條 尋常師範學校官制第三條ニ依リ尋常師範學校長ニ於テ縣内ノ學事ヲ視察スル概  
 目左ノ如シ
- 一 學事ニ關スル法令施行ノ情況
  - 二 教授及管理ノ方法
  - 三 學級ノ編制、教員ノ配置、學科課程試驗ノ情況
  - 四 設備ノ整否

- 五 學齡兒童就學及出席ノ情況
  - 六 生徒ノ風儀及成績
  - 七 學校衛生ノ情況
  - 八 學校長教員執務ノ情況
  - 九 學事ニ關スル會計及經濟ノ情況
  - 十 學事集會ノ情況
  - 十一 學事ニ於ル市町村一般ノ感情
  - 十二 其ノ他特ニ必要ト認ムル件
- 第二條 知事ハ必要ノ場合ニ於テハ前條各項ノ外臨時ニ事項ヲ定メ又ハ前條ノ各項中或  
 ル事項ヲ限リ特ニ尋常師範學校長ヲシテ視察ヲ爲サシムルコトアルヘシ
- 第三條 尋常師範學校長ハ視察ヲ終ル毎ニ其ノ情況ヲ詳述シ意見ヲ付シテ知事ニ申報ス  
 ヘシ

○縣令第八號 二十七年三月八日

印紙類賣下賣捌規則同施行細則ニ基キ願屆等ニ關スル規定左ノ通之ヲ定ム

但明治二十三年(三月)本縣令第二十六號及明治二十四年(八月)本縣令第四十七號ハ廢

止ス(原達  
 訂正)

第一條 印紙類ノ賣捌(元賣捌ヲ除ク)ヲ爲サントスル者ハ第一號様式ニ依リ願書ヲ製シ所轄收



稅署へ差出スヘシ

第二條 印紙類賣下賣捌規則施行細則第五條ノ標札ハ第二號様式ニ依リ調製スヘシ

第三條 賣捌人(元賣捌ヲ除ク)ハ第三號様式ニ依リ每半年ノ各印紙類賣捌高ヲ取調七月二日限

リ所轄收稅署へ差出スヘシ(廿八年縣令第四十ニ號ヲ以本條刪除)

但印紙類賣下賣捌規則第九條及第十條二項ノ場合又ハ廢業ハトキハ其都度差出スヘシ

第四條 賣捌人改姓名ヲ爲シタルトキハ其旨所轄收稅署へ届出スヘシ

(第一號)(廿八年縣令第四十二號本項改正ノ文)

印紙類賣捌願

國郡(市)町(村)大字番戶(奇留)

何 某

右ハ國郡(市)町(村)大字番戶ニ於テ印紙類賣捌仕度候間御免許被下度尤規則第五條ニ抵觸ノ廉無之候此段相願候也

年 月 日

右

何 某印

知 事 宛

前書出願ニ付與印仕候也

市町村長 何 某印

備 考

一 與印ヲ受クヘキ市町村長ハ出願人現住地ノ市町村長タルヘシ

一 恩給又ハ扶助料ヲ受クル者ハ出願書ニ其ノ証書寫ヲ添付スヘシ

一 規則第五條ノ煙草營業人若クハ其ノ家族又ハ同居ノ者及賣藥營業者請賣者行商者若クハ其家族又ハ同居ノ者ハ願書中ニ其ノ旨掲記スヘシ

(第二號)

木製 豎三尺 橫九寸

何々	印紙賣捌所
何々	何
何々	國郡(市)町(村)大字番戶
	何 某

(第三號)

明治 年 自一(七) 至六(十二) 月 印紙類賣捌高取調書



印紙種別	前期ヨリ越高	受	高賣	捌	高	殘	高

右之通相違無之候也

國郡(市)町(村)大字番戶

印紙類賣捌人

何

某

年月日 知事 宛

備考

一 印紙類ハ證券手形煙草賣藥訴訟用登記ノ六種ニ區別シ各其價格ノ金高ヲ記載ス

○縣令第九號 二十七年三月八日

明治二十五年(十二月)岐阜縣令第七十九號小學校長及教員進退ニ關スル細則左ノ通改正ス

小學校長及教員ノ任用解職其他進退ニ關スル細則

第一條 市町村立小學校教員ノ推薦ハ市長又ハ郡長ニ於テ教員ノ缺員ヲ生シ又ハ新ニ其位地ヲ設ケタル日ヨリ二十八日以内ニ之ヲ施行スヘシ若シ知事ニ於テ其ノ推薦ヲ適當ナラスト認メ再ヒ推薦ヲ命シタルトキハ其ノ當日ヨリ十四日以内ニ之ヲ施行スヘシ

第二條 市町村立小學校教員ニ交附スヘキ給料額ニ關シテハ市長ハ郡長ニ於テ市參事會又ハ町村長ノ意見ヲ徵シ見込ヲ定メ之ヲ知事ニ具申スヘシ(廿七年縣令二十)  
(七號改正ノ文)

第三條 市町村立小學校教員ノ兼任、轉任、休職、退職ヲ要スルトキハ市長又ハ郡長ハ之ヲ知事ニ具申スヘシ

郡市ヲ異ニスル市町村立小學校教員轉任ノ具申ニ就キテハ關係アル市長又ハ郡長洵署スヘシ

第四條 市町村立小學校本科正教員中學校長ニ適任ノ者ナキトキハ專科正教員ヲシテ之ヲ兼テシムルコトアルヘシ

市長又ハ郡長ハ市町村立小學校長ノ任免ヲ知事ニ具申スルコトヲ得

第五條 市長又ハ郡長ニ於テ市町村立小學校ニ任用スヘキ適當ノ正教員ヲ得ス一時准教員ノ代用ヲ要スヘシト認ムルトキハ其ノ期限ヲ定メ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 小學校教員ノ免許狀ヲ有シ市町村立小學校教員タル者ニシテ其ノ有効期限滿ツルトキハ特ニ辭令ヲ用井スシテ退職ヲ命シタルモノトス但其ノ免許狀有効期限滿前ニ更ニ檢定ヲ經テ相當ノ免許狀ヲ得タル者ハ其尙ノ職ヲ繼續ス



第七條 私立小學校設立者ハ小學校長及教員ヲ任用又ハ解職シタルトキハ其ノ都度之ヲ知事ニ開申スヘシ

第八條 市町村立又ハ私立小學校ニ於テ一時教授スル准教員任用ノ期限ハ一箇年以内トス

第九條 第一條ノ推薦書及第七條ノ任用開申書ニハ本人ノ履歷書ヲ添附スヘシ其ノ書式ハ明治二十六年岐阜縣令第一號小學校教員檢定等ニ關スル細則第三條ノ別紙書式ニ依ルヘシ

附則

第十條 本令ニ抵觸スル從前ノ令達ハ之ヲ廢止ス

◎縣令第十號 二十七年三月八日

明治廿六年(十二月)告示第六十一號同第六十五號及明治二十七年(二月)告示第三十號ヲ以告示シタル明治廿六年度地方稅追加地租割及戶數割左ノ通來ル三月三十日限徵收ス

郡市連帶ノ部

地租割 地租一圓ニ付三錢四厘

戶數割 戶數一戶ニ付拾七錢八厘

郡部ノ部

戶數割 戶數一戶ニ付壹錢壹厘

○縣令第十一號 二十七年三月十三日  
 明治二十六年(五月)勅令第五十八號第七條ニ依リ醫師藥劑師藥種商及製藥者ニ於テ調製スル帳簿ハ左ノ書式ニ據ルヘシ

明治何年 自何月 至何月

酒精 受 拂 帳

國郡(市)町(村)大字番戶  
 醫師(藥劑師)(藥種商)(製藥者)  
 何 某

受ノ部		賣渡人住所氏名		摘	要
月 日	酒精石量	代 價	國郡(市)町(村)大字番戶	○	
前年ヨリ	何石何斗	○	○		
越 高	何斗何升	何圓何拾錢	國郡(市)町(村)大字番戶	○	
何月何日	何斗何升	何圓何拾錢	何 某	○	
何月何日	何斗何升	何圓何拾錢	國郡(市)町(村)大字番戶	○	
何月何日	何斗何升	何圓何拾錢	何 某	○	
拂ノ部		買受人住所氏名		摘	要
月 日	酒精石量	代 價	國郡(市)町(村)大字番戶	○	
越 高	何石何斗	○	○		
何月何日	何斗何升	何圓何拾錢	國郡(市)町(村)大字番戶	○	
何月何日	何斗何升	何圓何拾錢	何 某	○	
何月何日	何斗何升	何圓何拾錢	國郡(市)町(村)大字番戶	○	
何月何日	何斗何升	何圓何拾錢	何 某	○	



何月何日	何	合	何拾錢	國郡(市)町(村)大字番戶	醫師何某證明ノ
何月何日	何	合	何拾錢	國郡(市)町(村)大字番戶	分
何月何日	何	合	何拾錢	國郡(市)町(村)大字番戶	醫師何某證明ニ依リ讓渡ノ分
何月何日	何	合	何拾錢	○	何々ニ使用

備考

一 此帳簿ハ毎年一月ヨリ十二月マテヲ限リ新タニ調製スヘシ

○縣令第十二號 二十七年三月十四日

酒精營業稅法同施行細則ニ基キ諸願屆書及帳簿樣式等ニ關スル規程左ノ通之ヲ定ム

第一項 明治二十六年勅令第五十八號及酒精營業稅法施行細則ニ依リ管廳ニ差出スヘキ

諸願屆書類ハ第一號乃至第八號書式ニ依リ其他書式ヲ定メサルモノハ適宜之ヲ調製シ

所轄收稅署ヘ差出スヘシ

第二項 酒精營業稅法施行細則第五條ノ標札ハ第九號樣式ニ據ルヘシ

第三項 酒精營業稅法施行細則第七條ノ帳簿ハ第十號乃至第十三號ノ樣式ニ依ルヘシ

但製造原料品買入及遺拂帳ハ明治二十三年岐阜縣令第五十號酒造營業人心得書樣式

第十一號ニ依リ調製シタル帳簿ヲ兼用シ別ニ調製スルニ及ハス

前項ノ帳簿ヲ亡失毀損シタルトキハ直ニ其事由ヲ詳記シ所轄收稅署ヘ届出ヘシ

第四項 營業人不在又ハ事故アルトキハ代人ヲ置キ營業ニ關スル諸般ノ事ヲ辨セシムヘ

(第一號)

酒精營業免許願

國郡(市)町(村)大字番戶

營業場

一ヶ年販賣見込高

何石

右營業場ニ於テ甲(乙)種酒精營業致度候間免許鑑札御下渡被下度別紙保証金トシテ何地  
金庫供託保管 書第何號何通相添此段相願候也

國郡(市)町(村)大字番戶

(原籍府縣郡市町村大字番戶)

願人 何 某印

市町村長 何 某印

年月日

知事 宛

備考

一 奥印ヲ受クヘキ市町村長ハ營業場所在地ノ市町村長タルヘシ以下做之

(第二號)



酒精營業免許及免稅願

一ヶ年販賣見込高

國郡(市)町(村)大字番戶  
營業場

何石

右營業場ニ於テ醫藥用酒精販賣營業致度ニ付甲(乙)種酒精營業免許鑑札御下渡并ニ營業  
稅免除ノ儀御認許被下度併テ此段相願候也

年月日

國郡(市)町(村)大字番戶  
(原籍府縣郡市町村大字番戶)  
願人 何 某印  
市町村長 何 某印

知事宛

(第三號)

酒精販賣見込高增加ニ付保證金追補  
(減量ニ付保證金減額)願

國郡(市)町(村)大字番戶  
營業場

届高何石(ノ内)

何石 增加(減量高)

右營業場ニ於テ一ヶ年販賣見込高前書之通増加(減量)致度候間別紙保證金追補(減額)ト  
シテ何地金庫供託保管証書第何號何通(差出候條彙ニ提出ノ証書ト御引換被下度)相添此  
段相願候也

年月日

國郡(市)町(村)大字番戶  
願人 何 某印

知事宛

(第四號)

酒精買入届

國郡(市)町(村)大字番戶  
甲(乙)種 營業場  
又ハ消費者 何 某

明治何年何月何日買入  
一酒精何石何斗  
代價何拾何圓  
右及御届候也

買入先何國郡(市)何(村)大字番戶何誰  
又ハ何商會

年月日

右 何 某印

知事宛

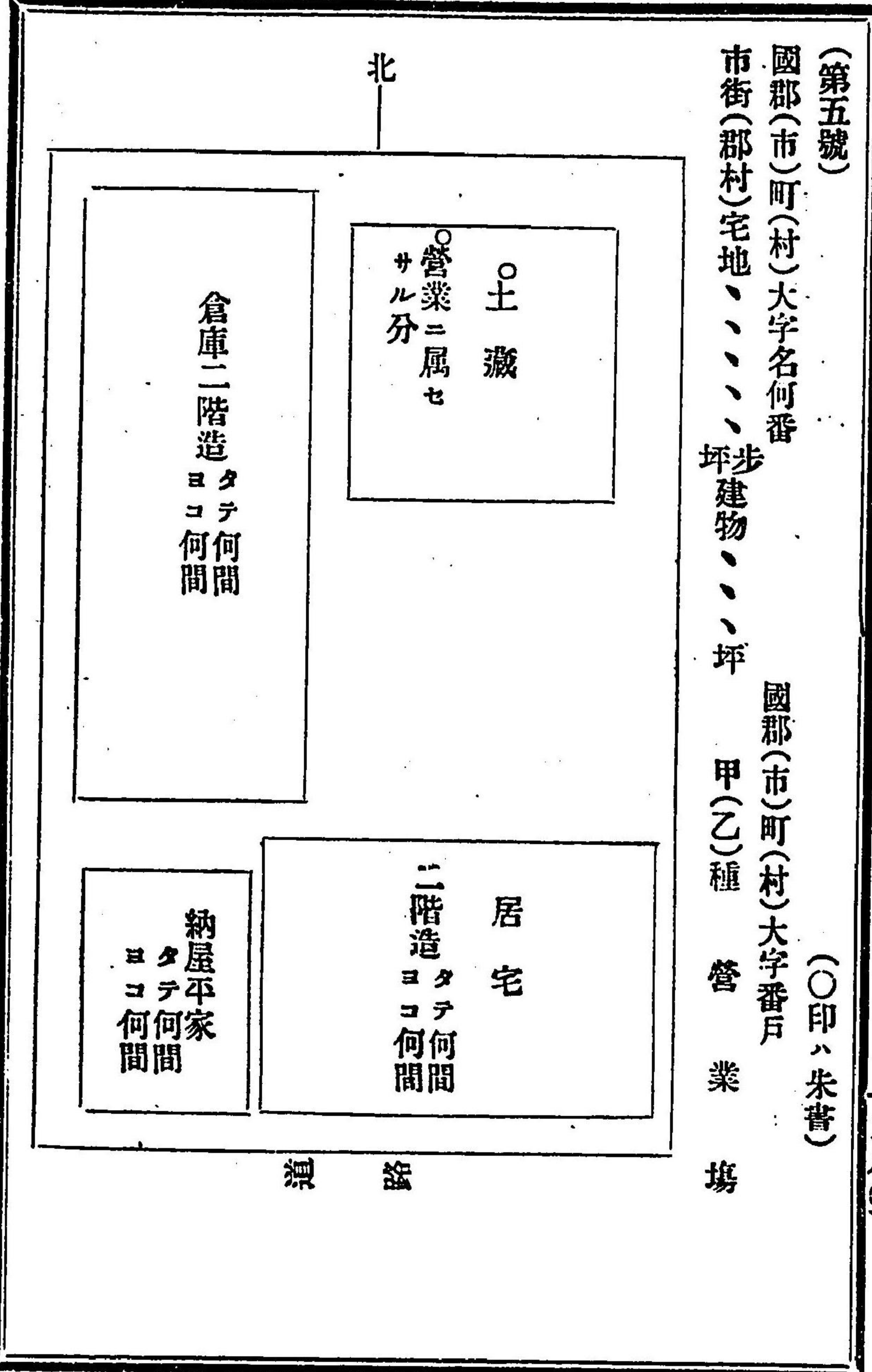


(第五號)

國郡(市)町(村)大字名何番  
市街(郡村)宅地、、、、坪  
建物、、、、坪

國郡(市)町(村)大字番戶  
甲(乙)種 營業場

(○印ハ朱書)



右之通相違無之候也

年月日

知事 宛

國郡(市)町(村)大字番戶

何 某

備考

一 地所建物増減ノ届書ハ此書式ニ準據調製スヘシ  
(第六號)

酒精營業場ニ使用スル諸器械容器目錄

國郡(市)町(村)大字番戶

甲(乙)種 營業場

- 一 罎 何個
- 一 何々 何個
- 一 柄杓 何本
- 一 樹 何個
- 一 何々 何々

右之通相違無之候也

國郡(市)町(村)大字番戶



年月日 知事宛 何 某印

備考 一 酒造兼業ノ者ニシテ其諸器械容器類等總テ酒造ト兼用スヘキモノ、届書ハ明治二十三年岐阜縣令第五十號酒造營業人心得書第七號書式ニ依リ何年何月何日差出置候調書ノ通タル旨届出ルモ妨ケナシ

第七號 酒精販賣高届

國郡(市)町(村)大字番戶 甲(乙)種 營業 場

前年一月越高 何石  
製造 高 何石  
買入 高 何石  
計 何石  
一酒精何石 販賣 高  
外 工業用免稅高  
酒精何石

同 何程 減 量  
差引何石 本年一月へ越高

右ハ明治何年一月一日ヨリ十二月三十一日マテ販賣高書面ノ通相違無之候也  
右營業人 何 某印

年月日 知事宛 何 某印

備考 一 税法第六條第二項ノ場合ニ於テ販賣前超過見込石量ノ届書ハ此書式ニ準據調製スヘシ

(第八號) 酒精消費高届

國郡(市)町(村)大字番戶 消費者 何 某

前年一月へ越高 何石  
買入 高 何石  
計 何石  
一酒精何石 消費 高



外

酒精 何石

差引 何石

工業用免稅高

本年一月へ越高

右ハ明治何年一月一日ヨリ十二月三十一日マテ消費高書面ノ通相違無之候也

右

年月日

何 某印

知事 宛

(第九號)

木製 寸法堅三尺横八寸

第何號(醫藥用)

甲(乙)種酒精營業免許

國郡(市)町(村)大字番戶

何 某

(第十號)

明治何年 自何月 至何月

酒精製造帳

國郡(市)町(村)大字番戶

甲(乙)種營業人 何 某

前年ヨリ越高

一酒精何程

何月何日製成酒造蒸溜帳ヨリ轉記

一酒製何程

蒸溜度數 何度

何月何日同上

一酒精何程

蒸溜度數 何度

備考

一帳簿ハ毎年一月ヨリ十二月マテヲ限リ新ニ調製スヘシ以下之ニ做フ

一本帳ハ營業場一箇所毎ニ調製シ年末ニ總計ヲ付スヘシ

(第十一號)

明治何年 自何月 至何月

酒精買入帳

國郡(市)町(村)大字番戶



月 日	酒精石量	代 價	賣渡人住所氏名	摘 要
前年ヨリ 越 高	何石何斗何升	○	○	○
何月何日	何斗何升	何拾圓何拾錢	國郡(市)町(村)大字番戶 何 商 會	瓶 入何 個 又ハ樽入何 個
何月何日	何升何合	何圓何錢	國郡(市)町(村)大字番戶 何 某	何酒何石何斗中 混和ノ分
何月計				
通 計				

備考  
 一 營業者ハ營業場一箇所毎ニ調製スヘシ  
 一 一箇月毎ニ月計ヲ付シ二箇月ヨリ通計ヲ付スヘシ  
 (第十二號)

甲(乙)種營業人 何 某  
 「税法第五條第二項ニ該當スル者ハ  
 之ヲ記載スルヲ要セス

明治何年 自何月 至何月  
 酒 精 賣 上 帳

月 日	酒精石量	代 價	買請人住所職業氏名	摘 要
何月何日	何斗何升	何圓何拾錢	國郡(市)町(村)大字番戶 何 某	瓦 入何 箇
何月何日	何斗何升	何拾何錢	國郡(市)町(村)大字番戶 何 某	樽 入何 箇
何月何日	、 、 、 、	、 、 、 、	酒類小賣人 何 某	何酒何斗何升 中混和ノ分
何月計				
通 計				

有稅之部  
 國郡(市)町(村)大字番戶  
 甲(乙)種營業人 何 某  
 甲種營業人ノ例







何月何日	何斗何升	何圓何拾錢	何々ニ使用
何月何日	何升何合	何圓何拾錢	同
何月計			
通計			

備考

- 一 一箇月毎ニ月計ヲ付シ二箇月目ヨリ通計ヲ付スヘシ
  - 一 工業用ニ供スルモノアルトキハ別ニ口座ヲ設ケ本例ニ準シ記載スヘシ但此場合ニ於テハ通計ヲ付スルニ及ハス
  - 一 明治二十六年勅令第五十八號第二條ノ認許ヲ受ケタル者モ本例ニ準シ記載スヘシ但此場合ニ於テハ通計ヲ付スルニ及ハス
- 縣令第十三號 二十七年三月十四日  
牛疫豫防ノ爲客年九月二日岐阜縣令第六十三號ヲ以テ三重縣管内ヨリ牛羊豚ノ出入往來及ヒ其生肉生皮輸入停止ノ處自今其停止ヲ解ク
- 縣令第十四號 二十七年四月九日

蠶絲業取締規則左ノ通相定ム(廿八年縣令十七號ヲ以改正ニ付左書界ス)

但明治十八年(十一月)本縣甲第九十六號布達並明治二十年(五月)岐阜縣令第四十五號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○縣令第十五號 二十七年四月十日

本年大藏省令第三號ヲ以テ所得金高届書式備考更正ニ付該旨趣ニ依リ右届書ノ内譯明細書式別紙ノ通之ヲ定ム

但内譯明細書ハ便宜所得金高届書ニ直ニ記入調製スルモ妨ナシ(廿七年縣令十九號ヲ以但書追加)

所得金高届明細仕譯書

○印ハ朱

○税法第二條第一項ノ所得ハ左ノ如ク記載スヘシ

公債證書ノ利息

内譯

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

一金何圓何錢何厘

内譯

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

何々公債額面何程ノ利息

家族某

何々公債額面何程ノ利息

貸金ノ利息

○貸金營業ノトキハ税法第二條第一項ニ入ルヘキモノト知ルヘシ

貸金高何程一々年利息何分

明治二十七年四月 縣令



一金何圓何錢何厘

內譯

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

一金何圓何錢何厘

內譯

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

一金何圓何錢何厘

內譯

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

一金何圓何錢何厘

內譯

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

一金何圓何錢何厘

預々金ノ利息

預々金高何程一々年

利息何分

同何程一々年利息何分

株式利益配當金

第何國立銀行何株額面何程

利益配當金

何々會社何株額面何程利益

配當金

俸給

何官俸給

家族某何々ノ俸給

手當金

何々ヨリ受クル手當金

家族某何々ヨリ受クル

手當金

但家族某賞勳年金又ハ陸軍(文官)恩給金

一金何圓何錢何厘

但家族某何銀行ヨリ受クル賞與金

○税法第二條第二項ノ所得ハ左ノ如ク記載スヘシ

一金何圓何錢何厘

內譯

金何圓何錢何厘

此田反別何反何畝步地價何百何圓何錢平均一反步ニ付一々年小作米何程ツ、但平

均米一石ニ付金何程

外

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

小以金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

此畑反別何反何畝步地價何百何圓何錢平均一反步ニ付一々年小作米(金)何程ツ、

但米一石ニ付金何程

割賦賞與金

田(畑)貸付ノ所得

何郡何村大字何々田地

貸付ノ所得

地租

地方稅

村稅

何郡何村大字何々畑地

貸付ノ所得

此畑反別何反何畝步地價何百何圓何錢平均一反步ニ付一々年小作米(金)何程ツ、







一金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 小以金何圓何錢何厘  
 一金何圓何錢何厘

地方稅  
 村稅  
 種代料  
 肥料  
 雇人給料  
 何々

山林ノ所得

金何圓何錢何厘

何郡何村大字何々山林伐採ノ所得

但伐採反別何町步此立木檜(杉)何百本(雜木薪何間丈々何尺段炭何百貫目燒々又  
 小柴何貫目)何本又ハ何間何貫目ニ付代金何程

外

金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 小以金何圓何錢何厘

地租  
 地方稅  
 村稅

一金何圓何錢何厘

曾家ノ所得

內譯

金何圓何錢何厘

何郡何町大字何番戶貸家ノ所得

此貸家ニ屬スル所有宅地何反何畝步地價何百何圓何錢此建物總坪數何程但一ヶ月

外

金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘  
 小以金何圓何錢何厘

地租  
 地方稅  
 村稅  
 修繕費  
 何々

一金何圓何錢何厘

何郡何町大字何番戶吳服商ノ所得

此卸賣一々年賣上金高何程小賣一々年賣上金高何程但賣上金高百圓ニ付何程ノ純益

金何圓何錢何厘  
 金何圓何錢何厘

商業稅  
 商品原價



金何圓何錢何厘  
金何圓何錢何厘  
金何圓何錢何厘  
小以金何圓何錢何厘

雇人何人。其商業ニ專使スルモ  
給料ノニ限ル以下同シ  
雇人何人食料  
雇人何人仕着セ料  
何々

一金何圓何錢何厘

何郡何町大字酒造營業ノ所得  
何市何村醬油造營業ノ所得

此販賣不數何程賣上金高何程但一石ニ付平均代價何程  
外

金何圓何錢何厘  
金何圓何錢何厘  
金何圓何錢何厘  
金何圓何錢何厘  
金何圓何錢何厘  
小以金何圓何錢何厘

營業稅  
造石稅  
原料品代價  
雇人何人給料  
同上食料  
何々

一金何圓何錢何厘

何郡何町大字質屋營業ノ所得  
何市何村

此一々年貸出シ金高何程但利子何歩

外

金何圓何錢何厘  
金何圓何錢何厘  
小以金何圓何錢何厘

商業稅  
何々

一金何圓何錢何厘

此客間何坪一々年ノ來客何百人平均一人當リ宿料又酒食料金何程

何郡何町大字旅館屋營業ノ所得  
何市何村料理店營業ノ所得

外

金何圓何錢何厘  
金何圓何錢何厘  
金何圓何錢何厘  
金何圓何錢何厘  
小以金何圓何錢何厘

商業稅  
雇人何人給料  
雇人何人食料  
何々

一金何圓何錢何厘

此一々年取扱ノ荷物個數及貫目何程但一貫目ニ付平均運賃何程

何郡何町大字運送營業ノ所得  
何市何村

外

金何圓何錢何厘

商業稅



金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

小以金何圓何錢何厘

一金何圓何錢何厘

此一少年請負金高何程但純益何步

外

何郡何町大字 房屋建築 土木請負營業ノ所得

雇人何人給料  
何々

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

小以金何圓何錢何厘

一金何圓何錢何厘

此一少年販賣製造品何程此賣上金高何程平均一個ニ付代價何程

外

何郡何町大字何々鑄造營業ノ所得

商 業 稅  
原料品代價  
人夫何百人分給料  
何々

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

商 工 業 稅  
原料品代價  
雇人何人給料

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

小以金何圓何錢何厘

一金何圓何錢何厘

但買入繭何百石(何百貫目)又ハ自製繭何十石(何十貫目)此製出生絲何十貫目玉絲何十貫目真綿何程屑絲何程賣上金高何程平均生絲一貫目又ハ真綿一貫目ニ付代金何程

何郡何町大字何製絲場ノ所得

同 上 食 料  
何々

外

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

小以金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

金何圓何錢何厘

但茶青葉買入何百貫目又ハ自作茶青葉何十貫目此製成何十貫目賣上金高何程平均

何郡何町大字何製茶場ノ所得

商 業 稅  
雇買入代  
工女何人給料  
雇人何人給料  
同 上 食 料  
何々



一貫目ニ付代金何程

外

- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 小以金何圓何錢何厘

- 商 業 稅
- 茶青葉買入代
- 雇人何人給料
- 同上 食料
- 何 々

一金何圓何錢何厘

但買入原料楮皮何百貫目何々何程自作楮皮何貫目此製出美濃紙何百九半紙何百九  
 大判紙何十九何一九ニ付代金何程

外

- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘

- 商 業 稅
- 楮皮買入代
- 何々買入代
- 雇人何人給料
- 同上 食料

何郡何町大字何製紙場ノ所得

何市何村

金何圓何錢何厘

小以金何圓何錢何厘

一金何圓何錢何厘

但奉(夏)蠶種掃立原紙何枚(何十何匁)此成繭何百何十石(何百何十貫目)一石ニ付  
 代金何程

外

- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘
- 小以金何圓何錢何厘

- 桑葉何百貫目買入代
- 養蠶雇人何人給料
- 養蠶雇人何人食料
- 原紙 種代
- 何 々

所得高計金何百何圓何錢何厘

内

- 金何圓何錢何厘
- 金何圓何錢何厘

- 家族某所得
- 同某所得

例



○一土地ノ所得ハ各町村大字限リ田畑宅地池沼山林原野ノ各地目別ニ掲クルヲ要ス  
 ○一商業ノ所得ハ其商店毎ニ各別ニ掲ケ又一商店中種類ノ異ナルモノ(仮令ハ吳服ト雜貨ヲ商業スルノ類)ハ其種類毎ニ所得ヲ掲クルヲ要ス  
 ○一商工業ノ内以上書式ニ例示ナキモノハ其類似ノモノニ準據記載シ各所得ヲ算出スヘキ標準ヲ掲クヘシ

○縣令第十六號 二十七年四月十一日  
 ラム子製造販賣取締規則左ノ通相定ム

ラム子製造販賣取締規則

- 第一條 ラム子ヲ製造販賣セントスル者ハ製造所ノ位置用水汲取ノ場所及製造ノ方法ヲ詳記シ製品ヲ添ヘ所轄警察官署ヲ經テ願出許可ヲ受ヘシ
- 第二條 製造所ノ位置用水汲取ノ場所及製造ノ方法ヲ變更セントスルトキハ前條ノ手續ニ依リ願出許可ヲ受ヘシ
- 第三條 他府縣ヨリ輸入ノ製品ヲ販賣セントスル者ハ其製造者ノ住所氏名ヲ記載シ製品ヲ添ヘ所轄警察官署ヲ經テ願出許可ヲ受ヘシ
- 第四條 第一條第三條ニ依リ許可ヲ受タル製品ヲ請賣スル者ハ更ニ同條ノ手續ヲ要セス
- 第五條 製造者ハ容器ニ氏名若クハ會社名并ニ製造ノ年月日ヲ記シタル封緘ヲナスヘシ
- 第六條 他府縣ヨリ輸入ノ製品ヲ販賣スル者ハ製造者ヲシテ前條ノ事項ヲ記載シタル封

緘ヲ施サシメタル上自己ノ氏名若クハ會社名ヲ記シタル票紙ヲ貼付スヘシ

第七條 製造所ハ常ニ清潔ニナシ空氣ノ流通ヲ良スヘシ

第八條 製造所又ハ販賣者ニ就キ檢査ヲ行ヒ不良又ハ腐敗ノ徵アリト認ムルモノハ販賣ヲ禁シ製品ノ封緘ニ禁賣ノ印ヲ押捺ス(廿七年縣令廿八號改正ノ文)

第九條 廢業死亡又ハ轉居改氏名ヲ爲シタルトキハ十日以内ニ所轄警察官署ヲ經テ届出ヘシ

但所轄ヲ異ニスル地ニ轉居シタルトキハ前住所所轄警察官署ニモ届出ヘシ

第十條 本則第一條第三條ノ許可ヲ得スシテ販賣シタル者第二條ノ許可ヲ得スシテ變更シタル者第五條第六條ノ封緘又ハ票紙ナキモノヲ販賣シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ料料ニ處ス

第十一條 本令ハ明治二十七年五月一日ヨリ施行ス

○縣令第十七號 二十七年四月十一日

明治二十一年(六月)常縣令第五十五號煙草營業者心得書中改正ス(原達訂正)

○縣令第十八號 二十七年四月十一日

明治廿一年(三月)本縣令第三十號車類所有人心得書左ノ通改定ス

車類所有人心得書

第一項 車稅規則第一則ノ車類ヲ新調使用スル者ハ第一號書式ニ依リ願書ヲ製シ所轄收



稅署ニ申出檢印ヲ受クヘシ

第二項 車稅規則第一則中人力車及荷積車ノ區別ハ左ノ如シ

一人力車ハ橫幅內法(腰掛臺)曲尺二尺以上ヲ以テ二人乗トシ右未滿ヲ以テ一人乗トス

一荷物車ハ荷臺(全ク荷物ヲ積載スル場所)ノ縱橫相乘シ尺積十四坪以上ヲ以テ大七車以上トシ右

未滿ヲ中小車(大六以下)トス

但普通荷臺ノ外別ニ積載ノ場所ヲ架設スルモノハ其坪數ヲ合算ス

第三項 車稅規則第五則ノ耕作一途ニ使用スル車類ハ第二號書式ニ依リ願書ヲ製シ所轄稅署ヘ申出免稅ノ檢印ヲ受クヘシ

第四項 前項耕作一途用車トハ規則第一則第三項第六項第七項第八項ニ該當シ若クハ第

七項第八項ニ準スルモノニシテ農家ニ於テ農具種子肥料塵芥收穫物ヲ運搬スル自家所用ノ車ヲ云フ

但本文ニ掲クル物品ヲ運搬スルモノト雖トモ販賣ノ爲ニ使用スルモノハ免稅ノ限ニアラス

第五項 左ノ用途ニ供使スル車類ハ第二號書式ニ倣ヒ其用途ヲ詳記シタル願書ヲ製シ所轄稅署ヘ申出免稅ノ檢印ヲ請フヘシ

一非常專用ノ車

一郵便遞送ニ專用スル車ニシテ遞信省ノ指定ニ據リ構造シタルモノ

一公立幼稚園所屬ノ車ニシテ育兒ノ用ニ供スルモノ

一避病院所屬ノ車ニシテ傳染病患者消毒藥品若クハ死体汚穢物ヲ運搬スルモノ

第六項 製造所若クハ鑛山借區內ノ如キ一場內ニ專用スル車類又ハ祭典專用ノ山車ノ如キモノハ課稅ノ限リニアラス

第七條 車體ノ檢印ヲ磨滅毀損シ若クハ左ノ場合ニ係リタルトキハ速ニ所轄稅署ヘ届出檢印ヲ請フヘシ

一車類ヲ變更シタルトキ

一馬車馬ノ匹數ヲ變更シタルトキ

一車ニ修繕ヲ加ヘ稅金ニ差違ノ生シタルトキ

一免稅車ノ使用ヲ變換シタルトキ

第八項 左ノ場合ニ於テハ其事由ヲ詳記シ所轄稅署ヘ届出ツヘシ

一車ヲ解撤シタルトキ

一車ヲ亡失シ若クハ其所在ヲ發見シタルトキ

一代換リ若クハ氏名ヲ變換シタルトキ

第九項 所有者住所ヲ移轉シタルトキハ其移轉地車類ヲ賣買讓與シタルトキハ當事者双方ノ連印ヲ以テ其買讓受人所轄稅署ヘ届出スヘシ



第十項 前各項ノ願屆書ハ總テ其所轄市町村長(賣買讓與ノトキハ其買ノ與書證印ヲ受讓受人ノ所轄市町村長)ノ與書證印ヲ受

第十一條 車ヲ所有スル者納稅期限ニ際シ他出セントスル者ハ豫メ代人ヲ定メ其納稅ヲ辨セシムヘシ

(第一號)

車檢印願

國郡(市)町(村)大字番戶

何 某

一馬車 二匹立(一匹立)

一荷積馬車 (牛車)

一人力車二人乘(一人乘)

一荷積大(小)車

一輛 一輛 一輛 一輛

但荷臺縱何尺何寸何坪何合

右新調仕候間御檢印被下度此段相願候也

年月日

右

何 某

知事 宛

前書之通出願ニ付與印候也

年月日

市町村長 氏 名

(第二號)

免稅車檢印願

國郡(市)町(村)大字番戶

何 某

一荷積馬車 (牛車)

一荷積大(小)車

一輛 一輛

但荷臺縱何尺何寸何坪何合

右新調耕作一途ニ使用仕度候間免稅御檢印被下度此段相願候也

右

年月日

何 某

知事 宛

前書之通出願ニ付與印候也

年月日

市町村長 氏 名

●縣令第十九號 二十七年四月十七日  
本年四月本縣令第十五號達文へ左ノ但書ヲ追加ス(本年縣令二十  
一號ヲ以廢ス)

明治二十七年四月 縣令

一四〇九



但内詳明細書ハ便宜所得金高届書ニ直ニ記入調製スルモ妨ケナシ

○縣令第二十號 二十七年四月二十六日

明治二十年(六月)本縣令第五十二號所得稅調查委員會及調查委員撰舉細則第一條中六月トアルヲ七月ト定ム

○縣令第二十一號 二十七年四月二十六日

本年四月本縣令第十九號廢止ス

○縣令第二十二號 二十七年四月三十日

本年本縣令第十四號蠶絲取締規則中夏秋期飼育スル蠶種ニシテ越年セサルモノ、病毒檢査ハ當分其施行ヲ延期ス

○縣令第二十三號 二十七年四月三十日

獸肉販賣取締規則左ノ通相定ム

獸肉販賣取締規則

- 第一條 此規則ニ於テ獸肉ト稱スルハ食用ニ供スル牛馬羊豚及野獸ノ生肉ヲ云フ
- 第二條 獸肉ヲ販賣セントスル者ハ其種類ヲ記シ所轄警察官署ニ願出許可ヲ受ヘシ
- 第三條 獸肉ヲ行商セントスル者ハ其種類ヲ記シ所轄警察官署ニ願出鑑札ヲ受テ携帶スヘシ
- 第四條 牛馬羊豚ノ肉ハ本縣下ニ於テ屠殺セシモノト他府縣ヨリ輸入セシモノトヲ問ハ

ス總テ其府縣常該官ノ檢印ナキモノハ販賣スルヲ許サス

第五條 牛肉販賣店ニ於テ馬肉ヲ販賣シ馬肉販賣店ニ於テ牛肉ヲ販賣スヘカラス

但行商者ニ於テモ亦同シ

第六條 獸肉ノ種類ヲ詐稱シテ販賣スヘカラス

第七條 店頭ハ常ニ清潔ニシテ空氣ノ流通ヲ能クスヘシ

第八條 器具ノ類ハ時々洗滌シ骨片ノ類ハ腐臭ヲ發セサル前ニ取除クヘシ

第九條 獸肉ハ塵埃蒼蠅ノ附着セサル様清潔ナル布巾ヲ以テ之ヲ覆ヒ又ハ相當ノ器物ニ容レ置ヘシ

第十條 獸肉ハ當該官ニ於テ檢査ヲ行ヒ不良又ハ腐敗ノ徵アリト認ムルモノハ販賣ヲ禁スルコトアルヘシ

第十一條 廢業死亡又ハ轉居改氏名ヲ爲シタルトキハ十日以内ニ所轄警察官署ニ届出ヘ

但警察官署ノ所轄ヲ異ニスル地ニ轉居シタルトキハ前住地所轄警察官署ニモ届出ヘ

第十二條 行商者前條ノ場合ニ於テ廢業死亡ハ鑑札ヲ返納シ轉居改氏名ハ鑑札ノ書換ヲ請フヘシ

第十三條 行商者鑑札ヲ毀損又ハ遺失シタルトキハ其旨届出再渡ヲ請フヘシ



第十四條 本則第二條第三條第四條第五條第六條ニ違背シタル者ハ三日以上十日以下ノ拘留又ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第十五條 本令ハ明治二十七年七月一日ヨリ施行ス

●縣令第二十四號 二十七年五月七日

明治廿年(六月)本縣令第五十二號所得稅調查委員會及調查委員撰舉細則第一條中六月トアルヲ七月ト改ム(廿七年縣令二十  
六號ヲ以取消)

◎縣令第二十五號 二十七年五月九日

岐阜縣令第十四號蠶絲業取締規則中附則第五十條第二項ノ認可限期ハ本年五月三十一日マテ延期ス

○縣令第二十六號 二十七年五月十七日

明治二十七年(五月)岐阜縣令第二十四號取消ス

○縣令第二十七號 二十七年五月二十八日

明治廿七年(三月)岐阜縣令第九號小學校長及教員ノ任用解職其他進退ニ關スル細則第二條ヲ改ム(改訂)

○縣令第二十八號 二十七年五月廿八日

明治廿七年四月本縣令第十六號ヲムテ製造販賣取締規則第八條改正ス(改訂)

○縣令第二十九號 二十七年五月二十九日

明治廿六年(十一月)本縣令第七十一號警察署分署管轄區畫表中岐阜警察署欄内ニ岐阜金津派出所高山警察署欄内ニ高山安川派出所ヲ追加ス(改訂)

●縣令第三十號 二十七年五月三十日

本年本縣令第十四號蠶絲業取締規則中改正ス(原達  
廢止)

○縣令第三十一號 二十七年六月七日

明治二十四年(十月)本縣令第六十五號郡市長へ委任條件廢止ス

○縣令第三十二號 二十七年六月十五日

黒死病發生シタルトキハ虎列拉病發疹室扶斯病ニ準シ豫消毒法ヲ施行スヘシ  
醫師ニ於テ該病若クハ之ニ類似ノ症ヲ診斷シタルトキハ廿四時間以内ニ市町村長ニ届出  
ヘシ市町村長ハ速ニ郡長及ヒ警察官署ニ通知シ郡市町村長ハ之ヲ縣廳ニ申報スヘシ  
但土地ノ便宜ニ依リ醫師ヨリ直ニ警察官署ニ届出警察官署ヨリ市町村長ニ通知スルモ  
妨ケナシ

○縣令第三十三號 二十七年六月二十日

明治二十二年七月岐阜縣令第五十號渡船業取締規則第六條末項へ一項ヲ追加ス(改訂)  
一災害警防演習等ニ際シ一定ノ服裝ヲナシタル消防組員

○縣令第三十四號 二十七年六月二十日

人民私費ヲ以テ開設シタル橋梁及道路等ニ於テ災害警防演習等ニ際シ一定ノ服裝ヲナシ



タル消防組員ニ對シ其賃錢ヲ請求スヘカラス

○縣令第三十五號 二十七年六月二十五日

市町村立高等小學校設置規程左ノ通定ム

市町村立高等小學校設置規程

第一條 市町村立高等小學校ハ左ノ各項ヲ具備シタル地方ニ非ラサレハ之ヲ設置スルヲ得サルモノトス

一 尋常小學校ノ設備完全ニシテ且相當ノ教員ヲ配置シタルトキ

二 學齡兒童ノ修學比例十分ノ六以上ナルトキ

第二條 市町村立高等小學校ノ設置ハ左ノ各項ニ相當スルヲ要ス

一 高等小學校ニ就學スヘキ兒童凡五十人以上

二 高等小學校ノ經常費毎年度凡金三百圓以上ヲ支出シ且必要ノ臨時費ヲ支出スヘキ

資力アル地方

第三條 市町村立高等小學校首席訓導ノ月俸ハ七級俸以上タルヲ要ス

第四條 本令發布以前ニ設置シタル市町村立高等小學校ニシテ此規程ニ抵觸スルモノハ

明治二十八年三月三十一日限り之ヲ改ムヘシ

●縣令第三十六號 二十七年六月三十日

本年本縣令第十四號蠶絲業取締規則中改正ス(原達)  
(廢止)

○縣令第三十七號 二十七年七月十日

明治十九年八月本縣令第二十一號岐阜縣尋常中學校規則第二章第五條改正ス(改訂)

○縣令第三十八號 二十七年七月二十三日

明治廿五年十二月本縣令第六十四號狩獵規則ニ關スル出願手續中所轄警察署トアルヲ所轄警察官署ト改ム(改訂)

○縣令第三十九號 明治二十七年八月一日

消防組規則施行細則ノ通相定ム

消防組規則施行細則

第一章 總則

第一條

消防組設置ノ場所及名稱ハ告示ヲ以テ之ヲ指定ス

第二條 消防組ハ區域ヲ管轄スル警察署長分署長之ヲ指揮監督ス

第三條 消防組ニ關シ費用ヲ要スル事項ハ警察署長分署長ニ於テ市參事會町村長ニ移牒スヘシ

第四條 消防組ハ左ノ人員ヲ以テ組織ス

一 組頭 一名

一 小頭 一名乃至三名

一 消防手 二十名乃至百名

明治二十七年七月 縣令



數部ニ分チタルトキハ每部ニ小頭以下ノ人員ヲ置ク

警察署長分署長ハ警部長ノ指揮ヲ受ケ規定ノ範圍内ニ於テ組員ノ人員ヲ定ム

第二章 組織及事務

第五條 消防組ノ事務ハ組頭(部ニアリテハ小頭)之ヲ取扱フモノトス

第六條 組頭(部ニアリテハ小頭)ハ別紙定ムル處ノ様式ニ依リ組員名簿消防器具目錄及消防記錄ヲ設備シ之ヲ整理スヘシ

第七條 組頭(部ニアリテハ小頭)ハ消防ニ關スル命令及必要ナル事項ヲ部下ニ通知スヘシ災害又ハ集合運動ヲ命セラレタルニ際シ不參ノ者アルトキハ消防記錄ニ記載シ警察署長分署長ニ報告スヘシ

第八條 組頭(部ニアリテハ小頭)ハ消防器具及備置場ヲ保管シ破損又ハ不完全ノモノアルトキハ警察署長分署長ニ報告スヘシ

第九條 組頭ニ於テ部下ノ賞罰ヲ必要ナリト思料シタルトキハ警察署長分署長ニ具申スルコトヲ得

第十條 組頭ハ毎年二月消防器具ノ現況ヲ市參事會町村長ニ報告スヘシ但臨時市參事會町村長ヨリ報告ヲ請求シタルトキハ直ニ之ニ應スヘシ

第三章 命 免

第十一條 消防手ハ警察署長分署長ニ於テ消防組設置區域内ニ在住スル者ヨリ之ヲ採用

ス

第十二條 組頭及小頭ハ警部長之ヲ命免ス

第十三條 警察署長分署長ハ小頭以下ニ豫メ受持事務ノ分擔ヲ命スルコトヲ得

第十四條 消防組員左ノ各項ニ該當スルモノハ其職ヲ免ス

- 一 消防組設置區域外ニ轉居シタルトキ
- 二 旅行三ヶ月以上ニ涉リ尙歸宅ノ模様ナキトキ
- 三 病氣三ヶ月以上ニ涉リ尙職ニ就ク能ハサル模様アルトキ

第十五條 消防組員其職ヲ辭セントスルトキハ事由ヲ具シ消防手ハ小頭及組頭ヲ經テ警察署長分署長ニ小頭ハ組頭及警察署長分署長組頭ハ警察署長分署長ヲ經テ警部長ニ願出ヘシ

第四章 信號及信號擔當者

第十六條 火防ヲ主トシテ設置シタル消防組ハ其區域内ニ一ヶ所以上ノ火見稽子及半鐘ヲ設備シ消防手中ヨリ擔當ヲ選任シ信號ヲ報セシムヘシ其信號左ノ如シ

一 遠火信號

〇一〇 〇一〇

消防組設置區域外ノ出火アルトキハ此信號五回ヲ報ス

〇〇一〇 〇〇一〇







第三十條 消防組ハ災害警防ニ従事スルニ當リ互ニ其持場ヲ争フヘカラス

第三十一條 警察官ニ於テ消防組員ノ受持事務又ハ受持場所ヲ特定シタルトキハ各自其本分ヲ盡シ濫リニ指定ノ本務ヲ離レ又ハ持場ヲ去ルヘカラス

第三十二條 災害ノ警防ニ従事スルトキハ特ニ人命ヲ救援シ財物ヲ保護スルコトニ注意スヘシ

第三十三條 災害警防ニ出場シタル消防組員ハ警察官ノ許可ナクシテ退場スヘカラス

但警察官臨場ナキトキ組頭ニ於テ退場ヲ命シタル場合ハ此限ニアラス

第三十四條 退場スルトキハ組頭ニ於テ人員及器具ノ點檢ヲ爲スヘシ

第三十五條 消防器具ヲ使用シタルトキハ速ニ掃除又ハ手入ヲ爲スヘシ

第七章 巡檢及演習

第三十六條 消防組ノ巡檢ハ左ノ項目ニ付キ監査スルモノトス

- 一 規律ノ整否
- 二 服裝ノ整否
- 三 記録消防器具及備置場ノ整否
- 四 信號所及信號器ノ整否
- 五 其他必要ト思料シタル事項

第三十七條 警察署長分署長ハ毎年一回以上消防組員ヲ集合シテ實務ノ演習ヲ爲サシム

第三十八條 演習ノ方法ハ左ノ各項ニ依ル

- 一 隊列運動
- 二 火防器具ノ裝置運轉使用等ノ方法
- 三 水防用諸色取扱ノ方法
- 四 堤防急破防禦ノ方法
- 五 其他必要ト思料シタル事項

第三十九條 警察署長分署長ハ水火災ノ實況ニ擬シ之カ警防ノ演習ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第四十條 巡檢又ハ演習ニ際シ假ニ信號ヲ報スルノ必要アルトキハ豫メ近傍人民ニ告知スヘシ

第八章 消防器具及備置場

第四十一條 消防器具ハ一定ノ備置場ヲ設ケ之ヲ保管スルヲ要ス其構造ハ警察署長分署長ニ於テ警部長ノ指揮ヲ受ケ之ヲ定ム

第四十二條 消防組(部ニアリテハ部)ニハ左ノ器具ヲ設備スルヲ要ス其員數ハ警察署長分署長ニ於テ警部長ノ指揮ヲ受ケ之ヲ定ム種類ヲ増減變更スルトキ亦同シ  
同種ノ器具ハ水防組ニ兼用スルコトヲ得  
旗高張提灯及提灯ノ様式ハ別紙定ムル所ニ依ル



明治二十七年八月 縣令

一 火防用器具

繩

旗

高張提灯

提灯

梯子

鴛口

唧筒又ハ雲龍水

水籠

斧

鋸

掛矢

雁又

釣繩

玄蕃桶

消札

一 水防用器具

一四三三

旗

高張提灯

提灯

掛矢

鉞

斧

鋸

鐵錘

鴛口

鎌

鉈

鋤

鋤

土箕

荷棒

春

明治二十七年八月 縣令

一四三三



第四十三條 水防ヲ主トシテ設置シタル消防組ハ前條ニ規定シタル器具ノ外左ノ諸品ヲ設備スルヲ要ス

杭

明俵

繩

越

松明

割木

油樽

砂利

第四十四條 消防組員ノ服裝ハ頭巾半纏股引トス其樣式ハ別紙定ムル所ニ依ル但シ組頭及小頭ハ洋服ヲ用フルコトヲ得ルモ官ノ服飾徽章ニ紛ハシキ容裝ヲ爲スヘカラス  
第四十五條 水災警防ニ從事スルトキハ被服(裝ヲ着シタルトキハ裝)ノ肩部ニ肩印ヲ付着スヘシ其樣式ハ別紙定ムル所ニ依ル  
(廿九年縣令二十四號 改正ノ又)

第四十六條 消防器具及被服ハ組頭(部ニアリテハ小頭)ニ於テ管理スヘシト雖トモ竈口提灯被服肩印ノ類ハ組員各自ニ渡シ置ヘシ

第四十七條 消防器具及被服ハ私ニ使用スヘカラス但被服ニシテ保存期限ヲ經過シタルモノハ此限ニアラス

第四十八條 故ナク消防器具及被服ヲ毀損シタルモノアルトキハ之ヲ賠償セシム

第九章 給與

第四十九條 火防ヲ主トシテ設置シタル消防組員ニハ第四十四條ニ規定シタル被服ヲ支給ス但組頭及小頭ニシテ洋服ヲ用フルトキハ自辨トス  
(廿九年縣令二十 四號改正ノ文)  
第五十條 消防組員ニ年手當並出場手當ヲ支給スルトキハ左ノ範圍内ニ於テ之ヲ支給ス支給ヲ要スルトキハ警察署長分署長ニ於テ警部長ノ指揮ヲ受テ其額ヲ定ム

一年手當

組頭 金五圓以內

小頭 金三圓以內

消防手 金壹圓五拾錢以內

一出場手當



組頭 晝金貳拾五錢以內

夜金貳拾五錢以內

小頭 同上

同上

消防手 同上

同上

第五十一條 消防組員災害警防ニ從事スルニ際シ臨時必要ト認ムルトキハ焚出ヲ給ス

但一人ニ付一回五錢以內トス

第五十二條 職務上傷痍ヲ受ケタルモノニハ左ノ區別ニ依リ手當ヲ支給ス

警察署長分署長ハ警部長ノ指揮ヲ受ケ規定ノ範圍内ニ於テ其額ヲ定ム

一等傷終身不具トナリ自用ヲ辨スル能ハサル者

扶助料 (金五拾圓以內)

療治料 (藥價施術料ノ實費)

二等傷終身不具トナルモ自用ヲ辨シ得ル者

扶助料 (金三拾圓以內)

療治料 (藥價施術料ノ實費)

三等傷終身不具トナラサルモ一時自用ヲ辨シ得サル者

扶助料 (金五圓以內)

療治料 (藥價施術料ノ實費)

第五十三條 職務上死ニ至リタルモノニハ左ノ祭祀料及遺族扶助料ヲ支給ス

警察署長分署長ハ警部長ノ指揮ヲ受ケ規定ノ範圍内ニ於テ其額ヲ定ム  
遺族ナキモノハ祭祀料ヲ親族ニ支給ス

一 祭祀料 (金拾五圓以內)

一 遺族扶助料 (金五拾圓以內)

第五十四條 職務上ノ傷痍ニ原因シ死亡シタルモノニハ祭祀料遺族扶助料ノ外療治料ト

シテ藥價施術ノ實費ヲ支給ス

第五十五條 災害警防ノ際危險ヲ冒シ拔群ノ働ヲ爲シタルモノニハ五圓以內ノ賞金ヲ與

警察署長分署長ハ功勞ニ應シ規定ノ範圍内ニ於テ其額ヲ定ム

第十章 懲戒

第五十六條 消防組員左ノ各項ノ一ニ該當スルモノニハ之ヲ懲戒ス

- 一 指揮者ノ命令ニ從ハサル者
- 二 粗暴又ハ怠慢ノ行爲アル者
- 三 災害警防ニ際シ爭論喧嘩ノ所爲アル者
- 四 他人ニ對シ強迫カマシキ所爲アル者及故ナク他人ノ財産ニ損害ヲ加ヘタル者
- 五 金品ヲ募集シ又ハ他人ノ贈遺ヲ受ケ若クハ手當酒食等ノ供給ヲ請求シタル者
- 六 故ナク消防器具及被服ヲ使用破損又ハ遺棄シタル者



- 七 檀ニ集合運動シタル者
- 八 濫リニ指定ノ本務若クハ持場ヲ離レタル者
- 九 正當ノ理由ナクシテ信號ニ應セサル者
- 十 人命ノ危急ヲ見テ應援セサル者

第五十七條 停給ハ年手當ヲ月割トシテ之ヲ扣除ス  
 第五十八條 組頭小頭ハ警部長消防手ハ警察署長分署長之ヲ懲戒ス

附 則

第五十九條 從來設置シアル消防組員被服ノ徽章ニシテ別紙様式ニ違フモノハ其保存期限内ニ着用スルコトヲ得  
 第六十條 消防組ハ銅鑲ヲ用フヘカラス (廿九年縣令二十) (四號改正ノ文)  
 補服様式中追加  
 組頭及小頭ニシテ洋服ヲ用フル片ハ其兩腕ニ半纏肩印ト同様ノ徽章ヲ附スヘシ (廿九年縣令二十) (四號ヲ以追加)

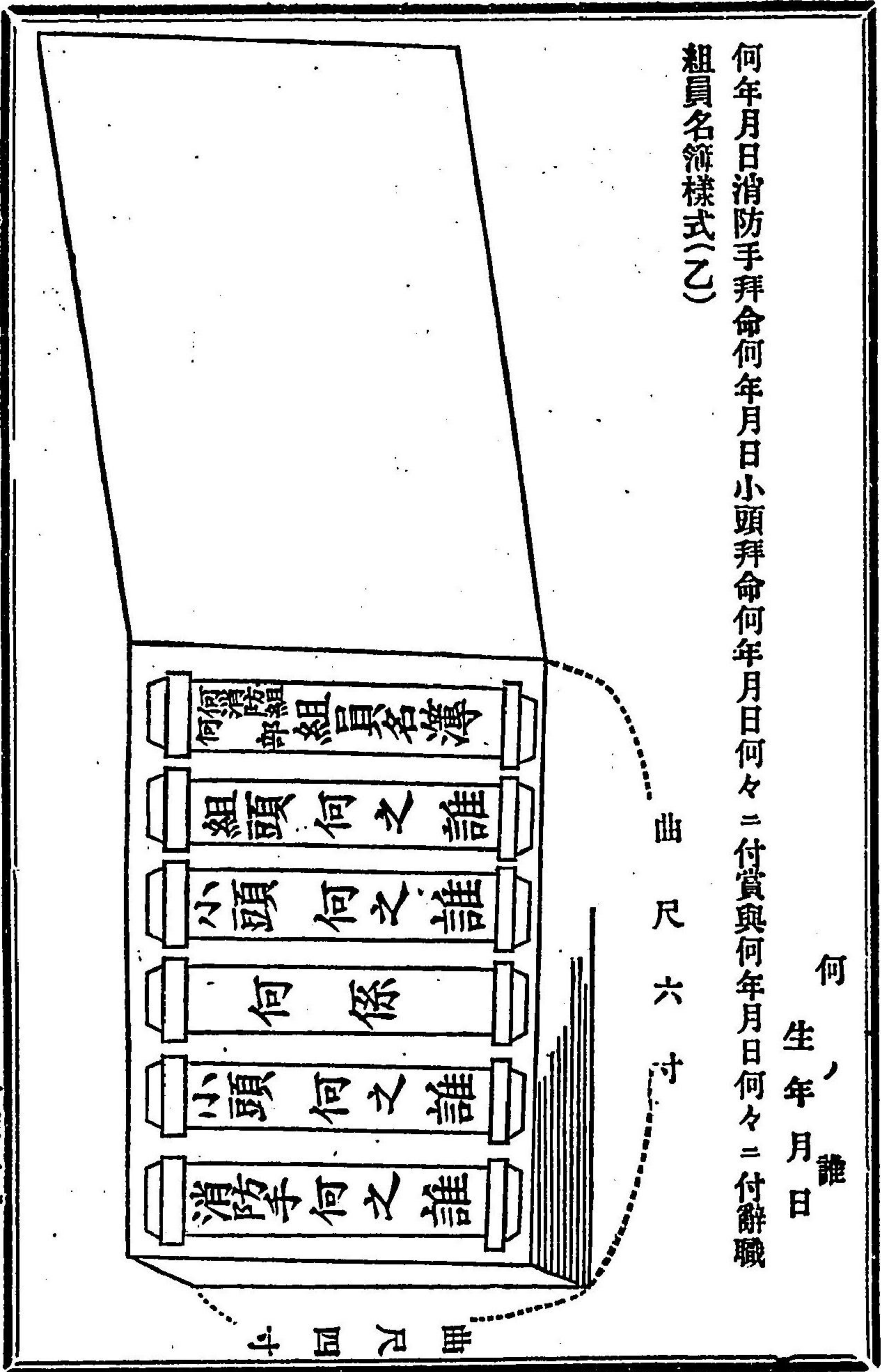
(別紙)

組員名簿様式(甲)(用紙野半紙一頁ニ一名ヲ限リ記載ス)

何國何郡何市町村番戶

身分職業

何 生 年 月 日 誰  
 何年月日消防手拜命何年月日小頭拜命何年月日何々ニ付賞與何年月日何々ニ付辭職  
 組員名簿様式(乙)





消防器具目錄樣式 (用紙對半紙)  
消防器具目錄

名	稱	員	數	保存所	新調修繕月日
何々	何々	何	箇	備置場	年月日新調年月日修繕
何々	何	何	枚	各自ニ存テ	

消防記錄樣式 (用紙對半紙)

出火 出火アリテ出場警防ニ從事シタルトキハ其年月日時及鎮火日時火災ノ概況ヲ記載ス (出水ノ際ニ於ケル警防モ亦之ニ做ヒ記載ス)

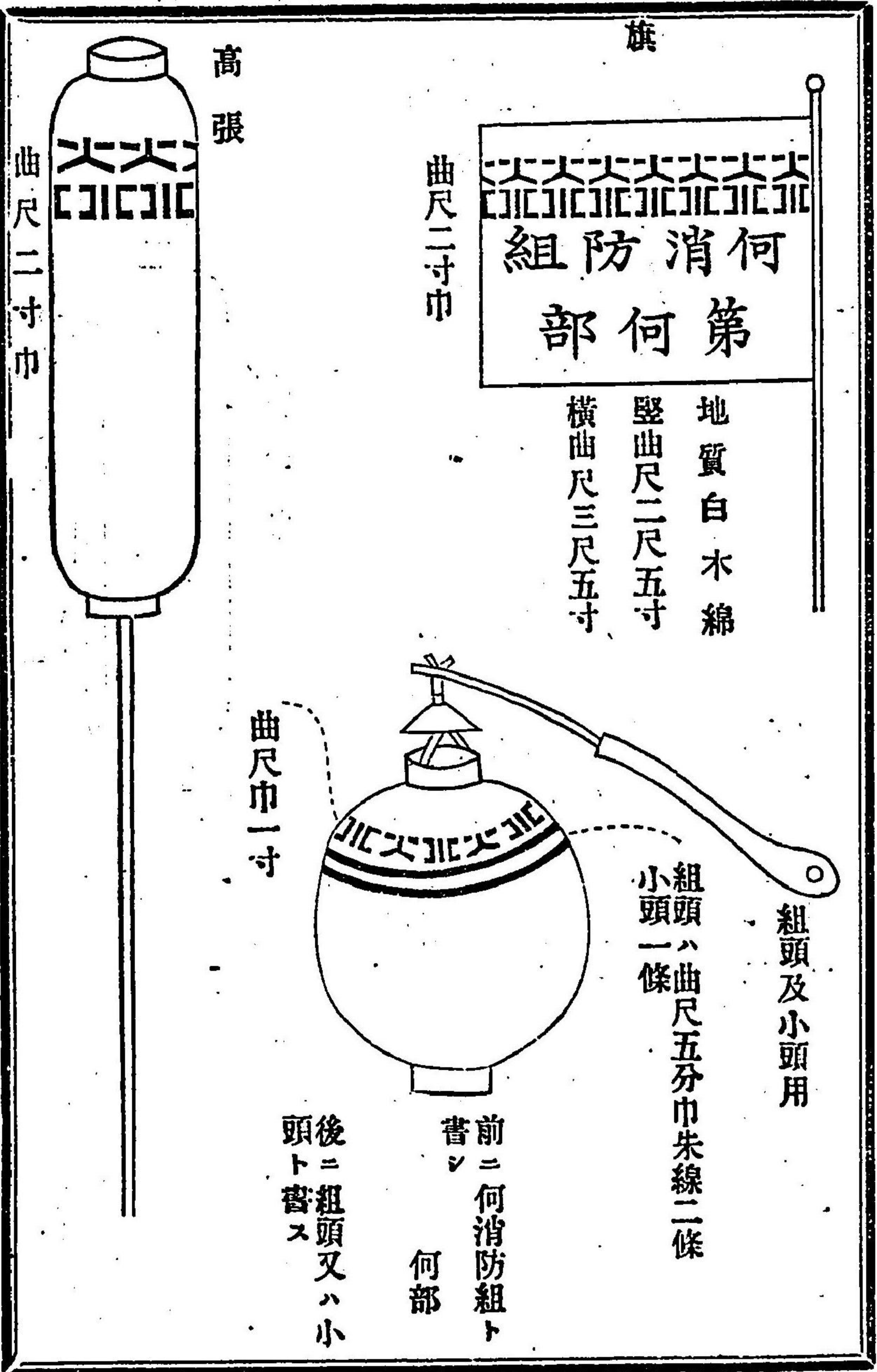
負傷 災害警防ニ際シ負傷シタルモノアルトキ其氏名負傷ノ實況ヲ詳記ス

不參 災害警防其他出場ヲ命セラレタルトキ不參ノ者アルトキ其氏名ヲ記ス

賞與 組員賞與ヲ受ケタルトキ其事實及賞與額

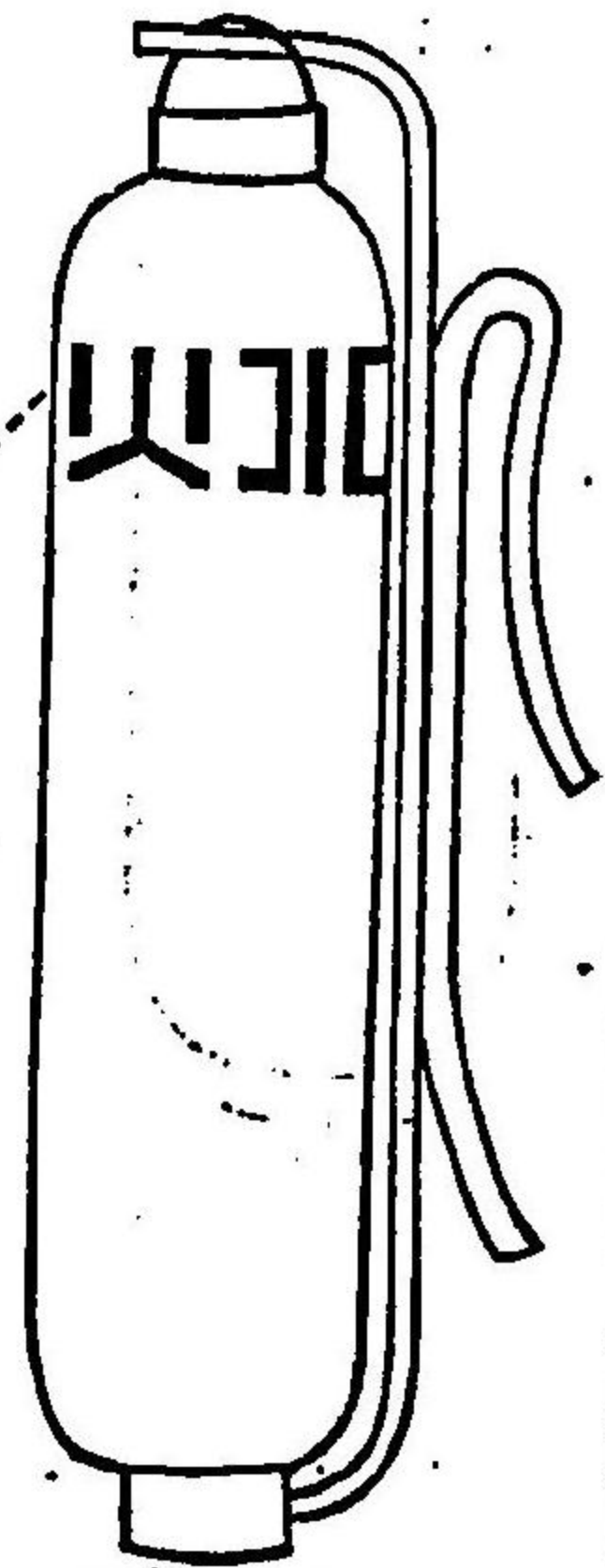
懲戒 組員ノ懲戒ヲ明記ス

右ハ單ニ其一例ヲ舉タルニ過キス





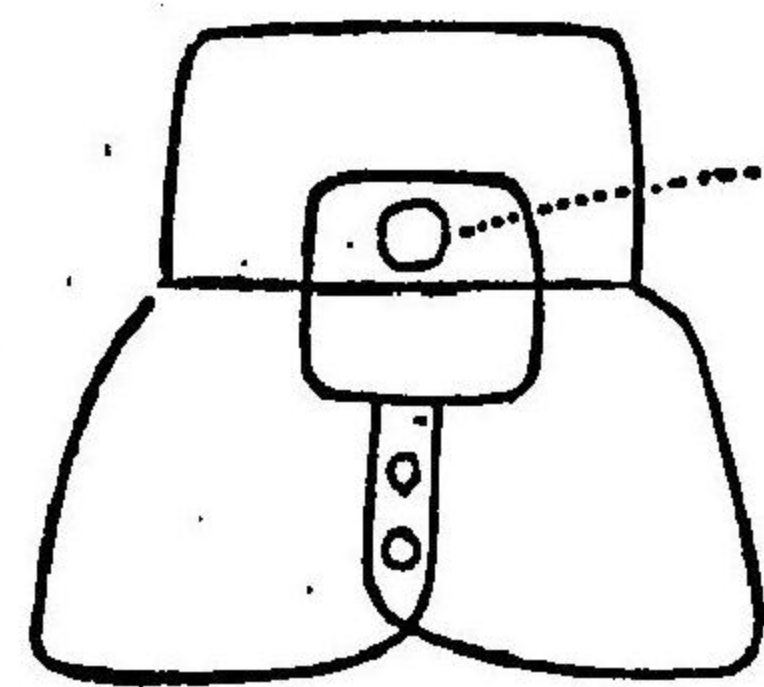
消防手用



曲尺一寸巾

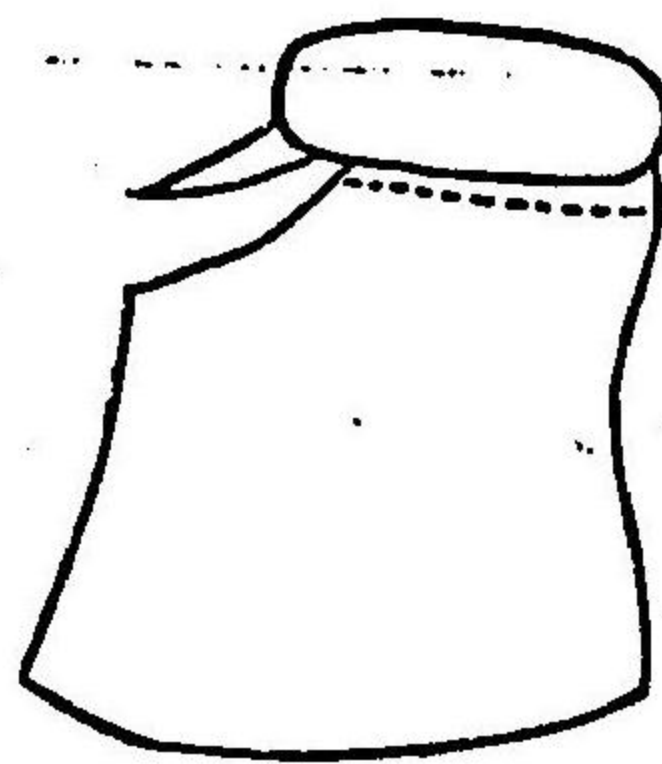
前ニ何消防  
組ト書  
何部  
後ニ消防手  
ト書ス

面前

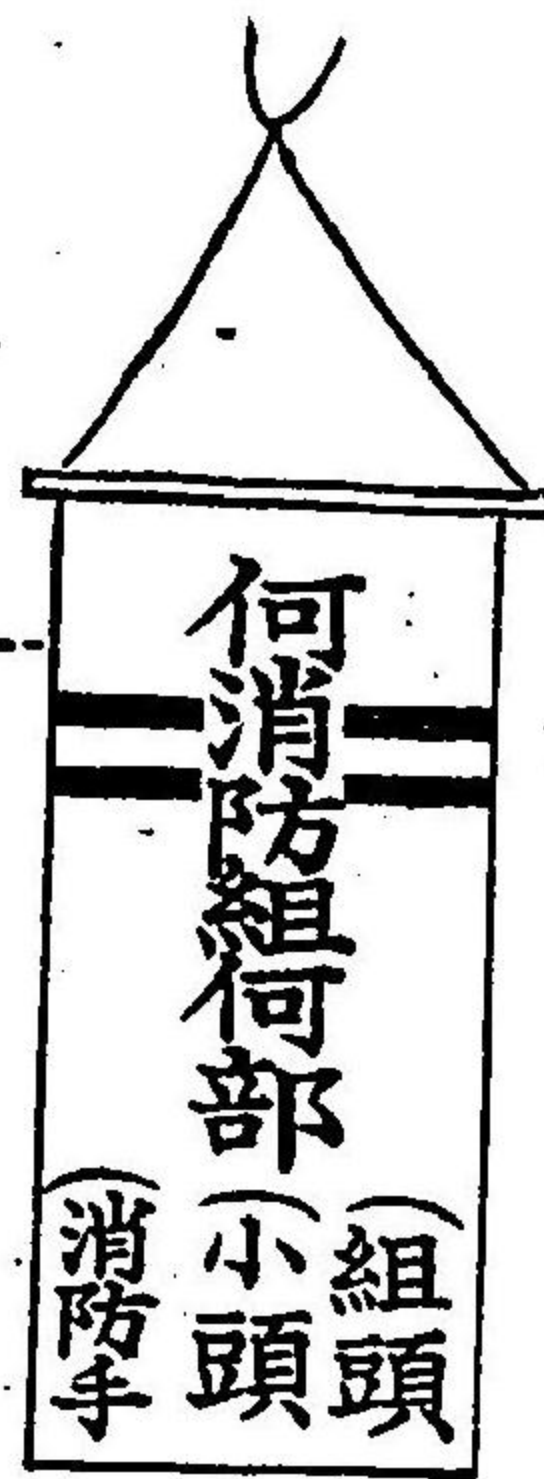


頭巾  
組名ノ頭字ヲ白字ニ  
テ染込ムモノトス

側面



水防用肩印地質白木綿



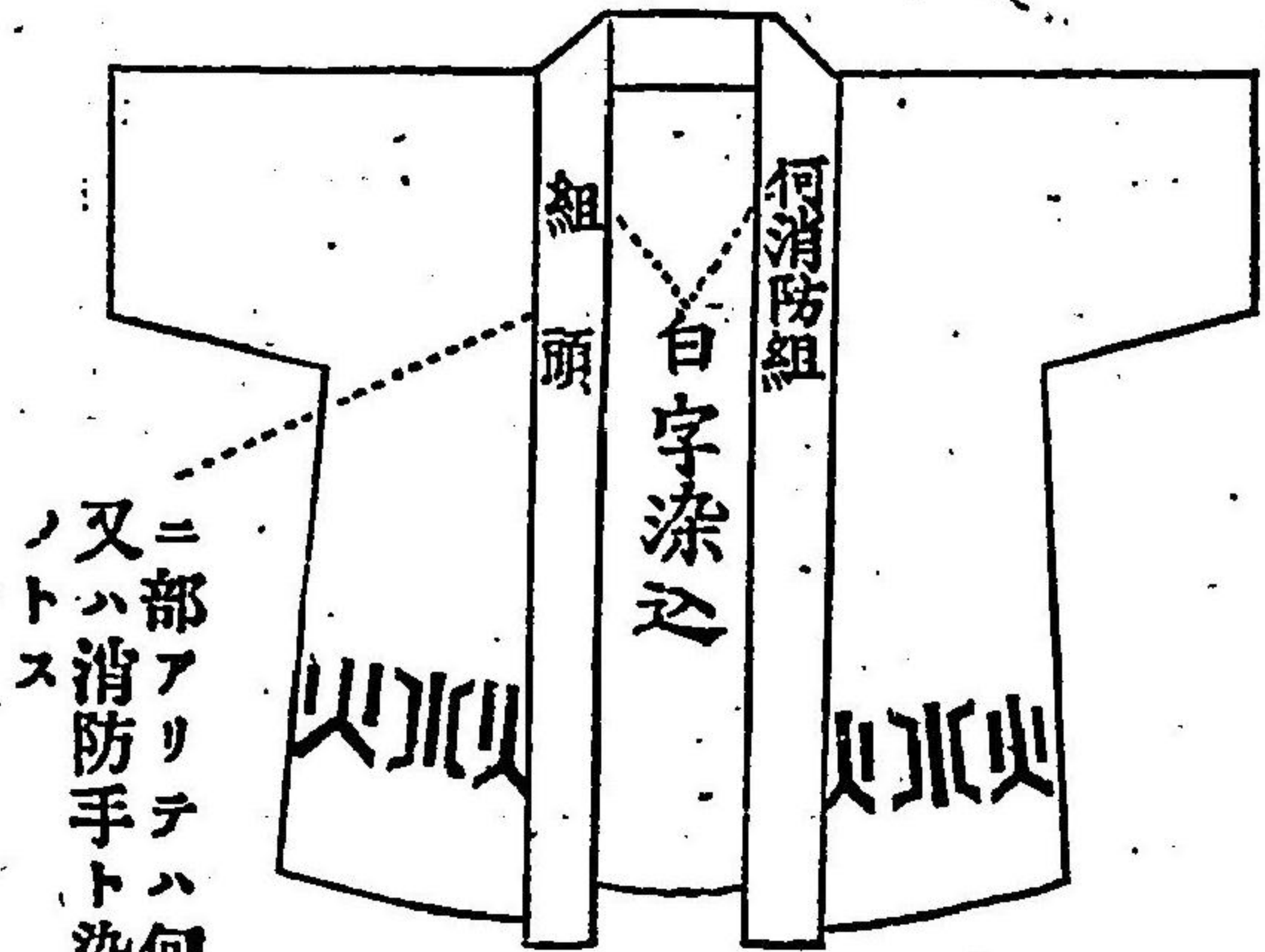
同 曲尺一寸巾朱線二條  
朱線ナレ

同 曲尺 壘五寸  
横三寸

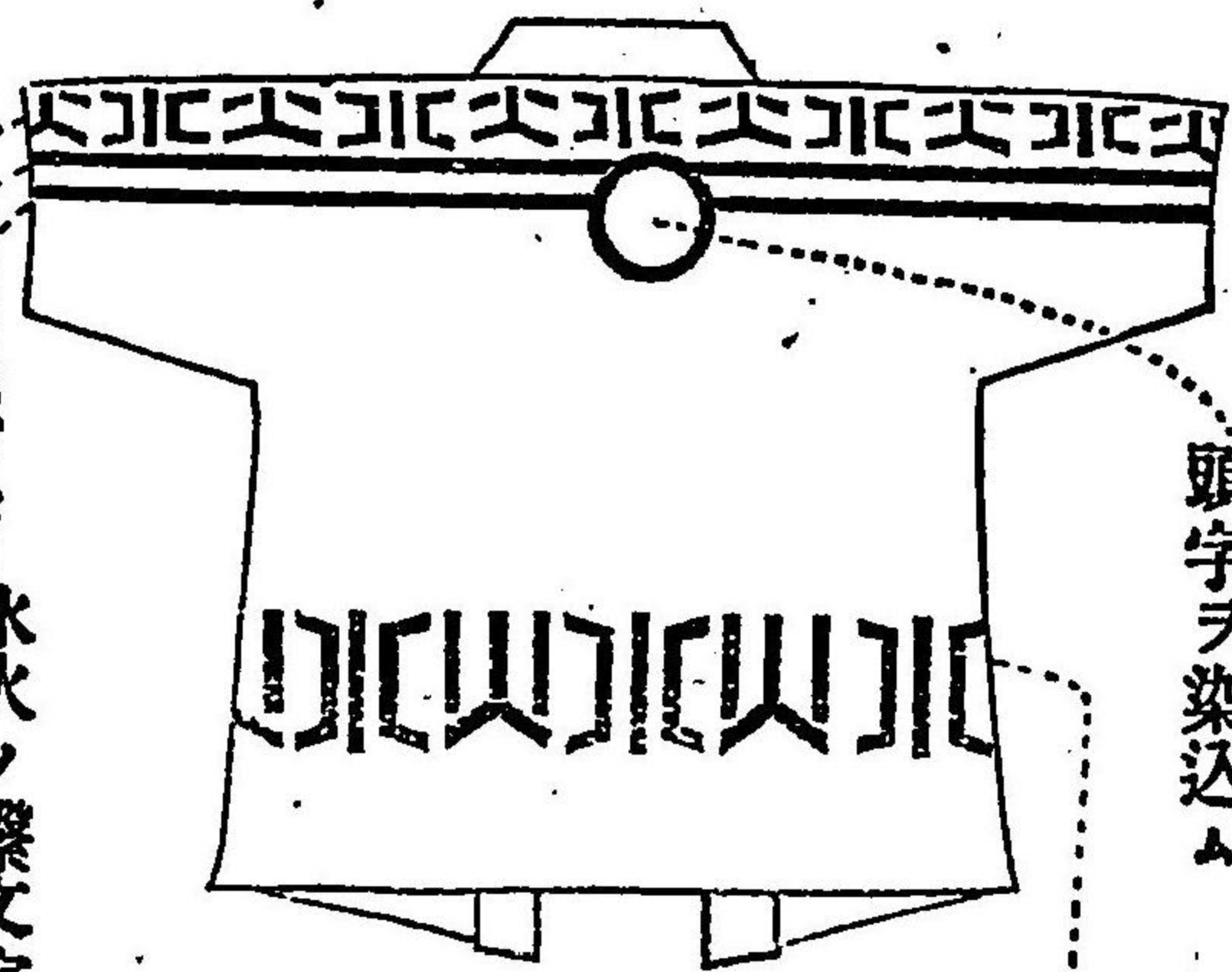
組頭  
小頭  
消防手

服 被

頭巾紺雲齋織刺子裏淺黃木綿  
半纏紺木綿單衣  
股引同上(様式ヲ畧ス)



ニ部アリテハ何部小頭  
又ハ消防手ト染込ムモ  
トス



直經曲尺九寸白字ニテ組名ノ  
頭字ヲ染込ム

鼠色染込  
曲尺巾一  
尺五寸

組頭 水ノ繫文字巾曲尺二寸  
朱線二條巾曲尺一寸  
火ノ繫文字巾曲尺二寸  
小頭 朱線一條巾曲尺一寸  
消防手 水ノ繫文字巾曲尺二寸



○縣令第四十號 二十七年九月廿四日

明治廿三年本縣令第五十號酒造營業人心得書中更正ス(改訂)

○縣令第四十一號 二十七年十月二十四日

明治二十五年(十二月)本縣令第七十號學齡兒童就學及家庭教育等ニ關スル規則中改正ス(改訂)

○縣令第四十二號 二十七年十二月十二日

明治二十一年(七月)岐阜縣令第六十四號山野火入取締規則左ノ通改正ス

山野火入取締規則

第一條

山地又ハ原野ニ火入ヲ爲サントスルモノハ其火入期日ヨリ三周日以前左ノ各項ヲ具シ所轄警察官署ヘ願出認可ヲ受クヘシ

一 火入期日

二 箇所限地目反別及字番號

三 四至境界ヲ見ルヘキ實地畧圖

但木曾川流域ニ係ル山地ニ火入ヲ爲サントスルモノハ其火入期日ヨリ六ヶ月以前左表ヲ添付シ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

山地火入願箇所表

郡市町村大字名

番字	地目	反別	火入反別	火入期日	願人住所氏名
	草山	丁	丁	自何月何日 至何月何日	
	山林				
	燒畑				

年限ヲ定メ出願スルモノハ表末ニ其期間ヲ附記スヘシ  
木曾川流域左ノ如シ  
美濃國

厚見郡	各務郡	方縣郡	羽栗郡	中島郡	海西郡
不破郡	上石津郡	下石津郡	安八郡	多藝郡	池田郡
席田郡	大野郡	本巢郡	山縣郡	加茂郡	武儀郡
郡上郡					
土岐郡ノ内	餘戶村	日吉村			
可兒郡ノ内	伏見村	今渡村	土田村	帷子村	春里村
	姫治村	久々利村	平牧村	廣見村	中村



惠那郡ノ内	大井町	長島村	東野村	藤村	竹折村
根本	岩村町	富田村	阿木村	飯沼村	落合村
	中津川町	手賀野村	駒場村	千旦林村	茄子川村
	苗木町	飯羽間村	坂下村	下野村	福岡村
	蛭川村	毛呂窪村	姫栗村	中ノ方村	付知村
	加子母村	三郷村ノ内野井			

飛騨國

益田郡

大野郡ノ内 山ノ口村 河内村 久々野村

清見村ノ内 大原 樽谷

第二條 毎年同一ノ箇所ニ火入ヲ爲サントスルモノ其年限及期節ヲ明記シ前條ニ依リ認可ヲ受クルトキハ次年ヨリ認可年限間願出ヲ要セス火入期日ヨリ一週日以前所轄警察官署又ハ受持巡查駐在所ニ届出ツヘシ

第三條 第一條ノ認可ヲ受テ又ハ第二條ノ届出ヲ爲シタルモノハ隣地所有者(御料地ナ

ルトキハ御料局支廳若クハ同出張所又ハ分擔區官舎官林ナルトキハ大小林区署若クハ大林區署派出所又ハ保護區官舎)へ一週日以前其旨ヲ報告スヘシ

第四條 火入ヲ爲スニ當リテハ其火入地ノ森林原野ニ接シタル境界ニ防火線ヲ設クヘシ但道路川流谿谷等ヲ以テ境界シタル地ニシテ延燒ノ虞ナキ地ニアリテハ此限ニアラズ

防火線ハ幅三間以上トシ柴草ヲ刈取リ落葉並ニ塵芥ヲ除去リ或ハ土堤又ハ堀溝等ノ設ヲ爲スヘシ

第五條 日出前日没後及風勢穏ナラサルトキハ火入ヲ爲スヘカラス  
火入後ト雖トモ風勢穏ナラサルトキハ直ニ消止ムヘシ

第六條 火入中ハ番人ヲ出シ火氣全ク消滅スルニ至ルマテ退場セシムヘカラス

第七條 火入認可ヲ受テタルモノト雖モ警察官吏及郡市役所町村役場御料局及同支廳並ニ出張所大小林区署大林區署派出所等ノ吏員ニ於テ防火ノ準備不充分ト認メタルトキ又ハ風勢ノ變動等ニ依リ他へ延燒ノ虞アリト思量スルトキハ直ニ之ヲ中止セシムルコトアルヘシ

第八條 第一條ノ認可ヲ受テス第二條ノ届出ヲ爲サヌ又ハ第三條ノ報告ヲ爲サヌ或ハ第四條ノ防火線ヲ設ケヌレテ火入ヲ爲シタルモノ及第七條ノ中止ヲ肯ソセサルモノハ一日ノ拘留又ハ五錢以上壹圓以下ノ料料ニ處ス



○縣令第四十三號 二十七年十二月十二日  
 明治二十七年十一月告示第百二十號ヲ以テ定メタル二十七年度地方稅增加戶數割郡部ノ  
 分來ル二十八一年一月三十一日限徵收ス  
 ○縣令第四十四號 二十七年十二月二十六日  
 明治二十一年(八月)本縣令第七十三號醬油製造營業者心得書中更正追加ス(改訂)  
 ○縣令第四十五號 二十七年十二月二十六日  
 明治二十三年(五月)本縣令第三十六號地租ニ關スル諸願屆書式及其差出期限表中加除更  
 正ス(改訂)

○明治廿八年岐阜縣令之部

○縣令第一號 二十八年一月十四日  
 明治二十年七月岐阜縣令第五十七號運輸營業取締規則廢止ス(改訂)  
 ○縣令第二號 二十八年一月二十三日  
 明治二十六年二月岐阜縣令第十號人力車營業取締規則左ノ通改正ス  
 人力車營業取締規則  
 第一章 通則  
 第一條 人力車營業トハ自ラ人力車ヲ輓キ又輓子ヲシテ輓カシムルヲ云フ

營業者自ラ車ヲ輓クトキハ總テ輓子ノ例ニ據ル

第二條 營業ヲ爲サントスルモノハ族籍住所氏名年齢ヲ詳記シ所轄警察官署ニ届出認可ヲ受クヘシ

自ラ車ヲ輓キ若クハ輓子ヲシテ輓カシメントスルトキハ前項ニ據リ届出各鑑札ヲ受クヘシ

第三條 車体屬具服裝携帶品及ヒ鑑札ハ毎年四月十月ノ兩度所轄警察官署ノ檢査ヲ受クヘシ(廿九年縣令二十

一號改正ノ文)

新造改造又ハ讓受ヲ爲シタルトキハ其都度前項ニ據リ檢査ヲ受クヘシ  
本條ノ檢査ヲ受ケタルトキハ檢査證ニ其證印ヲ受クヘシ

第四條 警察官署ニ於テ必要アリト認ムルトキハ臨時前條ノ檢査ヲナスコトアルヘシ

第五條 檢査ヲ受ケタル車体ト雖モ破損若クハ不潔ニ至リタルトキハ其使用ヲ停止スルコトアルヘシ

第六條 轉居改氏名又ハ鑑札及檢査證ヲ遺失毀損シ若クハ文字不明ニ至リタルトキハ所轄警察官署ニ書換又ハ取渡ヲ請フヘシ

但所轄ヲ異ニスル地ニ轉居シタルトキハ其警察官署ニ書換ヲ請ヒ前住地警察官署ニ届出ヘシ

第七條 營業者又ハ輓子ニシテ廢業失踪逃亡シタルトキハ鑑札若クハ檢査證ヲ返納スヘシ



第八條 検査證及賃錢表ハ車ノ蹴込正面ニ釘付ヘシ

第九條 營業者ハ營業上便宜ノ爲メ總代人ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其族籍住所氏名ヲ所轄警察官署ニ届出ヘシ

第二章 車体ノ構造及屬具

第十條 車体ハ堅牢清潔ニシテ其構造及屬具左ノ制限ニ從フヘシ

一 一人乗ハ横巾内法二尺未滿二人乗ハ二尺以上トス

二 車体ハ黒漆塗中張ハ葦、天鵝絨、羅紗等他物ヲ汚損セサルモノヲ用ユヘシ

三 車体ニハ泥除ヲ設クヘシ

四 コム引又ハ桐油製ノ母衣、前掛及清潔ナル布團膝掛ヲ備フヘシ

五 車体ノ背面左下部ニ方一寸ノ楷字ヲ以テ所轄警察官署所在地ノ地名及番號ヲ判明ニ朱記スヘシ

第三章 輓子ノ資格及服裝携帶品

第十一條 輓子ハ年齢滿十六年以上ニシテ身体強壯ナル者ニ限ル

第十二條 輓子ノ服裝ハ左ノ制限ニ從フヘシ

一 被服ハ清潔ナル法被筒袖股引

二 冠物ハ帽子、饅頭笠、菅笠

三 雨具ハ桐油製コム引製羅紗製

四 雨具又ハ法被筒袖ノ襟ニハ右ニ所轄警察官署所在地ノ地名左ニ輓子鑑札番號ヲ縫付若クハ染込ムヘシ

第十三條 輓子就業中ハ前條ノ地名番號ヲ記シタル細長提燈ヲ携帶スヘシ

第四章 輓子就業制限

第十四條 輓子就業中ハ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一 鑑札ヲ携帶スヘシ

二 乗客ノ承諾ヲ得スシテ途中他車ニ乗セ替ヘ濫リニ駐車スヘカラス

三 乗客ノ指揮セサル場所ニ輓入ルヘカラス

四 駐車場ノ外濫リニ人力車ヲ置クヘカラス  
但乗客用便ノ爲メ通行妨害トナラサル場所ニ駐車スルハ妨ナシ

五 同業者ノ稼業ニ故障スヘカラス

六 行人ニ對シテ強テ乗車ヲ勸メ若シクハ侮慢ノ言行ヲナスヘカラス

七 制止ヲ肯ONSEシテ通行ノ妨害トナルヘキ場所ニ於テ客ヲ昇降セシムヘカラス

八 乗客降車ノ際ハ遺留品ナキ様注意スヘシ

九 頬冠リ鉢巻其他不体裁ノ形裝ヲナスヘカラス

十 路上ニ彷徨シ又ハ停立スル等通行ノ妨害ヲナスヘカラス



十一 傳染病者ヲ乘載シタルトキハ警察官吏ニ届出消毒法ヲ行フニアラサレハ其車体ヲ使用スヘカラス

第五章 賃錢及乘載制限

第十五條 賃錢ハ左ノ範圍内ニ於テ一定ノ額ヲ定メ所轄警察官署ノ認可ヲ受クヘシ

一 一里ニ付金六錢以下

二 強雨雪夜間又ハ道路險惡泥濘等其一ニ當ル場合ハ三割以下ヲ増スコトヲ得ルモ數個ノ事故ヲ加ヘテ五割以上ヲ増スコトヲ得ス

三 割増ヲ請求セントスルトキハ豫メ乗客ノ承諾ヲ受クヘシ

四 雇切リハ一日金五拾錢以下トス

五 待合ハ晝夜ニ拘ハラズ一時間金四錢以下トス

六 渡船賃橋賃ハ別ニ之ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ハラズ賃錢定額外又ハ約束外ノ金錢ヲ請求スルヘカラス

第十七條 一人乗ニ二人二人乗ニ三人以上ヲ乘載スヘカラス  
但十年未滿ハ定員外トス

第六章 駐車場

第十八條 駐車場ヲ分テ左ノ二種トス

一 公設駐車場

一般營業人ノ駐車スル處トス

一 私設駐車場

一人又ハ數人共同設立シテ其專用ニ屬スル處トス

第十九條 公設車駐場ハ所轄警察官署ニ於テ撰定標示ス

私設駐車場ヲ設ケントスルモノハ所轄警察官署ニ届出認可ヲ受クヘシ

第二十條 私設駐車場ニハ(私設人力車駐車場)ト記シタル標識ヲ設クヘシ

第二十一條 賃錢表ハ駐車場賭易キ場所ニ掲示スヘシ

第二十二條 正當ノ事由ナクシテ出車ヲ拒ムヘカラス

第二十三條 駐車場ハ常に清潔ニスヘシ

第七章 罰則

第二十四條 第二條ノ認可及鑑札ヲ受スシテ營業シタルモノ正當ノ事由ナクシテ第三條ノ檢査ヲ受ケサルモノ第五條ノ停止シタル車体ヲ使用シ營業シタルモノ及第六條第八條第十二條第十三條第十四條第一第二第三第四第五第六第七第十項第十六條第十七條ニ違背シタルモノ第十九條第二項ノ認可ヲ受ケスシテ駐車場ヲ設ケタルモノ及第十二條ニ違背シタルモノハ一日以上十日以下ノ拘留又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス



第八章 附則

第二十五條 本則ハ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス

從來ノ營業者ハ本則ノ規定ニ從ヒ繼續營業スルコトヲ得

○縣令第三號 二十八年二月四日

屑物(紙屑綿屑硝子屑濫糲ノ類)賣買交換ヲ目的トシ行商セントスルモノハ其屬籍身分氏名年齡ヲ所轄警察官署ニ届出ヘン住所氏名ニ異動ヲ生シタルトキ亦同シ屑物行商者ハ商品容器トシテ内部ヲ見透シ得ヘキ荒目籠ヲ携帶シ其前面ニ左ノ木札ヲ掲クヘン

六寸

第 號	第 號
屑 物 商	住 所
年 月 日 烙 印	氏 名 年 齡

木札ハ所轄警察官署ノ烙印ヲ受クヘン其廢業シタルトキハ烙印ノ削除ヲ乞フヘン第二項ノ届出ヲ爲サスニテ屑物行商ヲ爲シ及其住所氏名ノ異動廢業ノ届出ヲ爲サハルモ

ノ並ニ第二項第三項ニ違背シタルモノハ一日以上三日以下ノ拘留又ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

○縣令第四號 二十八年二月六日

明治二十六年岐阜縣令第五十七號娼妓貸座敷取締規則第十一條第二十條改正ス(改訂)

○縣令第五號 二十八年三月二日

本縣尋常中學校豫科ハ本學年限リ之ヲ廢止ス

○縣令第六號 二十八年三月二日

本縣尋常中學校規則第三章第七條及第四章第十六條改正(改訂)

○縣令第七號 二十八年三月十三日

本年四月ヨリ岐阜縣公報ヲ發行シ明治廿六年(十一月)岐阜縣令第七十二號第一條縣令告示諭達ハ該公報ニ登載シ之ヲ配付ス

○縣令第八號 二十八年三月十六日

明治廿六年岐阜縣令第五十四號小學校教員講習科規則第五條改正ス(改訂)

○縣令第九號 二十八年三月十八日

貸座敷及娼妓賦金規則第一條左之通改正シ本年四月一日ヨリ施行ス(改訂)

○縣令第十號 二十八年三月十八日

地方稅ニ屬スル堤塘使用料收納ノ順序ハ明治二十四年(七月)岐阜縣令第四十三號備荒儲



蓄地利貸與返納金收納規則ニ準據スヘシ

○縣令第十一號 二十八年三月十八日

縣稅徵收法細則縣會ノ議決ヲ經テ別冊ノ通改正ス

縣稅徵收法細則

- 第一條 縣稅ノ徵收ハ市ニ係ルモノハ市長、町村ニ係ルモノハ郡長之ヲ命令スヘシ
- 第二條 郡長ヨリ町村ニ對シ發スル徵稅令書ハ第一號様式ニ各納稅人ニ對シ發スル徵稅令書ハ第二號様式ニ依ルヘシ
- 市長ヨリ各納稅人ニ對シ發スル徵稅令書ハ第三號様式ニ依ルヘシ
- 第三條 徵稅令書ハ納期アルモノハ特別ノ事由アルモノ、外該納期ノ十五日以前、隨時納期ヲ定ムルモノハ其都度之ヲ發スヘシ
- 第四條 徵稅令書ハ特別ノ事由アルモノ、外徵稅令書ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ發スヘシ
- 第五條 郡長ハ徵稅令書ヲ出納吏ニ送付シ出納吏ハ徵稅簿ニ之ヲ記入シ該令書ハ直ニ町村長又ハ各納稅人ニ交付スヘシ
- 市長ハ徵稅令書ヲ直ニ各納稅人ニ交付シ徵稅簿ニ之ヲ記入スヘシ
- 第六條 郡長ハ徵稅令書發付ノ後稅金收納以前ニ於テ納額ニ減少ヲ生シタルトキハ各納稅人ニ對スルモノハ彙キノ令書ヲ更正シ町村ニ對スルモノハ通報書ヲ製シ出納吏ヲシ

テ交付セシムヘシ此場合ニ於テ出納吏ハ徵稅簿ノ金額ヲ更正スヘシ

市長ハ徵稅令書發付ノ後稅金收納以前ニ於テ納額ニ減少ヲ生シタルトキハ彙キノ令書及徵稅簿ノ金額ヲ更正スヘシ

町村長ハ徵稅傳令書發付ノ後稅金收納以前ニ於テ納額ニ減少ヲ生シタルトキハ彙キノ傳令書ヲ更正スヘシ

第七條 市町村長及各納稅人ニ於テ稅金ヲ出納吏ニ納付スルトキハ市長ハ第四號様式、町村長ハ第五號様式ノ納付書各納稅人徵稅令書ヲ添付シ縣金庫ニ拂込ミ該納付書若クハ令書ニ領收ノ證印ヲ得即時之ヲ出納吏ニ差出シ稅金ノ領收證書ヲ受ケヘシ

出納吏ハ前項ノ納付書若クハ徵稅令書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ該納付書又ハ令書ニ接續スル領收證書用紙ニ式ノ如ク年月日ヲ記入署名捺印シ之ヲ切離シテ領收證書ハ納人ニ交付シ納付書若クハ令書ハ縣廳出納吏ハ知事ニ郡役所出納吏ハ郡長ニ差出シ檢

印ヲ受ケヘシ

第八條 各納稅人ニ於テ稅金ヲ市町村ニ納付スルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ヲ添付シ市町村收入役ニ拂込ミ其ノ領收證書ヲ受ケヘシ

市町村收入役ハ徵稅令書ヲ添ヘ稅金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ該令書ニ接續スル領收證書用紙ニ式ノ如ク年月日ヲ記入署名捺印シ之ヲ切離シテ領收證書ハ納稅人ニ交付シ令書ハ市長ニ差出シ檢印ヲ受ケヘシ



町村收入役ハ徵稅傳令書ヲ添へ税金ノ拂込ヲ受ケタル片ハ之ヲ調査シ其税金ノ領收證書ヲ納稅人ニ交付シ令書ハ町村長ニ差出シ檢印ヲ受クヘシ(廿九年縣令第一號改正ノ文)

第九條 出納吏ハ現金ヲ領收シタルトキハ第六號様式ノ拂込書ヲ添へ之ヲ縣金庫ニ拂込シ其領收證書ヲ得之ヲ郡長ニ差出シ檢印ヲ受クヘシ

市長ハ現金ヲ領收シタルトキハ第七號様式ノ拂込書ヲ添へ之ヲ市收入役ニ拂込シ其領收證書ヲ受クヘシ

第十條 市ニ於テ徵收シタル税金ヲ出納吏ヘ納付スル期限ハ翌日限リトス但金高百圓ニ滿ツルマテハ其月内取束手納付スルコトヲ得

町村ニ於テ徵收シタル税金ヲ出納吏ヘ納付スル期限ハ納期限後三日以内トス

第十一條 出納吏ハ第七條ニ依リ領收證書ヲ交付シ又ハ現金ヲ領收シタルトキ市長ハ第八條ニ依リ領收證書令書ニ檢印ヲ爲シ又ハ現金ヲ領收シタルトキハ徵稅簿ニ之ヲ記入スヘシ(全上欄點分更正)

第十二條 郡長ハ既納税金ノ拂戻ヲ要スルトキハ支出金ノ例ニ依リ出納吏ヲシテ之ヲ納稅人ニ交付セシムヘシ此場合ニ於テ出納吏ハ徵稅簿ニ之ヲ朱記スヘシ但其年度ノ出納完結後ナルトキハ拂戻ヲ要スル事由ヲ記載シタル拂戻請求書ヲ製シ知事ニ差出スモノトス

市長ハ既納税金ノ拂戻ヲ要スルトキハ其事由ヲ記載シタル拂戻請求書ヲ製シ知事ニ差

出シ金員交付ヲ得テ納稅人ニ交付シ徵稅簿ニ之ヲ朱記スヘシ但出納吏ヘ納附未済ニ係ル其年度ノ税金アルトキハ本項請求ノ手續キヲ爲サス該金ノ内ヨリ直チニ拂戻ヲ爲スコトヲ得

第十三條 納期限ヲ過キ税金ヲ完納セサルモノハ報告ハ納期限後三日以内ニ差出スヘシ(廿九年縣令第一號ヲ以本項改正)

第十四條 郡長ハ滯納處分ノ未税金ノ缺損ヲ生シタルトキハ其金額及事由ヲ出納吏ニ報告スヘシ出納吏ハ該報告ニ依リ徵稅簿ニ之ヲ記入スヘシ

市長ハ滯納處分ノ未税金ノ缺損ヲ生シタルトキハ徵稅簿ニ之ヲ記入スヘシ

第十五條 市長及郡役所出納吏ハ毎月縣稅ノ調定濟額、收入濟額、及缺損額ヲ知事ニ報告スヘシ

第十六條 市長及郡役所出納吏ハ第八號様式ニ依リ徵稅簿ヲ備フヘシ

第十七條 此細則ハ明治廿八年四月一日ヨリ施行ス

第一號様式  
用紙色紙縱四寸五分  
横三寸三分

徵	第何號	明治何年度	何町(村)長氏	名納
縣	稅地租割	上半期分	納期明治何年何月何日限	



稅  
元帳  
割印

一金何〇

地租割

右納期限後三日以内ニ出納吏官氏名へ納付スヘシ

明治何年何月何日

郡役所  
ノ印

何郡長氏名

書令

備考

- 一 組合町(村)ニ對シ發スルモノハ左ノ式ニ做ヒ仕譯書ヲ添付スヘシ
- 二 地位ニ據リ賦課スル税金ハ前項ニ準シ各稅區ノ仕譯書ヲ添付スヘシ
- 三 一稅目ニシテ郡市連帶ノ分ト郡部ノ分トノ區別アルモノハ金員ノ左傍ニ其名目ヲ記入スヘシ

第二號様式

用紙色紙縦四寸五分ノモノ二枚縦四寸五分ノモノ一枚接續  
横三寸三分ノモノ二枚横二寸五分ノモノ一枚接續

徵稅令書第何號ノ仕譯

一金何程

何町(村)分

一金何程

何町(村)分

一金何程

何町(村)分

第何號	明治何年度	住所氏名納
-----	-------	-------

縣稅	營業稅	上半期分
----	-----	------

稅  
元帳  
割印

一金何程

商業稅

縣金庫主任ノ印

明治何年何月何日領收

縣金庫  
ノ印

令



明治二十八年三月 縣令

二四五二

右明治何年何月何日限出納吏官氏名へ納付スヘシ

明治何年何月何日

郡役所印

何郡長氏名

出納吏

割印

書 領 收 證 書

第何號 明治何年度

住所氏名納

縣 稅 營 業 稅

上 半 期 分

一金何程

商 業 稅

右領收候也

明治何年何月何日

出納吏官氏名

第何號	明治何年度	住所氏名納
縣 稅		何郡役所

一金何程

縣金庫主任ノ印

右明治何年何月何日領收

第三號樣式

用紙色紙縱四寸五分 横三寸三分 ノモノ二枚接續

第何號	明治何年度	住所氏名納
縣 稅	營 業 稅	上 半 期 分

徵 稅 令

元帳 割印

市長檢印 一金何程

商 業 稅

明治何年何月何日領收

收入 役收印

明治二十八年三月 縣令

一四五三



明治二十八年三月 縣令

一四五四

書

右明治何年何月何日限何市收入役氏名へ納付スヘシ

明治何年何月何日

市役所  
印

何市長氏名

收入役

割印

第何號 明治何年度

住所氏名納

縣稅 營業稅

上半期分

一金何程

商業稅

右領收候也

明治何年何月何日

何市收入役氏

名

書 證 收 領

第四號樣式

用紙色紙 縱四寸五分ノモノ二枚 縱四寸五分ノモノ一枚 接續  
横三寸三分

第何號 明治何年度

縣稅

明治何年何月分

一金何程

縣金庫主任ノ印

右納付候也

明治何年何月何日領收

縣金庫  
印

明治何年何月何日

何市長氏名

出納吏

割印

明治二十八年三月 縣令

一四五五

書 付 納



明治二十八年三月 縣令

一四五六

領收證書

第何號	明治何年度	何市長氏名納
縣稅		明治何年何月分
一金何程		
右領收候也		
明治何年何月何日		
出納吏官氏名		
第何號	明治何年度	
縣稅		何市役所
一金何程		
右明治何年何月何日領收		
縣金庫主任ノ印		

第五號樣式

用紙色紙 縱四寸五分ノモノ二枚 橫三寸三分ノモノ一枚 縱四寸五分ノモノ一枚 接續

第何號	明治何年度	
縣稅	地租割	上半期分
徵稅令書第何號ノ分又ハ金何程ノ内		
檢印 郡長		
一金何程		
地租割		
縣金庫主任ノ印		
明治何年何月何日領收		
縣金庫ノ印		
右納付候也		
明治何年何月何日		
何町(村)長氏名		

出納吏 割印

明治二十八年三月 縣令

一四五七



領收證書

第何號	明治何年度	何町(村)長氏名納
縣稅	地租割	上半期分
徵稅令書第何號ノ分又ハ金何程ノ内		
一金何程		
地租割		
右領收候也		
明治何年何月何日		
出納吏官氏名 ㊦		

第何號	明治何年度	何町(村)長氏名納
縣稅		何郡役所

一金何程

縣金庫主任ノ印

右明治何年何月何日領收



備考

一 稅目ニシテ郡市連帶ノ分ト郡部ノ分トノ區別アルモノハ金員ノ左傍ニ其名目ヲ記入スヘシ

第六號樣式

用紙色紙 縱四寸五分ノモノ二枚接續

拂込書

第何號	明治何年度	縣稅
一金何程		
右拂込候也		
明治何年何月何日		
出納吏官氏名 ㊦		

縣金庫ノ割印

第何號	明治何年度	出納吏官氏名拂込
-----	-------	----------



明治二十八年三月 縣令

一四六〇

領收證書		縣稅
一金何程		縣金庫主任ノ印
右領收候也		
明治何年何月何日		縣金庫名
第七號樣式		
用紙色紙縱四寸五分ノモノ二枚接續		
拂込書	第何號	明治何年度
一金何程	縣	稅
右拂込候也		

領收證		收入役ノ割印
第何號		明治何年度
何市長氏名拂込		
縣稅	一金何程	
右領收候也	明治何年何月何日	何市收入役氏名
第八號甲樣式		
明治何年度地租郡市連帶(郡部)		
徵稅簿		
(此帳簿ハ納期毎ニ調製スヘシ但目紙ヲ付シ數納期ノ分ヲ合冊スルモ妨ケナシ)		

明治二十八年三月 縣令

一四六一



(市ニ於テハ乙様式ニ準シ調製スヘシ)  
納期何月何日限リ

役 所 名

上半期地租割

何郡何町 (外何々村組合)

年月日	摘要	調定濟額	同減額	收入濟額	缺損額	未收入額
何年 四月二日	令書第何號	① 三百圓〇主任ノ印以下同シ				① 三百圓
四月七日	收 入			③ 五十圓〇		③ 貳百五十圓
四月十二日	收 入			③ 百圓〇		③ 百五十圓
四月十三日	何々ニヨリ減額		② 拾圓〇			② 百四十圓
四月十五日	收 入			③ 百五十圓〇		完 結
四月十六日	何々ニヨリ減額		② 五圓〇			② 五圓 (朱書)
四月二十日 (朱書)	同上ノ分納ニヨリ下戻			① 五圓〇 (朱書)		完 結

上半期地租割

何郡何町 (外何々村組合)

年月日	摘要	調定濟額	同減額	收入濟額	缺損額	未收入額
何年 四月二日	令書第何號	① 百五十圓〇				① 百五十圓
四月十日	何々ニヨリ増額令書第何號	② 拾圓〇				② 百六十圓
四月十六日	收 入			③ 百五十圓〇		③ 貳拾圓
四月廿二日	納期後某外何人ヨリ收入			③ 拾圓〇		③ 拾圓
四月三十日	滞納處分ノ未收入			④ 九圓〇		④ 壹圓
同日	滞納處分ノ未缺損				④ 壹圓〇	④ 壹圓 完 結

第八號乙様式



明治何年度縣稅隨時收入  
徵稅簿

(此帳簿ハ各稅毎ニ目紙ヲ附シ一ヶ月度毎ニ調製スヘシ但番號ヲ付シ數冊トナスモ妨クナシ)

何稅		役所名	
調定	收入	事故	納稅人
何年何月何日令書 第何號 納期何月何日限リ 何圓	何月何日收入 ○	何々ニヨリ何年何月何日 金何圓下戻 ○(朱書)	何郡何町 何
何年何月何日令書 第何號 納期何月何日限リ 何圓	何月何日收入 ○	何々ニヨリ何年何月何日 金何圓下戻 ○(朱書)	何郡何町 何
何年何月何日令書 第何號 納期何月何日限リ 何圓	何月何日收入 ○	何々ニヨリ何年何月何日 金何圓下戻 ○(朱書)	何郡何町 何

某 某 某

何年何月何日令書 第何號 納期何月何日限リ 何圓	何月何日收入 ○	何々ニヨリ何年何月何日 金何圓下戻 ○(朱書)	何郡何町 何
何年何月何日令書 第何號 納期何月何日限リ 何圓	何月何日收入 ○	何々ニヨリ何年何月何日 金何圓下戻 ○(朱書)	何郡何町 何
何年何月何日令書 第何號 納期何月何日限リ 何圓	何月何日收入 ○	何々ニヨリ何年何月何日 金何圓下戻 ○(朱書)	何郡何町 何

某 某



徵稅簿記入備考

- 一 出納吏ニ於テ徵稅令書ヲ受ケタルトキ若クハ市長ニ於テ徵稅令書ヲ發シタルトキハ「㊦」印ノ如ク記載シ其増額ハ「㊧」印ノ如ク記載シ其減額ハ「㊨」印ノ如ク記載スルモノトス
  - 二 税金收入済ニ至リタルトキハ「㊩」印ノ如ク記載スルモノトス
  - 三 滯納處分ノ未徵收シタル税金ハ「㊪」印ノ如ク記入シ其缺損ハ「㊫」印ノ如ク記載スルモノトス
  - 四 税金ヲ下戻シタルトキハ朱字ヲ以テ「㊬」印ノ如ク記載スルモノトス
- 縣令第十二號 二十八年三月二十日
- 明治二十五年(十二月)縣令第八十二號小學校教科用圖書中修身、讀書、作文、算術、地理、歴史、理科、圖畫ノ用書左ノ通定メ來ル四月一日ヨリ實施ス
- 尋常小學校教科用書

圖書名	卷冊	發行年月	著者氏名	發行者氏名
修身				
實 驗 日本修身書入門	自卷一 至卷二 二冊	明治二十六年 五月五日		

同 上 掲 圖	前後二級	明治二十六年 五月五日	渡邊政吉	金港堂書籍株式會社 東京日本橋區本町 三丁目十七番地
同 上 掲 圖	全一冊	明治二十六年 六月廿七日		
同 上 掲 圖	自卷一 至卷六 六冊	明治二十六年 六月廿七日		
同 上 掲 圖	自卷一 至卷六 六冊	明治二十六年 九月七日		
同 上 掲 圖	自卷一 至卷八 八冊	明治二十七年 十二月廿二日	今泉定介 須永和三郎	辻 東京神田區柳原河 岸十四番地
同 上 掲 圖	全一冊	明治二十七年 十月四日	教育評論社	小林義則
同 上 掲 圖	全一冊	明治二十六年 九月十八日	峰 是三郎	東京日本橋區本町 四丁目十六番地
同 上 掲 圖	自卷一 至卷四 四冊	明治二十八年 一月八日	田中矢徳	白井練一



明治二十八年三月 縣令

一四六八

尋常科 帝國讀本	自卷一 至卷四 四冊	明治二十七年 三月廿六日	學海指針社	小林八郎 東京日本橋區通 旅籠町十一番地
	尋常小學校補習科教科用書	讀書	讀書	修身
算術 入門 教師用	全一冊	明治二十六年 十月三日	金澤長吉	東京橋區竹川町 十三番地 外二人
	小學珠算 教師用	自卷一 至卷七 七冊	自卷一至卷四 明治廿六年 六月廿四日 自卷五至卷七 明治廿六年 十月三日	森孫一郎 三浦源助 岐阜縣岐阜市米屋 町廿二番戶

尋常科 帝國讀本	自卷一 至卷八 八冊	明治二十六年 十月十三日	渡邊政吉	金港堂書籍株式會社
	同 驗實 日本修身書	自卷一 至卷八 八冊	明治二十六年 十二月卅一日	金港堂書籍株式會社
末松 修身女訓	自卷一 至卷四 四冊	明治二十六年 九月四日	末松謙澄	八尾新助 東京神田區錦町 三丁目八番地
	同 教師用	自卷一 至卷四 四冊	明治二十六年 十月十四日	末松謙澄
高等 新體讀本	自卷一 至卷八 八冊	明治二十七年 十一月六日	金港堂書籍 株式會社	金港堂書籍株式會社
	新定 作文 教師用	全一冊	明治二十六年 十月廿九日	小林義則
算術 教師用	全一冊	明治二十七年 十月四日	教育評論社	小林義則

明治二十八年三月 縣令

一四六九



高等 小學 算術 教師用書	自卷一 至卷四 冊	明治二十七年 七月八日	竹貫登代多	白井練一 外二人
高等 小學 算術 教師用書	自卷一 至卷五 冊 外六冊	明治二十七年 十二月八日	田中矢德 金澤長吉	

地理、歴史

明治 地誌	自卷一 至卷四 冊	明治二十五年 八月廿三日	岡村増太郎	小林義則
----------	-----------------	-----------------	-------	------

小 學 日 本 歷 史	前編 三冊 後編 四冊 外編 二冊	明治二十七年 一月三日	金港堂書籍 株式會社	金港堂書籍株式會社
----------------------------	----------------------------------	----------------	---------------	-----------

理科

高等 新 理 科	自卷一 至卷四 冊	明治二十七年 九月二十二日	佐野喜代吉	八尾新助
-------------------	-----------------	------------------	-------	------

圖畫

(本年縣令第四十號ヲ以本項  
中改正ニ付全號參照スヘシ)

小 學 圖 畫 範 本	自卷一 至卷十二 冊	明治二十六年 十二月十九日	守住周魚	水口龍之助 大阪東區南久寶寺 町三丁目五番屋敷
----------------------------	------------------	------------------	------	-------------------------------

毛 筆 圖 畫 帖	自卷一 至卷十二 冊	明治二十六年 十二月三十日	興風學館	神戶直吉 東京京橋區南紺屋 町七番地
同 上 解 說 教 師 用	全 一 冊	明治二十六年 十二月三十日		
毛 筆 新 畫 帖	前編 自卷一 至卷八 冊 後編 自卷一 至卷四 冊	明治二十七年 九月廿七日	川端玉章	龜井忠一 東京神田區裏神保 町一番地
同 上 教 授 法 師 用	前編 各一冊 後編 各一冊	明治二十七年 十一月三日		
小 學 用 器 畫 法 教 師 用	自卷一 至卷二 冊	明治二十七年 七月十二日	興風學館	神戶直吉
高 等 小 學 用 器 畫 法 教 師 用	自卷一 至卷二 冊	明治二十五年 十月六日	大原錠一郎	大日本圖書株式會社 東京京橋區銀座二 丁目廿二番地
小 學 用 器 畫 法 教 師 用	自卷一 至卷二 冊	明治二十八年 九月		



小用器畫法圖式	自卷一	明治二十一年	早瀬作五郎	原亮三郎
教師用	至卷二	三月九日		東京日本橋區本町三丁目十七番地
	二冊			

○縣令第十三號 二十八年三月三十日

明治二十五年(四月)岐阜縣令第二十八號市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法納金收入取扱規則中第三條及附屬第一號樣式左ノ通改正シ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス(改訂)

○縣令第十四號 二十八年三月二十三日

明治二十四年(二月)本縣令第十二號本縣々立病院維持法中第二項縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通改正シ明治廿八年四月一日ヨリ施行ス(改訂)

第二項 收入金其豫算ニ超過シタルトキハ基本金ニ編入スヘキモノトス此場合ニ於テハ其超過金三分ノ一ニ超ヘサル範圍内ヲ以テ職員ニ特別慰勞手當ヲ支給スルコトヲ得

○縣令第十五號 二十八年三月二十三日

驅黷院ニ於テ治療スル娼妓入院中ノ藥價食費及寢具ハ明治二十八年四月一日ヨリ地方稅ヲ以テ支辨ス

○縣令第十六號 二十八年三月二十六日

明治二十三年(三月)本縣令第二十三號地方稅徵收期限中左ノ通改正シ二十八年度ヨリ施行ス

行ス(改訂)

一 地租制 上半期分 四月二十日限  
下半期分 十月二十日限

○縣令第十七號 二十八年三月二十九日

蠶絲業取締規則左ノ通改正ス

蠶絲業取締規則

第一條 此規則ニ於テ蠶絲業トアルハ養蠶業、蠶種製造業、生絲製造業及蠶種商、繭商、生絲商、屑物鬘斗糸、生皮商ヲ總稱ス

第二條 本縣管内ニ居住シ蠶絲業ヲ爲ス者ハ組合ヲ設ケ之ニ加入スヘシ但シ自用ニ供スルカ爲メ蠶絲業ヲ爲ス者ハ組合ニ加入セサルモ妨ケナント雖モ本則第三十條第三十一條第三十二條中蠶種製造者ニ關スル規定及ヒ第三十五條第三十六條第三十七條第三十九條第四十條ノ規定ヲ遵守スヘシ

第三條 組合員ハ證票ヲ受ケ之ヲ所持スヘシ

第四條 組合ハ組合ノ名義ヲ以テ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 社名又ハ組名ノ類ヲ以テ組合ニ加入スル者ハ相當ノ代表人ヲ定メ置クヘシ

第六條 組合員ハ組合及ヒ取締所規程ヲ遵守シ其費用ヲ負擔スヘシ

第七條 組合ノ設置ハ郡市役所所轄區域ニ依ルヘシ若シ其區域ノ分割ヲ必要トスルトキ



ハ縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第八條 組合ノ名稱ハ岐阜縣何々(郡市名ノ類)蠶絲業組合ト稱スヘシ

第九條 組合内便宜ノ地ニ事務所ヲ設置スヘシ

第十條 組合ハ組長ヲ置キ組合一切ノ事務ヲ處辨セシムヘシ但シ必要ニ依リ組合會ノ決議ヲ以テ組長ノ外便宜他ノ役員ヲ置クコトヲ得

第十一條 組長ハ組合會ニ於テ組合員中ヨリ選舉シ他ノ役員選舉ノ方法ハ組合規定ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十二條 組合區域ト取締區域ト同一ナル場合ニ於テハ組合事務所及組長ヲ置カス組合ニ關スル一切ノ事務ハ取締所ニ於テ執行スヘシ

第十三條 組合規程ハ左ノ事項ニ準シ之ヲ定ムヘシ

- 一 組合ノ名稱區域及ヒ事務所ノ位置
- 一 桑樹栽培及ヒ除害ノ方法
- 一 蠶種改良ノ方法
- 一 蠶兒飼育改良ノ方法
- 一 蠶病及ヒ蛆害豫防ノ方法
- 一 生絲改良ノ方法
- 一 蠶絲業統計ニ關スル事項

一 組合役員ニ關スル事項

一 組合會議ニ關スル事項

一 歲出入豫算及ヒ決算ニ關スル事項

一 組合規程違背者處分ニ關スル事項

右ノ外組合會ニ於テ必要ト認ムル事項

第十四條 各組合ヲ統轄スル爲メ美濃國ハ岐阜市ニ飛騨國ハ大野郡高山町ニ取締所ヲ設置スヘシ

第十五條 取締所ハ理事長理事ヲ置キ取締所規程ニ定メタル一切ノ事務ヲ處辨セシムヘシ但シ必要ニ依リ取締所會ノ決議ヲ以テ理事長理事ノ外便宜役員ヲ置クコトヲ得

第十六條 理事長理事ハ取締所會ニ於テ撰舉シ其他役員撰舉ノ方法ハ取締所規程ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十七條 取締所規程ハ左ノ事項ニ準シ之ヲ定ムヘシ

- 一 蠶種検査ニ關スル事項
- 一 取締所役員ニ關スル事項
- 一 取締所會議ニ關スル事項
- 一 證票ニ關スル事項
- 一 歲出入豫算及ヒ決算ニ關スル事項



- 一 取締所規程違背者處分ニ關スル事項  
右ノ外取締所會ニ於テ必要ト認ムル事項
- 第十八條 組長及理事長理事ノ任期ハ二ケ年トス
- 第十九條 組長又ハ理事長理事ヲ撰定シタルトキハ其住所氏名ヲ縣知事ニ届出ツヘシ
- 第二十條 組合會議員ノ數ハ組合規程取締所會議員ノ數ハ取締所規程ニ於テ之ヲ定ムヘシ
- 第二十一條 組合會ノ議員ハ組合員取締所會ノ議員ハ組合會ニ於テ其組合員中ヨリ撰舉スヘシ
- 第二十二條 議員タルヲ得ヘキ者ハ三年以上繼續蠶絲ノ業務ニ從事シタル丁年以上ノ男子ニシテ現ニ組合員タル者ニ限ル
- 第二十三條 議員ノ任期ハ二ケ年トス補欠議員ノ任期ハ前任議員ノ任期ニ依ルヘシ
- 第二十四條 議長副議長ハ議員中ヨリ撰舉スヘシ
- 第二十五條 組合會及ヒ取締所會ハ每一回之ヲ開ク其ノ會期ハ七日以内トス  
通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件アルトキハ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ三日以内トス
- 第二十六條 組合會及ヒ取締所會ニ於テ議定スヘキ事項概テ左ノ如シ  
一 規程ヲ定メ並ニ改正スル事

- 一 歳出入豫算ヲ定ムル事
- 一 決算報告ヲ認定スル事
- 第二十七條 前條第一第二ノ決議ハ縣知事ノ認可ヲ得テ施行シ其他ノ決議ハ縣知事ニ申報スヘシ
- 第二十八條 組合會及取締所會ハ蠶絲業ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ縣知事ニ建議スルコトヲ得
- 第二十九條 組長ハ前年ニ於ケル蠶絲業統計ヲ調製シ組合事業ノ成績書ト共ニ翌年一月十五日限リ理事長ニ差出シ理事長ハ之ヲ取纏メ取締所事業ノ成績書ヲ添ヘ同月三十一日限リ縣知事ニ差出スヘシ
- 第三十條 蠶種ヲ製造又ハ販賣セントスル者ハ第一號様式ニヨリ郡長又ハ市長ヲ經テ縣知事ニ願出テ鑑札ヲ受ケ行商ノ際ハ販賣鑑札ヲ携帶スヘシ
- 第三十一條 蠶種製造者若クハ販賣者廢業シタルトキハ組長連署郡長又ハ市長ヲ經テ其旨届出テ鑑札ヲ返納シ轉居又ハ改氏名若クハ鑑札ヲ遺失毀損シタルトキハ其實質ヲ具シ組長連署郡長又ハ市長ヲ經テ鑑札ノ訂正又ハ書換再渡ヲ乞フヘシ
- 第三十二條 蠶種製造者ハ其年飼育セシ原蠶種及製造セシ蠶種ノ枚數ヲ第二號書式ニ依リ左ノ期限内ニ郡長又ハ市長ヲ經テ縣知事ニ届出ツヘシ  
一 春期飼育ノモノ  
七月三十一日



一 夏秋期飼育ノモノ 十月三十一日

第三十三條 蠶種ヲ製造スルニ餘付糊付ヲナスヘカラス又同功繭及ヒ屑繭ヲ以テ原料ニ供スヘカラス

第三十四條 蠶種ハ産卵セシムル前ニ於テ原紙ノ表面ニ其種類(春夏秋)名稱(小石丸又昔等ノ類)裏面ニ製造者ノ住所氏名ヲ明記スヘシ但シ夏秋蠶種ハ其表面ニ産付年月日ヲ明記スヘシ

第三十五條 原種用蠶種ニシテ越年スルモノハ框製トスヘシ

第三十六條 前條蠶種ノ製造ニ供用シタル雌蛾ハ原紙ノ蠶卵區ト符號ヲ付シ之ヲ保存シ置キ蠶種ト共ニ原種用蠶種検査所ヘ差出シ検査ヲ受クヘシ

第三十七條 製絲用春蠶種ハ取締所ノ検査ヲ受クヘシ  
他管下所産ノ製絲用春蠶種ヲ他管人ヨリ買受テ讓受ケタルトキハ蠶種検査施行前ニアリテハ検査施行ノ日ヨリ検査施行中ニアリテハ受領ノ日ヨリ七日以内ニ検査ヲ受クヘシ

第三十八條 前條ノ検査ハ顯微鏡ヲ以テシ微粒子病毒百分ノ八以下ヲ合格トシ其以上ヲ不合格トス

第三十九條 製絲用春蠶種ハ検査證印ナキモノ及ヒ不合格ノ証印アルモノハ賣買讓受讓渡又ハ飼育スルコトヲ得ス

第四十條 蠶種ノ掃殻ハ原形ノ儘一年間保存スヘシ

第四十一條 生絲ハ一總若クハ一括中良否混淆ノモノヲ製造又ハ賣買スルコトヲ得ス

第四十二條 繭ハ春夏秋冬若クハ黄白等ノ異種類又ハ太陽殺蒸殺燥殺若クハ殺蛹セサルモノヲ混淆シ賣買スルコトヲ得ス

第四十三條 生絲ニハ製造者ノ住所氏名又ハ社名等ヲ明記シタル商標又ハ標章ヲ添付スヘシ

第四十四條 本則第二條ノ組合ニ加入セスシテ蠶紙業ヲ爲ス者第三十三條第三十九條第四十一條第四十二條ニ背キタルモノハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

本則第三十四條第三十七條第二項第四十三條ニ背キタル者及ヒ第二條但書ノ自用ニ供スルカ爲メ蠶絲業ヲ爲ス者ニシテ第三十七條第二項第三十九條第四十條ニ背キタル者ハ五拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

附則

第四十五條 組合組織ハ所轄郡長市長ニ於テ議員ノ員數撰舉區域及ヒ手續ヲ定メ其郡市内蠶絲業者ヲシテ議員ヲ撰舉セシメ之ヲ召集シテ組合規程其他必要ナル諸般ノ事項ヲ議決セシムヘシ

組合組織以前ニアリテ取締所議員ノ選舉ハ所轄郡長市長ニ於テ議員撰舉ノ手續ヲ定メ其郡市内蠶種業者ヲシテ議員ヲ選舉セシメ其住所氏名ヲ縣知事ニ報告スヘシ



第一號書式

蠶種製造(販賣)願

私儀蠶種製造(販賣)仕(何某ヲ以テ蠶種販賣爲致)度候ニ付鑑札御下付相成度此段願上候也

年月日

岐阜縣何國何郡何町何番戶

何 某印

岐阜縣何々蠶絲業組合

組長 何 某印

縣知事宛

第二號書式

蠶種掃立並製造高届

一原蠶種掃立高

何 框取トナスモノハ框製幾蛾分ト記スヘシ 蟻量何十何目

内

春(夏)(秋)蠶何々

何 框取トナスモノハ框製幾蛾分ト記スヘシ 蟻量何目

同 何々

一蠶種製造高

同 框取トナスモノハ框製幾蛾分ト記スヘシ

内

春(夏)(秋)蠶何々  
同 何々  
右之通有之候此段御届仕候也

原種用何枚  
製絲用何枚

框取トナスモノハ框製幾蛾付何枚ト記スヘシ

年月日

岐阜縣何國何郡何町何番戶

何 某印

岐阜縣何々蠶絲業組合

組長 何 某印

縣知事宛

○縣令第十八號 二十八年三月三十日

陶磁業取締規則左ノ通相定ム

陶磁業取締規則

- 第一條 此規則ニ於テ陶磁業ト稱スルハ陶磁器製造業、陶磁器商、金燭畫燒附業、陶磁器用銅版畫印刷業ヲ云フ但シ小賣商ハ此限ニアラス
- 第二條 組合ノ地區ハ美濃國可兒郡、土岐郡、惠那郡トス
- 第三條 地區内ニ居住シテ陶磁業ヲ爲ス者ハ組合ヲ設ケ之ニ加入スヘシ
- 第四條 組合ハ組合ノ名義ヲ以テ營利ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス
- 第五條 組合ハ規程ヲ以テ價格實錢ヲ一定シ又ハ取引先ヲ制限スルコトヲ得ス



第六條 社名又ハ組名ノ類ヲ以テ組合ニ加入スル者ハ相當ノ代表人ヲ定メ置クヘシ  
第七條 組合員ハ證券ヲ受ケ之ヲ所持スヘシ

但シ手代又ハ雇人ヲシテ取引ノ爲メ他行セシムル者又ハ職工ヲ使役スル者ハ附屬證券ヲ受ケ之ヲ携帶セシムヘシ

第八條 組合員ハ組合規定ヲ遵守シ且組合ノ費用ヲ負擔スヘシ

第九條 組合ハ地區内便宜ノ地ニ事務所ヲ設置スヘシ

第十條 組合ニ於テ規定スヘキ事項概テ左ノ如シ

- 一 組合ノ名稱
- 一 組合加入者及ヒ退去者ニ關スル事項
- 一 役員ノ任期及ヒ職務權限
- 一 證券ニ關スル事項
- 一 業務改良發達ノ方法
- 一 職工使備ニ關スル事項
- 一 議員ノ員數及ヒ選舉區域
- 一 會議ニ關スル事項
- 一 歲出入豫算及ヒ決算ニ關スル事項
- 一 規程違背者處分ニ關スル事項

右ノ外組合ニ於テ必要ト認ムル事項

第十一條 組合ニハ組長ヲ置キ組合一切ノ事務ヲ處辨セシムヘシ但シ必要ニ依リ組合會議ヲ以テ組長ノ外便宜他ノ役員ヲ置クコトヲ得

第十二條 組長ハ組合會ニ於テ之ヲ選舉シ他ノ役員選舉ノ方法ハ組合規程ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十三條 役員ヲ撰定シタルトキハ其住所氏名ヲ縣知事ニ届出ツヘシ

第十四條 組合ニ關スル樞要ノ事件ニ付組長ノ問答ニ答ヘ又ハ組合會ヲ開クノ暇ナキ緊急ノ事件ヲ議決スル爲メ商議員ヲ設クルコトヲ得商議員ハ組合會議員中ヨリ互撰ス其任期ハ組合會議員ノ任期ニ同シ

第十五條 組合會ノ議員ハ組合員其組合員中ヨリ選舉スヘシ其議員タルヲ得ヘキ者ハ丁年以上ノ男子ニシテ現ニ組合員タル者ニ限ル

第十六條 組合會議員ノ任期ハ二年トス補欠議員ハ前任者ノ任期ニ依ルヘシ

第十七條 組合會ハ毎年一回之ヲ開ク其會期ハ七日以内トス

通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件アルトキハ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ三日以内トス

第十八條 組合會ニ於テ議定スヘキ事項概テ左ノ如シ

- 一 規程ヲ定メ並ニ改正スルコト



二 歳出入豫算ヲ定ムルコト  
 三 決算報告ヲ認定スルコト  
 第十九條 前條第一第二ノ決議ハ縣知事ノ認可ヲ得テ施行シ其他ノ決議ハ縣知事ニ申報スヘシ  
 第二十條 組合會ハ陶磁業ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ縣知事ニ建議スルコトヲ得  
 第二十一條 組長ハ前年ニ於ケル陶磁業統計ヲ調製シ組合事業ノ成績書ト共ニ翌年一月三十一日限リ縣知事ニ差出スヘシ  
 陶磁器ノ商況ハ每年半期分取調ヘ其年七月三十一日翌年一月三十一日限リ縣知事ニ報告スヘシ但シ商況上著キ變動アルトキハ臨時報告スヘシ  
 第二十二條 組合員中別ニ陶磁業改良上ニ關スル規約ヲ設クルトキハ組長ノ承認ヲ受クヘシ  
 第二十三條 組合ニ加入セシメシテ陶磁業ヲ營ム者ハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス  
 附則  
 第二十四條 本則ニ依リ初メテ議員ヲ選舉シ及ヒ組合ヲ組織スルハ左ノ各項ニ依ルヘシ  
 一 郡長ハ第十五條ニ依リ其所轄内ノ議員撰舉被撰舉人タルヲ得ルノ資格アル者ヲ取調ヘ選舉區域ヲ定メ左ノ議員ヲ撰舉セシムヘシ

可兒郡 議員 一名  
 土岐郡 議員 十四名  
 惠那郡 議員 五名  
 一 議員ノ撰舉ヲ了リタルトキハ土岐郡長之ヲ召集シテ組合規程其他諸般ノ必要ナル事項ヲ議決セシムヘシ  
 第二十五條 組合成立後議員中ニ缺員ヲ生シタルトキハ第一次ノ任期中ハ郡長ノ指定シタル手續ニ準シ組長ニ於テ補缺撰舉ヲ施行スヘシ  
 第二十六條 本則ハ明治二十八年五月一日ヨリ執行ス  
 ○縣令第十九號 二十八年三月三十日  
 明治二十八年度地方税賦課徵收規則通常縣會ノ議決ヲ經テ左ノ通之ヲ定ム  
 明治二十八年度地方税賦課徵收規則

第一章 地 租 割  
 第一條 地租割ハ二期ニ區分シ上半年期 四月ヨリ 四月一日下半年期 十月ヨリ 十月一日ノ現地租額ニ據リ賦課ス  
 第二條 地租割ハ別ニ定ムル納期ニ據リ其課額ノ半數ヲ每期徵收ス  
 第三條 地租割ハ賦課期日後ニ生シタル事故ノ爲メ當初ノ租額ニ異動ヲ生スルモ賦課額ヲ増減セス



第二章 戶數割

第四條 戶數割ハ二期ニ區分シ上半年期四月ヨリハ四月一日下半年期十月ヨリハ十月一日ノ現戸數ニ據リ左ノ如ク賦課ス

一 本籍寄留ト戸主非戸主ヲ問ハス一戸ヲナスモノ

一 甲乙同居ノ名アリト雖モ炊爨ヲ異ニシ一戸ノ体裁ヲナスモノ

第五條 戶數割ハ別ニ定ムル納期ニ據リ其賦額ノ半數ヲ每期徵收ス

第六條 各戸ノ課額ハ市町村會ニ於テ等差ヲ設ケ賦課スルヲ得

第七條 但等差ヲ設クルカ爲メ其市町村ニ係ル納額ヲ増減スルヲ得ス

第八條 町村ノ狀況ニ依リ二町村以上ノ納額ヲ併セ前條ノ方法ニ據リ町村組合會ニ於テ議定スルコトヲ得

第三章 營業稅雜種稅

第九條 年稅ヲ賦課スル營業稅雜種稅ハ二期ニ區分シ上半年期四月ヨリハ四月一日下半年期十月ヨリハ十月一日ノ現在ニ據リ賦課ス

第十條 營業稅雜種稅ハ別ニ定ムル納期ニ據リ年稅ハ其課額ノ半數ヲ每期徵收ス

第十一條 地位ニ據リ賦課スル年稅ハ每期ノ營業戶數ニ據リ每業店ノ區別ヲ云フ其他ノ納額ヲ定ム

第十二條 各戸ノ課額ハ市町村會ニ於テ等差ヲ設ケ前條ノ納額ニ據リ之ヲ賦課スヘシ

但等差ヲ設クルカ爲メ納額ヲ増減スルヲ得ス

第十三條 町村ノ狀況ニ依リ二稅區以上ノ納額ヲ併セ前條ノ方法ニ據リ其市町村會若クハ町村組合會ニ於テ議定スルコトヲ得

第十四條 一人若クハ一會社ニシテ二課目以上ノ營業ヲ爲シ又ハ支店若クハ出張所ノ類ヲ設クルモノハ各別ニ課稅ス

但第十五條及第十七條ニ掲クルモノハ各其本條ニ據ル

第十五條 職工ヲ使役シテ物品ヲ製造シ之ヲ販賣スルモノ及職工ニシテ自製ノ物品ヲ開

店販賣シ若クハ行商スルモノハ單ニ商業稅ヲ賦課ス

但染物屋印刷所工業會社ニシテ其物品ヲ販賣スルハ別ニ商業稅ヲ賦課セス

第十六條 他ヨリ料理ヲ取寄セ來客ノ需ニ應スル待合ノ類ハ料理屋稅ヲ課ス

第十七條 職工中各種ヲ兼テ又ハ料理屋飲食店ヲ交互兼業スルモノハ其稅額ノ重キ一方ニ就ニ課稅ス

第十八條 自家收得ノ農產物ト雖トモ開店販賣スルモノハ課稅ス其開店販賣セサルモ買

入物品ニ混淆販賣スルモノハ課稅ス

第十九條 市場ハ毎月六日以上豫メ期日ヲ定メ開設スルモノハ定開市場稅ヲ賦課シ六日

ニ滿サルモノハ臨時市場稅ヲ賦課ス



第二十條 古物商等數人一所ニ集合シ俗ニ「カサフセ」ト唱ヘ一種ノ入札法ヲ以テ品物ノ賣買ナスモノハ市場稅ヲ賦課セス

第二十一條 會社ニシテ資本金ヲ定メ難キモノハ收益金ヲ十倍シタル額ヲ資本金ト見做シ賦課ス

第二十二條 演劇及興行ニシテ一人毎ニ場代方言ヨリ又ハ中木ヲ受クルモノハ三人分ヲ以テ上場一枚ト見做シ課稅ス

第二十三條 演劇及興行ニシテ晝夜ヲ區別シ觀客ヲ容レ易ヘ恰モ二日間ニ等シキ事實アルモノハ晝夜各別ニ課稅ス

第二十四條 漁業中中獵、夜川、張切、潮流、火振網漁ハ長良川通郡上武儀ノ郡界ヨリ中島郡小藪村迄ノ間ニ於テスルモノニ限リ本稅ヲ課シ其他ノ場所ニ於テスルモノハ雜漁トシテ課稅ス

第二十五條 雜漁者中俸給月額拾貳圓以上ヲ受クルモノ地價千圓以上ヲ有スルモノ所得稅納稅者及其家族ハ遊漁稅ヲ課スルモノトス

第二十六條 年稅ハ開業九月以前ハ全額十月以後ハ半額廢業九月以前ハ半額十月以後ハ全額ヲ課ス

第二十七條 月稅ハ開業十五日以前ハ全額十六日以後ハ半額廢業十五日以前ハ半額十六日以後ハ全額ヲ課ス

日以後ハ全額ヲ課ス

第二十八條 年度中他ノ課目ニ轉業スルモノハ新規開業ニ準シ課稅ス

第二十九條 地位ニヨリ賦課スルモノ、新規開業ハ該半期中ハ其地ノ普通課額ヲ課ス

但徵々タル營業者ハ其稅額ヲ輕減スルコトアルヘシ又普通額以上ノ納稅者ニシテ前期ニ於テ一旦廢業シ再ヒ同店ニ於テ同種ノ業ヲ開キ若クハ他人之ヲ受テ其業ヲ繼續スルモノハ前期ノ負擔額ニ依リ課稅ス

第三十條 脫稅者アリテ他日發覺スルトキハ其通脫ニ係ル税金ノ普通額アルモノハ其普通額收ス

第三十一條 左ニ掲グルモノハ其稅ヲ免除

一 飲食店ニテ僅ニ菓物草鞋ノ類ヲ小賣スルモノ

二 自家所産ノ菓物及自家製造ノ草鞋ノ類ヲ開店販賣(小賣)スルモノ

三 氷糖煎餅煎豆飴等ヲ行商(小賣)スルモノ

四 自家所有ノ山林ニ於テ自ラ炭燒ヲナシ販賣スルモノ

五 自用ヲ辨スル能ハサル不具ノ遊藝師匠及遊藝稼人

六 叔挽臼及自用ニ供スル一臼立ノ水車

七 職工中十四年未滿六十年以上ノモノ及婦女ニシテ戶主ノ業ヲ助クルモノ

八 浴ニなをシト稱スル履物職渡世ノモノ



九 農間僅ニ草屋根ヲ營キ又ハ土臼ヲ造ルモノ  
 十 雜漁中十四年未滿六十年以上ノモノ及ヒ漁具ヲ携ヘサルモノ  
 十一 理髮人中十四年未滿六十年以上ノモノ  
 十二 農業一途ニ使用スル長二間半未滿ノ船  
 第三十二條 前條中年齡ニ據ルヘキモノハ賦課期日ヲ以テ起算ス  
 第三十三條 第八條ハ本章ニモ適用ス  
 ◎縣令第二十號 二十八年三月三十日  
 明治二十八年度營業稅雜種稅課目課額通常縣會ノ議決ヲ經テ左ノ通之ヲ定ム  
 明二十八年度營業稅雜種稅課目課額

營業稅

一等地	一月ニ付	年稅金四圓
二等地	同	同 金三圓四拾錢
三等地	同	同 金三圓拾錢
四等地	同	同 金貳圓六拾錢
五等地	同	同 金貳圓貳拾錢
六等地	同	同 金壹圓六拾錢

工業

七等地	同	同 金壹圓貳拾錢
八等地	同	同 金九拾錢
九等地	同	同 金六拾錢
會社		年稅資本金千分ノ一
職工	一人ニ付	年稅金 男壹圓 女五拾錢
一等業		同 金 男五拾錢 女貳拾五錢
二等業		同 金 男三拾錢 女拾五錢
三等業		同 金 女拾五錢
染物屋	一個ニ付	年稅金拾錢
印刷所	大一臺ニ付	年稅金三圓
印刷器械	小同	同 金壹圓五拾錢
會社		年稅資本金千分ノ三

雜種稅



料理屋

一等地	同	年稅金拾圓
二等地	同	同 金九圓
三等地	同	同 金八圓
四等地	同	同 金七圓
五等地	同	同 金六圓
六等地	同	同 金五圓
七等地	同	同 金四圓
八等地	同	同 金三圓
九等地	同	同 金貳圓
飲食店	同	同 金貳圓
一等地	一戶二付	年稅金四圓
二等地	同	同 金三圓六拾錢
三等地	同	同 金三圓拾錢
四等地	同	同 金貳圓六拾錢
五等地	同	同 金貳圓貳拾錢
六等地	同	同 金壹圓六拾錢

七等地	同	同 金壹圓貳拾錢
八等地	同	同 金七拾錢
九等地	同	同 金四拾錢

湯屋	一坪以上	年稅金貳圓
同 湯 坪	同未滿	同 金壹圓

理髮人	三等地以上	同 金貳圓
雇人受宿	六等地以上	同 金壹圓五拾錢
遊藝師匠	七等地以下	同 金壹圓
遊藝稼人	三等地以上	同 金三圓
相撲行司共	六等地以上	同 金貳圓
俳優	七等地以下	同 金壹圓
		月稅金三拾錢
		同 金三拾錢
		同 金貳拾錢
		同 金壹圓
		同 金五拾錢







四等築場	同	同 金拾圓
五等築場	同	同 金五圓
六等築場	同	同 金貳圓
鵜 漁	一組ニ付	年税金五圓
大網 漁	同	同 金八圓
中獵網 漁	同	同 金五圓
夜川網 漁	同	同 金五圓
張切網 漁	同	同 金四圓
瀬流網 漁	同	同 金三圓
火振網 漁	同	同 金貳圓
雜 漁	職漁一人ニ付 遊漁一人ニ付	同 金三拾錢 同 金六拾錢
特別課税		
自轉車	一輛ニ付	年税金五拾錢
一營業地位及職工種目築漁場所等級ハ別表ノ如シ 但營業地位及築漁場所ハ市町村廢置分合アルモ仍ホ本表定ムル所ノ區域ニ依ル		
營業地位等級表		

等級	地	位
一等地	岐阜市大字小熊	
二等地	岐阜市大字今泉	
三等地	岐阜市元岐阜 同大字富茂登 同大字上加納 安八郡大垣町元大垣	
四等地	羽栗郡笠松町 安八郡大垣町大字久瀬川 武儀郡上有知町 土岐郡多治見町 惠那郡中津川町 大野郡高山町大字高山 安八郡大垣町大字高屋	
五等地	羽栗郡竹ヶ鼻町 大野郡揖斐町大字三輪 吉城郡船津町大字船津 可兒郡御嵩町 武儀郡關町 郡上郡八幡町大字八幡 惠那郡岩村町 吉城郡古川町大字古川	
六等地	下石津郡高須町 多藝郡高田町 不破郡垂井町 不破郡赤坂村 加茂郡八百津町 安八郡今尾町 本巢郡北方町 武儀郡菅田村大字桐洞 同郡金山町 惠那郡明知町 同郡長嶋村大字中野 大野郡高山町大字大名田 同郡大名田村大字花里 同郡同村大字七日町 益田郡三郷村大字萩原 同郡下呂村大字湯ノ嶋 吉城郡船津町大字朝浦 同郡同町大字東町 可兒郡兼山町 土岐郡土岐津町大字高山	



七等地	岐早市大字稻束 厚見郡東加納町 方縣郡長良村 同郡福光村 羽栗郡田代村 多藝郡養老村大字白石 同郡同村大字押越 池田郡池野村 山縣郡高富村大 字高富 不破郡關ヶ原村 加茂郡下麻生村 同郡川邊村大字中川邊 可兒郡今 渡村大字今渡 同郡豐岡村大字長瀬 同郡中村大字中 可兒郡池田村大字池田 町屋 惠那郡大井町 益田郡下原村大字下原村 同郡下呂村大字森 同郡小坂 村大字小坂町 安八郡大垣町大字若森 同郡墨俣町 同郡大垣町大字林本郷 同郡神戸町大字神戸 同郡大垣町大字南頰 多藝郡船着村大字船付 加茂郡太 田町 武儀郡吉田村 郡上郡白鳥村
八等地	厚見郡細畑村 同郡鏡島村 同郡高田村 同郡切通村 同郡藏前村 同郡領下 村 各務郡鵜沼村 同郡芥見村 方縣郡栗野村 同郡岩崎村 同郡黒野村 中 島郡江吉良村 下石津郡太田村 多藝郡鳥江村 同郡栗笠村 上石津郡澤田村 惠那郡苗木町大字苗木 安八郡大垣町大字藤江 同郡大垣町大字南寺内 同 郡同町大字室 同郡御壽村大字大藪 大野郡北方村 同郡黒野村 同郡徳積村 同郡清水村大字清水 不破郡静里村 池田郡市場村 同郡六ノ井村 同郡青 柳村 本巢郡本田村 同郡美江寺町 席田郡加茂村 山縣郡谷合村 武儀郡長 瀬村 同郡菅田村大字笹洞 郡上郡八幡町大字島谷 同郡中坪村 加茂郡西白

九等地	以上掲載スル外各町村大字
鮭漁場所等級表	
等級	地名
一等	川村大字和泉 同郡加治田村 同郡東白川村大字神土 同郡取組村 同郡勝山 村 可兒郡伏見村大字伏見 土岐郡笠原村 同郡駄知村 同郡妻木村 同郡下 石村 同郡土岐村 同郡餘戸村大字釜戸 惠那郡猿爪村 同郡上村 同郡坂下 村大字坂下 同郡付知村 同郡落合村 大野郡久々野大字無數河 吉城郡國府 村大字上廣瀬 同郡同村大字廣瀬町 同郡同村大字八日町 同郡船津町大字鹿 間 同郡同町大字東茂住 同郡細江村大字杉崎
二等	揖斐川筋大野郡房島村
三等	長良川筋郡上郡稻成村内中野組 揖斐川筋大野郡北方村 揖斐川筋池田郡三倉村



<p>四等</p>	<p>根尾川筋大野郡岐禮村          長良川筋郡上郡稻成村<small>中野組ヨリ</small>武儀郡小金田村大字マテ  <small>ヲ除ク</small>小屋名山縣郡千疋村          上之保川筋郡上郡有坂村坪佐組ノ内下梁島          飛驒川筋武儀郡金山町ヨリ同郡上麻生村マテ          宮川筋吉城郡河合村ヨリ國界マテ</p>
<p>五等</p>	<p>揖斐川筋池田郡西津汲村ヨリ同郡外津汲村マテ          根尾川筋大野郡長瀬村ヨリ本巢郡山口村マテ          津保川筋加茂郡加治田村ヨリ武儀郡小金田村大字小屋名マテ          龜比島谷郡上郡相生村          上之保川筋郡上郡劍村ヨリ同郡有坂村<small>坪佐組ノ内下マテ</small>  <small>梁島ヲ除ク</small>          吉田川筋郡上郡大谷村ヨリ同郡中坪村マテ          馬瀬川筋郡上郡岩瀬村ヨリ武儀郡金山町マテ          白川筋加茂郡西白川村大字和泉ヨリ同村大字河岐マテ          矢作川筋惠那郡串原村ヨリ國界マテ          宮川筋吉城郡國府村ヨリ同郡小鷹利村マテ          益田川筋益田郡小坂村ヨリ同郡下原村マテ</p>

<p>六等</p>	<p>以上掲載スル外各所</p>
<p>等級</p>	<p>職工種目等級表</p>
<p>一等業</p>	<p>時計 洋服裁縫 音樂器<small>琴三味線共</small> 銃 炮 寫眞 篆 刻          烟火製造 紫檀細工 角細工 度量衡 友仙染 蒔 繪          杜氏 籠 甲 盤 糸 結</p>
<p>石工 大工 木工 漆工 指物 物建 具煉 石細工</p>	<p>櫟細工 竹細工 藤細工 皮革細工 鉄葉細工 石細工          齒材 文房具 算盤 箔打 鋸 鐵物          鐵網 鑄物 銘 打 銅版 鞣 物 矢 物          玩弄物 人形造 錐 出 織 物 染 物 形 置          上繪 煉洗張 艶 子 袋 物 烟管筒 櫛          簪 髮 洗 張 物 子 西洋洗濯 仕立 繻 師          足袋 靴 履 帽 子 編 傘 仕立 繻 師          桐油 油 靴 履 物 椅 子 彫 物 印 判</p>







製茶傳習所設置準則

- 第一條 本所ハ縣下茶業ノ改良ヲ圖ルカ爲ニ設置スルモノトス
- 第二條 名稱
- 第三條 開設期日 十四日ヨリ少カラス四十日  
間ヨリ多カラサル日數トス
- 第四條 授業時數
- 第五條 傳習科目ハ概テ左ノ如シ但シ土地ノ狀況ニ依リ一科目若クハ數科目ヲ傳習スルコトヲ得
  - 一 製造上實習 生葉蒸方 蒸葉荒操方 仕上方 變切方 製茶火入方
  - 二 製茶審査方法
  - 三 製造場設置方 焙爐ノ築造方 炭火ノ用法
  - 四 茶園培養方 耕耘方 剪枝方 摘採方 生葉貯藏方
  - 五 摘採ノ良習ヲ養成スル方法
- 第六條 設備ニ關スル要件左ノ如シ
  - 一 製造場ノ面積及構造
  - 二 焙爐ノ員數
  - 三 製造仕上ニ關スル一切ノ器械器具
- 第七條 生徒タルヲ得ヘキ者ハ縣下ノ茶業者ニシテ年齡滿十八歲以上ノ男子トス

- 第八條 生ヲラント欲スル者ハ其住地市町村長ノ證明ヲ得テ本所ヘ申出ツヘシ
  - 第九條 本所ニ於テ定期間規定ノ傳習ヲ了ヘタル者ニハ習了証書ヲ附與ス
- 縣令第二十三號 廿八年四月十二日
- 狩獵出願手續左ノ通之ヲ定ム

狩獵出願手續

- 第一條 狩獵免狀ヲ受ケントスル者ハ狩獵法施行細則第三條ニ依ルノ外左ノ各項ヲ記シ  
所轄警察官署ニ差出スヘシ
  - 一 所得稅及地租納稅額
  - 二 戶主ニアラサル者ハ戶主ノ住所氏名及所得稅並ニ地租納稅額
- 第二條 狩獵法施行細則第六條ニ依リ禁獵制札ノ建設ヲ願出ントスル者ハ願書ニ其理由ヲ詳記スルノ外左ノ各項ヲ具シ所轄警察官署ヲ經テ縣廳ニ差出スヘシ
  - 一 禁獵ヲ要スル場所ノ郡市町村字名反別及地種目
  - 二 禁獵ヲ要スル場所及其近傍ノ地勢ヲ知リ得ヘキ圖面ニ制札ヲ建設スヘキ位置ヲ記シタルモノ

第三條 前條ノ許可ヲ得タル者ハ狩獵規則施行細則第七條ノ雛形ニ依リ制札ヲ調製シ所轄警察所ニ差出シ禁條文ノ記載ヲ請フヘシ其毀損腐朽等ニ係リ再設ヲ要スルトキ亦同



第四條 狩獵法施行細則第八條同第十條ニ依リ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ願届ヲ爲スヘキ書類ハ所轄警察官署ヲ經テ差出スヘシ

第五條 狩獵法第十九條ニ依リ鳥獸ノ捕獲又ハ驅除ヲ要スルトキハ左ノ各項ヲ詳記シ所轄警察官署ヲ經テ縣廳ニ願出ツヘシ

一 住所族籍職業氏名年齢

二 捕獲又ハ驅除ヲ要スル理由及方法

三 鳥獸ノ種類(捕獲ニ付テハ員數トモ)及捕獲又ハ驅除ノ期限

四 驅除ニ付テハ前各項ノ外被害ノ狀況及驅除ヲ要スル區域ヲ詳記シタル圖面

第六條 前條ノ許可ヲ受ケ捕獲又ハ驅除ヲ爲シタルトキハ左ノ區別ニ依リ調査シ五日以内ニ所轄警察官署ヲ經テ縣廳ニ届出ツヘシ

一 捕獲ニ付テハ鳥獸ノ名稱ニ依リ雌雄牝牡ヲ區分シタル員數

二 驅除ニ付テハ鳥獸ノ名稱ニ依リ區分シタル員數

第七條 狩獵免狀ヲ受ケタル者ニシテ族籍氏名ヲ變換シ又ハ住所ヲ移轉シタルトキハ三週日以内ニ所轄警察官署ニ届出免狀ノ訂正ヲ請フヘシ

前項移轉ノ地他ノ警察官署ノ所轄ニ屬スルトキハ甲乙兩地ノ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

第八條 飼養スル保護鳥獸ニシテ其種類員數ニ異動ヲ生シタルトキハ理由ヲ詳記シ三十

日以内ニ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

前項ノ鳥獸ヲ買受讓受タルトキ亦同シ

○縣令第二十四號 二十八年四月十九日

醫師ニ於テ吐瀉病患者ヲ診察シタルトキハ其排泄物ニ充分消毒ヲ行ハシメ且ツ患者ノ住所氏名ヲ即時警察官署ニ届出ツヘシ違フモノハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

○縣令第二十五號 二十八年四月二十六日

明治二十六年(四月)岐阜縣令第五十二號岐阜縣尋常師範學校總則第五條、第六條、第七條改正ス(改訂)

○縣令第二十六號 二十八年五月三日

明治十四年(八月)岐阜縣甲第八十九號布達川船取締規則廢止ス

○縣令第二十七號 二十八年五月三日

乗客船營業取締規則左ノ通之ヲ定ム但シ横越渡船營業者ハ本則ニ依ルノ限ニ在ラス

乗客船營業取締規則

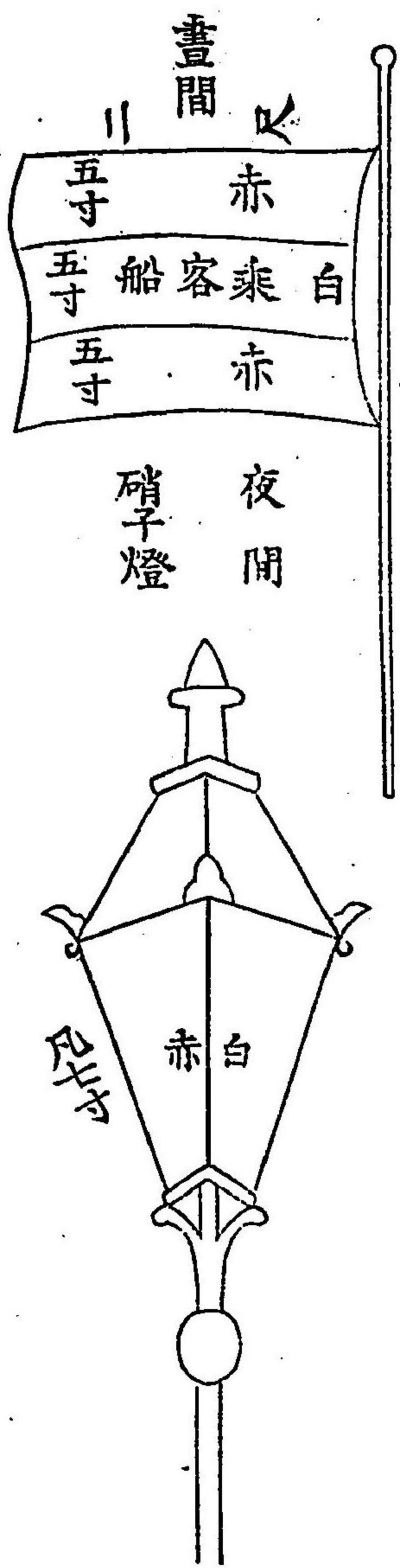
第一條 乗客船營業(賃錢ヲ得テ荷船ニ人ヲ乗船セシムル者モ合蓄ス)ヲ爲サムトスル者ハ族籍住所氏名年齢及左ノ各項ヲ詳記シ所轄警察官署ヲ經テ縣廳ニ願出シテ免許ヲ受

クヘシ

一 船籍



- 一 乘客船ノ種類容積
  - 一定繫場
  - 一 航通スヘキ川名
  - 一 發著寄繫ノ場所日時及航回数
  - 一 乘載定員 (一坪ニ付八人以内貨物ハ十  
五貫目ヲ以テ一人ニ積算ス)
  - 一 舟夫ノ定員
  - 一 賃錢
- 第二條 營業者ハ舟夫ヲ雇入レタルトキ又ハ異動アリタルトキハ其ノ住所氏名年齢ヲ所轄警察官署ニ届出ツヘシ
- 第三條 營業者ハ毎年八月所轄警察官署ニ届出テ船體ノ検査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ新ニ營業セントスル者又ハ船體ヲ買受讓受修繕ヲ加ヘタルトキハ其ノ都度船體ノ検査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ
- 第四條 營業者ハ乘客ヲ取扱フヘキ場所及船體ニハ發著寄繫ノ場所日時及定員賃錢ヲ掲示シ置クヘシ
- 第五條 發著寄繫ノ場所外ニ於テ乘客ヲ乗降セシムヘカラス
- 第六條 營業者ハ舳ニ左ノ標識ヲ掲クヘシ



- 第七條 營業者ハ乘客ヲ取扱フヘキ場所及船中ニ乗客人名簿ヲ備置キ乘客ノ住所職業氏名年齢及發著寄繫ノ場所日時ヲ記載シ警察官吏ノ點檢ニ供スヘシ
- 第八條 出水大風等ノ爲危險ナリト認ムルトキハ警察官吏ニ於テ其ノ航行ヲ止ムルコトアルヘシ
- 第九條 何等ノ名義ヲ以テスルモ定員外ノ人ヲ乘載シ若クハ定額外ノ賃錢ヲ請求スヘカラス
- 第十條 本則第一條ノ允許ヲ受ケスシテ營業シタル者第二條、第三條、第四條、第五條、第六條、ニ違背シタル者及第八條ノ制止ヲ肯セスシテ航行シタル者第九條ノ定員外ノ人



ヲ乗載シ若クハ定額外ノ賃錢ヲ請求シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留又ハ二十錢以上二圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

附則

第十一條 從來ノ營業者ハ明治二十八年六月三十日マテニ本則ニ依リ願出テ允許ヲ受クヘシ

○縣令第二十八號 二十八年五月三日

傳染病患者又ハ其ノ屍體ハ警察官吏ノ認可ヲ受ケスシテ他ニ移轉スヘカラス  
傳染病患者又ハ其ノ屍體ニ觸接シ若クハ排泄物ニ汚染シタル物品ヲ公道河川其ノ他病毒散逸ノ虞アル場所ニ於テ洗滌及投棄スヘカラス  
前二項ニ違背シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

○縣令第二十九號 二十八年五月三日

明治二十五年(六月)縣令第四十三號ハ廢止ス(原達(訂正))

○縣令第三十號 二十八年五月二十四日

傳染病(虎列刺病ヘスト病赤痢病)患者アリタル爲交通遮斷ヲ受ケタルトキハ其ノ遮斷中警察官吏ノ認可ヲ受クルニアラサレハ如何ナル物品ト雖モ遮斷線外ニ持出スヘカラス  
傳染病患者ノ使用シタル井戸ハ警察官吏ノ認可ヲ受クルニアラサレハ使用スヘカラス

傳染病患者或ハ死體ニ觸接シ又ハ汚物ヲ取扱ヒタル者若クハ患家ニ同居宿泊シタル者ニシテ患家ヲ立去ラントスルトキハ消毒ヲ受クヘシ其ノ患者或ハ死體ニ觸接シタル夜具衣類器物類其ノ他病毒ニ汚染シタルモノニシテ患者治癒死亡又ハ他ニ移轉シタルトキ及是等ノ物品ヲ他ニ持出サムトスルトキ亦同シ  
各戸ノ便所塵留下水溝汚水留流シ下等不潔ノ場所ニ對シ警察官吏又ハ市町村吏員ヨリ清潔法若クハ消毒の清潔法ヲ爲スヘキ旨ノ督促ヲ受ケタルトキハ其ノ指定ノ時間内ニ之ヲ行フヘシ

本令ニ違フ者ハ二日以上五日以下ノ拘留又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス  
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

○縣令第三十一號 二十八年五月三十一日

明治二十六年(六月)岐阜縣令第五十七號娼妓貸座敷取締規則第十一條改正ス(改訂)

○縣令第三十二號 二十八年五月三十一日

明治二十四年(七月)岐阜縣令第四十四號廢止ス(原達(訂正))

○縣令第三十三號 二十八年五月三十一日

金錢其ノ他ノ報酬ヲ得又得ルノ契約ヲ以テ六年未滿ノ幼兒ヲ子養シ若クハ受託養育スル者ハ其ノ兒ノ實父母私生ノ者ハ其ノ生母ノ住所氏名ヲ記シ五日以内ニ所轄警察官署ニ届出ツヘシ



現ニ前項ニ相當スル養育兒アル者ハ本令發布後十日以内ニ所轄警察官署ニ届出ツヘシ  
實父母又ハ生母ハ幼兒保護ノ目的ヲ以テ其ノ養育主ノ住所氏名其ノ他參考トナルヘキ事  
項ヲ記シ養育主所在地ノ警察官署ニ届出ツルコトヲ得

幼兒ニシテ重キ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ其ノ養育主ヨリ速ニ所轄警察官署若ク  
ハ巡查駐在所ニ届出ツヘシ其ノ届出ハ口頭又ハ郵便端書等便宜ニ從ヒ妨ケナシ  
幼兒ヲ子養又ハ受託養育スル者ハ養育上ニ附キ警察官吏ノ取調ヲ受ケタルトキハ何事タ  
リトモ明カニ應答スヘシ

本令第一項第二項第四項第五項ニ違背シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留又ハ五拾錢以  
上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

○縣令第三十四號 廿八年六月七日

明治二十六年(三月)岐阜縣令第十七號貸座敷及娼妓賦金規則中左ノ通改正追加シ本年七  
月一日ヨリ施行ス但シ第六條ノ規定ハ此ノ縣令施行以前ノ賦金ニモ適用ス(改訂)

第二條中「毎月一日」ヲ「毎月三日」ニ改ム

第四條 正當ノ事故アリテ上半月<sup>十五日</sup>以前<sup>十五日</sup>若クハ下半月<sup>十六日</sup>以後<sup>十六日</sup>全ク休業シタルモノハ  
其月ノ賦金半額ヲ免除シ休業全月ニ至リタルモノハ其月ノ賦金全額ヲ免除ス但免除事  
由ヲ生シタル日ヨリ卅日以内ニ其事實ヲ證明セサルモノハ免除ノ限ニ在ラス

第六條 賦金納附義務ノ期滿免除ハ地方税ノ例ニ依ル

○縣令第三十五號 二十八年八月九日

傳染病ニ罹リタル赤貧者救濟規則左ノ通之ヲ定ム

傳染病ニ罹リタル赤貧者救濟規則

第一條 此ノ規則ニ於テ傳染病ト稱スルハ虎列刺、發疹室扶私、腸室扶私、赤痢、實布の里  
亞、痘瘡ノ六病ヲ云フ

第二條 此ノ規則ニ於テ赤貧ト稱スルハ左ノ各項ノ一ニ該當スル者ヲ云フ

- 一 地方税戸數割免除ノ者
- 二 恤救規則ニ依リ救助中ノ者
- 三 資産凡ソ三十圓以内ニシテ一人<sup>戸主非戸ノ勞力ヲ以テ僅ニ生計ヲ營ム者但シ勞力主トモ</sup>者以外ノ疾病ト雖モ他ニ看護人ナク勞力者自ラ之ニ當ルトキハ本項ニ準ス
- 四 身元赤貧ナル行旅人

第三條 此ノ規則ニ依リ救濟ヲ受ケムトスル者ハ戸主若クハ遺族ヨリ書式ニ準シ其ノ市  
町村長ノ證明書戸籍寫及其ノ他ノ書類ヲ添へ所轄郡長又ハ市長ヲ經テ縣廳ニ願出ツヘ  
シ、

第四條 行旅人ハ其ノ地ノ市町村長ヨリ本籍ノ市町村長ニ辨償ヲ求メ本人赤貧ニシテ辨  
償シ能ハサルノ確答ヲ得タル後市町村長ニ於テ前條ニ準シ申請ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 無籍行旅人又ハ遺族ナキ者ハ其ノ地ノ市町村長ニ於テ第三條ニ準シ申請ノ手續



ヲ爲スヘシ

第六條 第三條ノ願書ハ行旅人ヲ除ク外治癒又ハ死亡後三十日以内ニ差出スヘシ但シ其ノ出願以前ニ於テ同家族中感染ノ者アリタルトキハ終末患者ノ治癒又ハ死亡後本文ノ期限内ニ於テ同時ニ出願スルコトヲ得

第七條 市町村長ハ第三條ノ出願者アリタルトキハ事實ヲ審査シ市長ハ知事ニ町村長ハ郡長ニ進達スヘシ

第八條 郡長ハ第三條以下ノ願書又ハ申請書ヲ受ケタルトキハ尙ホ事實ヲ審査シ意見ヲ附シ之ヲ縣廳ニ進達スヘシ

第九號 此ノ規則ニ依リ救済スヘキ費目及金額左ノ如シ

- 一 治療藥價 一人ニ付金六錢以内(十年未滿ノ者)
- 一 往診旅費 車馬賃實費 宿泊料一泊金五拾錢但シ赤貧患者ノ爲特ニ出張シタル場合ニ限ル
- 三 患者及看護人(行旅人ハ同) 食料 一人一日ニ付金五錢以内(十年未滿ノ者)
- 四 看護人雇給 一人ニ付一日金拾五錢以内但シ家族中看護スヘキ者ナク他ヨリ雇入レタル場合ニ限ル
- 五 燒却物品代 評定價格但シ日用缺クヘカラサルモノニ限ル
- 六 小屋掛料 埋火葬費 實費

第十條 前條諸項ノ費用ハ醫師診斷以前ニ係ルモノハ支給セス

第十一條 燒却ノ上其ノ代價ヲ請求セムトスルモノハ豫メ警察官ノ立會ヲ請ヒ相當價格ヲ定メ其ノ承認ヲ受置キ追テ願書ニ添附スヘシ

第十二條 藥價及往診旅費ハ書式ニ準シタル主任醫ノ藥價及往診旅費取調書ヲ添附スヘシ

第十三條 藥價其ノ他ノ請費ハ書式ノ明細書ヲ作リ添附スヘシ  
願書式 傳染病者救濟願

何々病

住所(寄留ナレハ本籍ヲモ併記ス)

族籍(戸主アラサル者ハ戸主續柄ヲ肩書ス)

氏名

當何月(治癒又ハ死亡ノ月) 何年何月

何月何日發病 何月何日治癒(死亡)  
何月何日診定

(一家二名以上ノトキハ列記ス)

右ノ者何病ニ罹リ候處何々(赤貧ノ事實及救濟規則第二條ノ何項ニ該當スルコトヲ詳記ス)ニ付該費用金何圓御救濟相成度別紙書類相添へ此段相願候也



費用明細書式

年月日 縣知事宛

右戸主又ハ遺族

氏 名印

患者 氏 名

金員	費目	摘要
金何何何何何	藥診旅費	何日分一日金何程
金何何何何何	往診者食料	往診何回分片道何里何町宿泊何度
金何何何何何	患者履給	何日分一日金何程
金何何何何何	看却物品代	自何月何日何日分一金何程
金何何何何何	燒却物品代	至何月何日何日分一金何程
計金何何何何何		單衣一枚金何程何々金何程
		何々(算出)得ラルヘキ事實ヲ詳記ス)
金員	費目	摘要
金何何何何何		患者 氏 名

(一家二名以上ノ例)

金員	費目	摘要
金何何何何何		何々
金何何何何何		何々
金何何何何何		何々
計金何何何何何		何々

以上合計金何程

藥價(及往診旅費)取調書式

藥價自何月何日何日分

患者 氏 名

往診何回 何月何日、何月何日 一泊 何月何日

(一家二名以上同時ニ取調フルトキハ列記スヘシ)

右之通相違無之候也

住所

年月日

醫師 氏 名印

○縣令第三十六號 二十八年八月二十三日

古物商取締法及同細則施行規則左ノ通之ヲ定ム但シ明治二十四年(九月)岐阜縣令第五十四號古物商取締細則ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

古物商取締法及同細則施行規則

第一條 古物商取締法及同細則ニ依リ行政廳ニ差出スヘキ願届ハ所轄警察官署ニ差出ス



第二條 古物商營業ヲ爲サムトスル者ハ第一號書式ニ依リ願出ツヘシ  
 營業ノ種類ヲ變更シ又ハ之ヲ増加セントスルトキハ第二號書式ニ依リ願出ツヘシ種類  
 ヲ減スルニ止ルトキハ其ノ旨届出ツヘシ  
 第三條 古物商取締法細則第三條ニ依リ管理人ヲ定メタルトキハ第三號書式ニ依リ届出  
 ツヘシ  
 第四條 左ノ營業者ニシテ隨時其ノ營業ニ屬スル古物ヲ賣買、交換スルトキハ古物商ニ  
 關スル法律命令ヲ遵守スヘシ  
 箔打屋 煙管屋 鍛冶屋  
 第五條 古物商營業者ハ第四號書式ニ依リ物品受拂明細帳ヲ備ヘ年別トシ新調ノ都度其  
 初葉ニ紙數ヲ記シ所轄警察官署ノ捺印ヲ取テ整理保存スヘシ但シ帳簿ハ數年繼續使用  
 スルコトヲ得(廿八年縣令四十  
 八號改正ノ文)  
 第六條 前條ノ帳簿ヲ廢棄セムトスルトキハ第五號書式ニ依リ願出ツヘシ  
 第七條 品觸寫書ハ順次編綴シ到達後一箇年ヲ經過スルニアラサレハ廢棄スヘカラス  
 第八條 自ラ行商ヲ爲シ又ハ之ヲ爲サシメ及自ラ露店ヲ開キ又ハ之ヲ開カシメムトスル  
 者ハ第六號書式ニ依リ鑑札用木札ヲ添ヘ願出ツヘシ

鑑札ノ様式左ノ如シ

五寸

第 號
明治 年 月 日許可
古 着 古物行商
古金物 族籍身分職業(氏名家屬、 雇人)
氏 名
生年月日

七寸

第 號
明治 年 月 日許可
古 着 古物露店
古金物 族籍身分職業(氏名家屬、 雇人)
氏 名
生年月日

第九條 鑑札ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ鑑札用木札ヲ添ヘ再渡ヲ請  
 フヘシ  
 第十條 行商者及露店開設者廢業シタルトキハ十日以内ニ届出テ鑑札而烙印ノ削除ヲ請  
 フヘシ  
 行商者及露店開設者死亡シタルトキハ營業者ニ在リテハ遺族ニ於テ雇人ニ在リテハ營  
 業者ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ  
 第十一條 營業者ハ營業上便宜ノ爲總代人ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ族籍  
 氏名ヲ届出ツヘシ



第十二條 第七條及第十條第一項ニ違背シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留又ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第十三條 從來ノ營業者ハ古物商取締ニ關スル法律命令ヲ遵守シ繼續營業スルコトヲ得第一號書式 (用紙半紙)

古物商營業願

族籍身分職業

氏名

生年月日

一何(營業セムトスル物品ノ種類ヲ記載スルヲ要ス)

古物商取締ニ關スル法律命令ヲ遵守シ明治 年 月 日ヨリ前記ノ通古物商營業致度ニ付御聞届被下度別紙取調書相添ヘ此段相願候也

明治 年 月 日

右 氏 名 印

何警察署(分署)長

警 部 氏 名 殿

(後見人ニ因リテ願出ツルモノハ連署ノ上差出スヘシ此ノ場合ニ在リテハ別紙取調書モ亦後見人ニ關シ別ニ調製シ市町村長ノ證明ヲ受テ添附スヘシ)

取調書

一族籍氏名ヲ變更シタル者ハ其ノ年月日及舊族籍氏名  
一古物商營業ノ禁止又ハ停止ノ處分ヲ受ケタル有無若シ受ケタルコトアル者ハ其ノ官署名及年月日

氏 名

一前住地及現住地ニ移轉シタル年月日

右ノ通候也

右 氏 名 印

明治 年 月 日

第二號書式 (用紙同上)

種類變更(増加)願

族籍身分職業

氏 名

右是迄古物商營業能任候處其ノ種類古着トアルヲ古道具ニ變更(其ノ種類中ニ古金物ヲ増加)致度ニ付御聞届被下度此段相願候也

明治 年 月 日

右 氏 名 印

何警察署(分署)長

警 部 氏 名 殿

(後見人ニ因リテ願出ツルモノハ連署ノ上差出スヘシ)











何警察署(分署)長

警部氏名殿

(後見人アル者ハ連署ヲ以テ願出ツルヲ要ス)

○縣令第三十七號 二十八年八月二十三日

質屋取締法及同細則施行規則左ノ通之ヲ定ム但シ明治二十四年(九月)岐阜縣令第五十五號質屋取締細則ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

質屋取締法及同細則施行規則

第一條 質屋取締法及同細則ニ依リ行政廳ニ差出スヘキ願届ハ所轄警察官署ニ差出スヘシ

第二條 質屋營業ヲ爲サムトスル者ハ第一號書式ニ依リ願出ツヘシ

第三條 質屋取締法細則第二條ニ依リ支店管理入ヲ定メタルトキハ第二號書式ニ依リ届出ツヘシ

第四條 質屋營業者ハ第三號書式ニ依リ質物臺帳及流質物賣拂帳ヲ備ヘ年別トシ新調ノ都度其ノ初葉ニ紙數ヲ記シ所轄警察官署ノ檢印ヲ受テ整理保存スヘシ但シ帳簿ハ數年繼續使用スルコトヲ得(廿八年縣令五十三號本條改正ノ文)

第五條 前條ノ帳簿ヲ廢棄セムトスルトキハ第四號書式ニ依リ願出ツヘシ

第六條 品觸寫書ハ順次編綴シ到達後一箇年ヲ經過スルニアラサレハ廢棄スヘカラス

第七條 質屋取締法第六條ノ各項ハ營業ノ許可ヲ受ケタルトキ直チニ之ヲ届出ツヘシ變更シタルトキハ其ノ都度届出ツヘシ

同條ノ各項ハ質札ノ裏面及通帳ノ初葉ニ明記スヘシ

第八條 質取物品ヲ轉質セムトスルトキハ其ノ物品ニ關スル臺帳而ノ寫ヲ添ヘ質置主連署ヲ以テ届出ツヘシ

第九條 手數料ヲ得ルノ目的ヲ以テ質使ヲ業トスル者ニ對シ質札若クハ通帳ヲ發シタルトキハ最初一回ニ限リ五日以内ニ其ノ住所氏名ヲ届出ツヘシ(廿八年縣令四十六號ヲ以本條ヲ刪除シ以下順次繰上ケ)

第九條 營業者ハ營業上便宜ノ爲總代人ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其族籍氏名ヲ届出ツヘシ

第十條 第六條、第七條、第八條ニ違背シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留又ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ料料ニ處ス

第十一條 從來ノ營業者ハ質屋取締ニ關スル法律命令ヲ遵守シ繼續營業スルコトヲ得第一號書式(用紙半紙)

質屋營業願

族籍身分職業

氏名

生年月日



質屋取締ニ關スル法律命令ヲ遵守シ明治 年 月 日ヨリ質屋營業致度ニ付御聞届被  
下度別紙取調書相添へ此段相願候也

明治 年 月 日

右 氏 名 印

何警察署(分署)長

警 部 氏 名 殿

(後見人ニ因リテ願出ツル者ハ連署ノ上差出スヘシ此ノ場合ニ在リテハ別紙取調書モ  
亦後見人ニ關シ別ニ調製シ市町村長ノ證明ヲ受ケ添附スヘシ)

取 調 書

氏 名

一族籍氏名ヲ變更シタル者ハ其ノ年月日及舊族籍氏名

一古物商營業ノ禁止又ハ停止ノ處分ヲ受ケタル有無若シ受ケタルコトアル者ハ其ノ官  
署名及年月日

一前住地及現住地ニ移轉シタル年月日  
右之通候也

明治 年 月 日

右 氏 名 印

第二號書式 (用紙同上)

支店管理人届

明治 年 日 日ヨリ郡市町村字番戸ニ支店ヲ設ケ前記ノ者ヲシテ管理爲致候間別紙  
取調書相添へ此段御届申上候也

族籍身分職業

氏 名

生 年 月 日

族籍身分職業

氏 名 印

明治 年 月 日

何警察署(分署)長

警 部 氏 名 殿

(後見人アル者ハ連署ヲ以テ届出ツルヲ要ス又取調書ノ書式ハ第一號書式ニ添附スル  
モノニ同シ)

第三號書式 (用紙美濃紙横帳ニテモ可ナリ)

質物臺帳

質置主ノ住所

氏 名

第一號 年 月 日(代人ナルトキハ其ノ住所氏名ヲ年月日ノ下ニ記入スルヲ要ス)  
○年月日受出(流質)(第何號ト入換)



一何々 一個(枚) 品質模様(番號アルモノハ番號)等ヲ詳記スルヲ要ス  
貸金何程

第二號 ○年月日受出(流質)(何々ニ轉質)

一何々 一個(枚) 品質模様(番號アルモノハ番號)等ヲ詳記スルヲ要ス

貸金何程

合計 二品 貸金何程

(證明ヲ得テ質ニ受ケタルトキハ左ノ通記入スルヲ要ス)

右物品ハ質置主ニ於テ質入スルノ權利アルコトヲ證明ス

族籍職業

明治 年 月 日

氏 名 印

(認可ヲ得テ質ニ受ケタルトキハ左ノ通記入スルヲ要ス)

右物品質入スルヲ認可ス

何警察署(分署)長

一 明治 年 月 日

警部 氏 名 印

又ハ何警察署(分署)何駐在所勤務

明治 年 月 日

巡查 氏 名 印

流質物賣拂帳

買主ノ住所

氏 名

年 月 日

何年第何號

一何々 一個(枚)

代價何程

何年第何號

一何々 一個(枚)

代價何程

合計 二品 代價何程

帳簿廢棄願

一何 何 冊

但シ明治 年 月 日ヨリ年 月 日マテ記入ノ分

右帳簿ニ記入ノ分ハ何レモ取扱濟ニ付廢棄致度候間御聞届被下度此段相願候也

族籍身分職業

明治 年 月 日

氏 名 印

何警察署(分署)長



警部氏名殿

(後見人アル者ハ連署ヲ以テ願出ツルヲ要ス)

○縣令第三十八號 二十八年八月二十三日

明治二十四年(九月)縣令第五十二號藝妓營業取締規則第二條改正シ第四條中本則ノ下「第二條ヲ除クノ外各條」ノ十字ヲ削除ス(改訂)

○縣令第三十九號 二十八年九月六日

明治二十四年(七月)岐阜縣令第四十二號中左ノ通改正追加ス但シ本令ハ九月二十日ヨリ施行ス(改訂)

一長良川支流吉田川筋ノ上へ左ノ通追加ス

木曾川筋

南岸 羽栗郡川島村大字松原島字大塚五百八十一番草野ヨリ

北岸 羽栗郡川島村大字松原島字小屋場千二百八十九番草生

南岸 羽栗郡川島村大字松原島字大塚五百七十四番草野

北岸 羽栗郡川島村大字松原島字小屋場千百十六番柳生

右毎年九月一日ヨリ十二月三十一日マテ捕魚ヲ禁ス

一末項ノ「前各項ニ違背シタルモノハ拾錢以上壹圓以下ノ科料ニ處ス」トアルヲ左ノ通改正ス

前各項ニ違背シタル者ハ拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ一日以上五日以下

ノ拘留ニ處ス

○縣令第四十號 二十八年九月六日

本年(三月)岐阜縣令第十二號小學校教科用圖書中圖書ノ用書帝國毛筆新畫帖教授法ハ之ヲ刪除シ小學圖書範本外三書卷冊左ノ通改正ス

高等小學校教科用圖書

圖書

小學圖書範本 自卷一 十二冊ヲ

至卷十二

自卷五 八冊ト改ム

小學毛筆圖書帖 自卷一 十二冊ヲ

至卷十二

自卷五 八冊ト改ム

前編 自卷一 八冊

後編 自卷一

後編 自卷一 八冊ト改ム

帝國毛筆新畫帖 自卷一 四冊

後編 自卷一

後編 自卷一 八冊ト改ム

小學用器畫法 教師用 自卷一 二冊

至卷二

自卷一 圖式トモ

小學用器畫法 教師用 自卷一 二冊

至卷二

自卷三 六冊ト改ム

○縣令第四十一號 二十八年九月六日

明治二十五年十二月岐阜縣令第八十二號小學校教科用圖書中尋常小學校習字、圖書ノ用書左ノ通之ヲ定ム



尋常小學校教科用書

習字

圖書名 卷 冊

發行年月日

著者氏名

發行者氏名

尋常小學習字帖

自卷一八  
至卷八

冊 明治二十八年  
四月十日

岐阜縣教育會

市橋龜吉  
岐阜縣岐阜市今泉  
百五十七番戶  
三浦源助  
岐阜縣岐阜市米屋町  
二十二番戶

小學圖書範本

自卷一四  
至卷四

冊 明治二十六年  
十二月十九日

守住周魚

水口龍之助  
大坂市東區南久寶寺  
町三丁目四十五番屋敷

小毛筆圖書帖

自卷一四  
至卷四

冊 明治二十六年  
十二月三十日

興風學館

神戶直吉  
東京市京橋區南紺屋  
町七番地

帝毛筆新畫帖

前編 自卷一八冊  
至卷八

明治二十七年  
九月二十七日

川端玉章

龜井忠一  
東京市神田區裏神保  
町一番地

○縣令第四十二號 二十八年九月十三日

明治二十七年(三月)岐阜縣令第八號印紙類賣下賣捌規則同施行細則ニ基キ願届等ニ關スル規定中第三條ノ刪除シ様式第一號改正ス(改訂)

○縣令第四十三號 二十八年十月十一日

明治二十五年(八月)岐阜縣令第五十號醫師規則第十條改正ス(改訂)

○縣令第四十四號 二十八年十月十八日

明治二十二年(十月)岐阜縣令第六十三號廢止ス(原達訂正)

○縣令第四十五號 二十八年十月十八日

河川堤塘道路溝渠等新設又ハ修繕ノ爲起工ヲ出願セムトスルトキ土地ノ變換ニ係ルモノハ其地種目凡段別及組換フヘキ地種ヲ目論見帳ニ記載スヘシ且官有地ニ係ルトキハ充用ノ義起工以前出願スヘシ

○縣令第四十六號 二十八年十一月一日

本年(八月)岐阜縣令第三十七號質屋取締法及同細則施行規則第九條全文及第十一條中「第九條」ノ三字ヲ刪除シ第十條以下順次繰上ク(改訂)

○縣令第四十七號 二十八年十一月一日

牛乳營業取締規則左ノ通之ヲ定ム但シ明治二十年(九月)岐阜縣令第九十七號牛乳搾取販賣規則ハ廢止ス(改訂)

牛乳營業取締規則

第一章 通則

第一條 本則ニ於テ牛乳營業ト稱スルハ左ノ三種ヲ謂フ

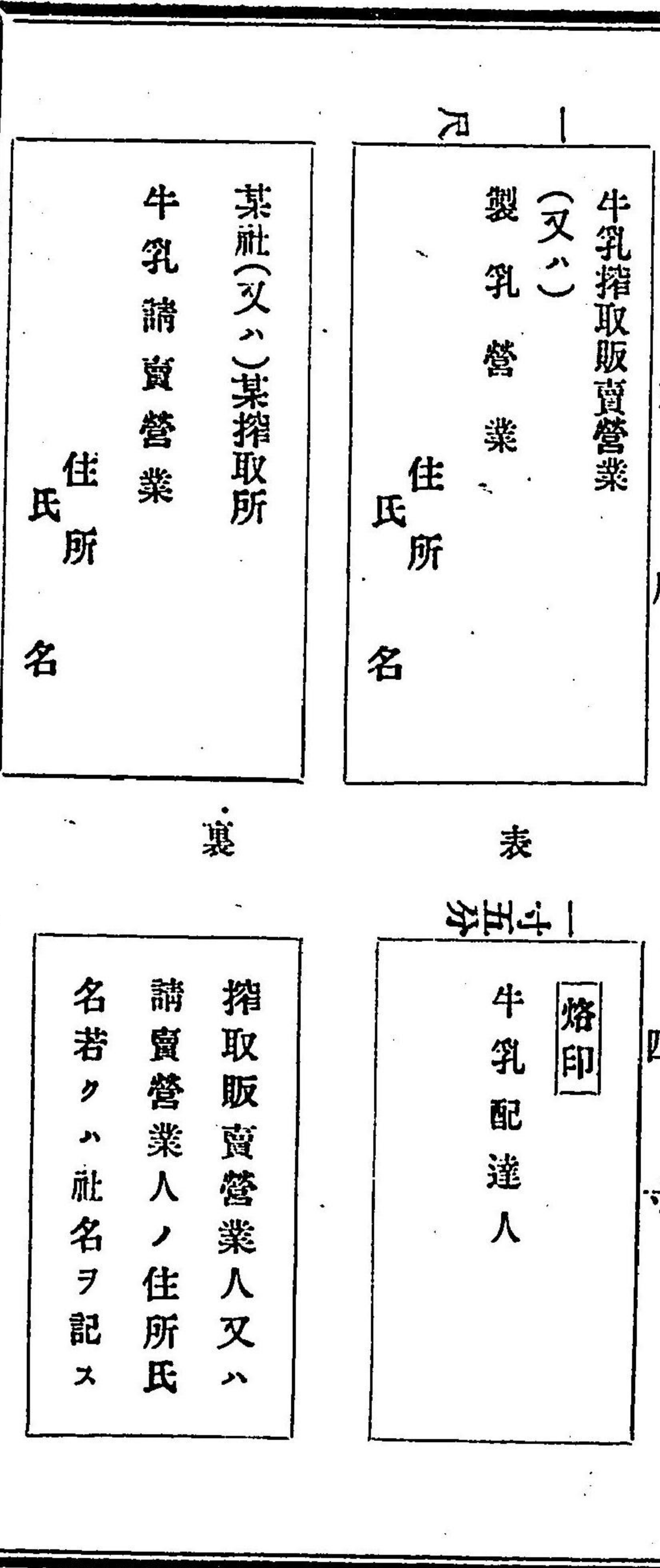


- 一 牛乳搾取販賣營業
- 二 牛乳請賣營業
- 三 製乳營業 (牛酪乾酪粉乳濃乳ノ類ヲ製造スル者以下之ニ做フ)
- 第二條 牛乳搾取販賣營業ヲ爲サムトスル者ハ左ノ各項ヲ具シ縣廳ニ願出ツヘシ
  - 一 畜牛ノ區別 (種牛乳牛 種牛ノ類) 毛色年齡產地 (名稱アルモノ) 及乳牛ニ附テハ父母牛ノ血統トス
  - 二 獸ノ乳牛及乳汁鑑定書
  - 三 搾取所設置ノ場所 (坪數) 周圍凡ソ四十間以内ノ地形 (人家井泉溝渠森林河川道) 路等ノ距離方位位置等ヲ詳記シタル圖面及構造仕様書
  - 四 搾取所設置ノ場所借地ナルトキハ持主ノ承諾書寫
  - 第三條 搾取所ヲ移轉又ハ改修スルカ若クハ其ノ一部ヲ變更セムトスルトキハ其ノ部分ニ屬スル圖面及構造仕様書ヲ添ヘ縣廳ニ願出ツヘシ
  - 第四條 搾取所ハ許可ヲ與ヘタル後ト雖モ其ノ比隣地況ノ變換ニ依リ取除キヲ命ヌルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ營業者自費ヲ以テ之ヲ取拂フヘシ
  - 第五條 搾取所及畜牛トモ一切買受又ハ讓受其ノ營業ヲ繼續セムトスル者ハ賣主讓主ノ連署ヲ以テ五日以内ニ縣廳ニ届出ツヘシ
  - 第六條 牛乳請賣營業及製乳營業ヲ爲サムトスル者ハ搾取販賣營業者ノ連署ヲ以テ縣廳

ニ願出ツヘシ其ノ元受所ヲ變換シタルトキ亦同シ但シ製乳營業ヲ爲サムトスル者ハ其ノ願書ニ製乳ノ方法ヲ詳記スヘシ

第七條 營業者ノ代替又ハ轉居改氏名及廢業シタルトキハ五日以内ニ縣廳ニ届出ツヘシ

第八條 營業者ハ左ノ看板ヲ掲ケ牛乳配達人ニハ所轄警察官署ノ烙印ヲ受ケタル左ノ木札ヲ顯帶セシムヘシ





第九條 警察官吏ハ何時タリトモ營業所ニ臨ミ檢査ヲ行ヒ又ハ配達途中ニ於テ牛乳ヲ檢査スルコトアルヘシ營業者ハ之ヲ拒ムヲ得ス又其ノ檢査ニ使用シタル乳汁ノ代價ヲ請求スルヲ得ス

檢査ノ上左ノ各項ヲ命スルコトアルヘシ

- 一 建物ヲ改修セシメ又ハ一時其ノ使用ヲ停止スル事
- 二 不適當ト認ムル乳汁ハ搾取所内ニ於テ飼養スルヲ禁スル事
- 三 飲用ニ不適當ト認ムル乳汁ハ其ノ販賣ヲ禁シ無害色素ヲ以テ着色セシムル事
- 四 牛川若クハ其ノ蹄ニ烙印スル事

第十條 本則ニ依リ縣廳ニ差出スベキ願届ハ所轄警察官署ヲ經由スヘシ

第二章 搾取所ノ構造畜牛

第十一條 搾取所ハ土地高燥ニシテ適當ノ飲料水ヲ有スル地ヲ撰ヒ左ノ各項ニ依リ構造スヘシ

- 一 隣地トノ境界ニハ適宜圍ヲ爲シ一構内ニ牛舎及運動場ヲ設クヘシ
- 二 運動場ノ周圍ハ堅固ナル柵欄ヲ設クヘシ
- 三 牛舎内部ノ周圍ハ地盤ヨリ高サ六尺以上ノ板張ヲ爲シ且ツ適當ノ箇所ニ空氣抜若クハ無雙窓ヲ附スヘシ
- 四 牛舎中牛房ハ一頭毎ニ幅四尺五寸以上奥行八尺以上ノ區域ヲ爲シ前面ニ四尺以上

後面ニ二尺以上ノ空地ヲ存スヘシ

- 五 牛房ノ床ハ適當ノ勾配ヲ附シ一寸以上ノ厚板ニテ之ヲ張ルヘシ
- 六 牛舎ノ外部ニ尿溜ヲ設ク適當ノ勾配ヲ附シタル尿樋ヲ牛舎ヨリ之ニ通スヘシ樋ノ材料ハ總テ不滲透質物ヲ用ウルモノトス
- 七 糞溜及不潔物溜ハ構内ノ邊隅ニシテ隣地ノ人家ニ臭氣ノ達セサル場所ヲ撰ヒ設クヘシ
- 八 牛舎ハ飲料水ト適當ノ距離ヲ取ルヘシ
- 九 尿溜ハ其ノ上部ヲ地盤ヨリ高サ三寸以上トシ雨水ノ流入ヲ防キ糞尿及不潔物ノ溜ニハ適當ノ蓋ヲ附スヘシ
- 第十二條 搾取所ノ工事落成シタルトキハ縣廳ニ届出テ檢査ヲ受クヘシ檢査未済中ハ使用スルヲ得ス

檢査ノ上不適當ト認メタルトキハ更ニ其ノ部分ノ改修ヲ命シ再檢査ヲ爲スヘシ

第十三條 搾取所ノ構内ハ常ニ清潔ニシ牛房ハ時々清洗スヘシ

糞尿及不潔物溜ハ時々汲取リ又ハ取除キ充溢セシムル等ノコトアルヘカラス

第十四條 乳牛ハ毎日適宜ノ運動ヲ爲サシメ皮膚ヲ清潔ニ梳拭シ炎熱ノ時ニアリテハ淨水ヲ以テ時々洗滌スヘシ此ノ清潔法ハ牛房外又ハ別房ニ於テスヘシ

第十五條 搾取所ニ牛籍簿ヲ備ヘ番號ヲ附シ畜牛ノ區別毛色年齢産地(名稱アルトキ)及